

質疑応答書

工事名:新市立島田市民病院建設工事

工事場所:島田市野田1200番地の5

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------------------|---|--|
| 1 | 解体工事 | 排水処理2号施設 | 排水処理2号施設の杭は、内訳書にはφ500、L36m、28本とありますが、既存図ではφ500、L38m、33本とあります。既存図を正として宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 2 | 解体図 | RI貯留槽 | 解体図において、浄化槽の下にあります、RI貯留槽の既存図が見当たりません。RI貯留槽の図面発行をお願いします。 | 意匠別紙22,23を参照ください。 |
| 3 | 建築工事特記仕様書P32 A-008 | ハゼ葺きカラーガルバリウム 鋼板の厚さについて | エントランス庇(キャノピー ロータリー庇)立てハゼ葺きカラーガルバリウム鋼板の厚さに相違があります。 ・建築工事特記仕様書P32 — T0.4 ・外装・外構仕上表 — T0.8 T0.4を正と考えて宜しいですか。 | 外装・外構仕上表 — T0.8を正としてください。 |
| 4 | 建築工事特記仕様書P-59 | 家屋調査について | 近隣家屋調査の事前調査は工事着手予定の平成30年4月1日以前に完了することと考えてよろしいでしょうか。 | 契約後、速やかに調査を行い、実質的な工事着手までに調査を終えてください。具体的な日程調整は契約後となります。 |
| 5 | 現場説明書 4頁 | 現場事務所、 監督員事務所について | 現場事務所・監督員事務所の設置場所は、病院敷地内または近隣市有地等、借用することは可能でしょうか。御指示下さい。 | 原則、病院敷地内は工事エリア以外はお貸しできません。提案がありましたら協議に応じます。近隣市有地についてもご用意できません。ただし、駐車場用地や残土仮置き用地として、伊太地区、初倉地区の市有地をお貸しできる可能性があります(賃借料を含め、市関係課との協議を要します。) |
| 6 | 現場説明書 6頁 A-005 | 井戸について | 近隣に井戸2か所と記載があります。該当家屋については、受注者のみの連絡となりますか。また、既存で使用されている井戸がございましたら、配置、配管ルート、深さ等わかる資料を提示願います。 | 該当家屋および井戸に関する情報は契約後に提示します。 |
| 7 | 現場説明書 解体工事特記仕様書 | 解体工事の”無騒音・無振動”工法の適用について | 使用している棟の基礎の一部または、隣接する構造物の解体を行場合においては、当然”無騒音・無振動”を採用すべきと思われませんが、特記仕様書では、”低騒音・低振動”の御指示しかありません。一般的に”無騒音・無振動”工法は、高いコストと長い工程を要しますが、本件の入札条件として、”無騒音・無振動”工法を考慮する工程(棟)および工法の指定があれば、御指示ください。 | 一般的に静的破碎やワイヤーソーも低騒音・低振動と考えられます。既存救急センター棟の仮設渡り廊下建設及び、既存救急センター棟渡り廊下解体の際は、ワイヤーソーを使用してください。設計上は無騒音・無振動までは見込んでおりませんが、工期や必要性を考慮してご提案ください。 |
| 8 | 参考数量書P310 参考数量書P184 | モップ掛けフックについて | 参考数量書についてモップ掛けフックが28か所計上していますが、SK柵板部分に4か所ずつ取り付くと考えてよろしいですか。 又、取り付け用の栈木も参考数量書に倣って宜しいですか。 | SK横壁面に4か所ずつ見込んでください。 取付用栈木も参考数量書に倣ってください。 |
| 9 | 参考数量書P355 A-258 | 天吊インジェクター取付金物について | 参考数量書について1F CTシミュレーター室に天吊インジェクター取付金物が取り付くようですが、詳細図でいずれが該当するのか、仕様と併せて御指示下さい。 | A-254 天吊りインジェクター用天井架台構造図参照(仕様:図示の通りスチール及び鉄骨錆止め塗装)してください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|--------------------------------|--------------------|---|--|
| 10 | 参考数量書P426 R-3 | 消火器ボックスについて | 消火器ボックスの仕様と数量が不明です。 参考数量書に記載の埋込型を6か所見込んで宜しいですか。 | 新病院棟A-170図D5-17と同様としてください。 |
| 11 | 参考数量書P-462・485 | 液酸タンク置場について | 液酸タンク置場について、参考数量書のP462・485のそれぞれに計上されていますが、舗装工事側を不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 12 | 参考数量書P-467 | 流域B 集水桝ステップについて | 参考数量書 排水工事に計上されている流域B 集水桝 ステップ について、設置箇所の記入されている図面が見当たりません。設置場所を御指示下さい。 | D-50の雨水マンホールです。 |
| 13 | 参考数量書P-477 | クチナシ6本㎡(14.3㎡)について | 参考数量書 植栽工事に計上されている クチナシ6本㎡(14.3㎡)が植栽計画図等で該当箇所が見当たりません。該当箇所を御指示下さい。 | A-037図 矩計図(7)記載の通りです。 |
| 14 | 参考数量書P-477 | アオダモについて | 参考数量書 植栽工事に計上されている アオダモが植栽計画図等で該当箇所が見当たりません。該当箇所を御指示下さい。 | A-039図 矩計図(9)記載の通りです。 |
| 15 | 参考数量書P-478 特記仕様書P-57 | 樹木下客土について | 樹木下の客土について、特記仕様書では50cm(樹高3m未満)と記入がありますが、参考数量書ではH600となっております。H600が正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 16 | 参考数量書P907 | 共通仮設費内容について | 『共通仮設費(積上)』とありますが、仮囲い・出入口ゲート・鉄板敷・揚重機・交通誘導員・地盤沈下対策・防音シート・開口部養生・建設副産物処理・解体工事散水設備費が一式計上です。指定仮設でしたら仕様・数量内訳をご提示願います。 | 指定仮設ではありません。病院を運営しながらの工事であること、病院利用者や近隣への安全対策を最優先としてご提案ください。総合仮設計画、工事ステップごとの仮設計画を作成し、監督員の了承を得てから施工してください。 |
| 17 | 質疑回答1033 A-174・325・326 | アルミ庇について | 質疑回答1033に部分詳細図(9)D9-8 既製アルミ庇8は浄化槽棟に設置と回答が有りますが、浄化槽棟の平面図及び立面図で設置場所が不明です。 既製アルミ庇8:L=3,500を1か所、浄化槽棟に見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 前回までの回答に対する質疑は受け付けないとしていますが、既存健診センターエントランス部分です。 |
| 18 | 質疑回答1222・1223 A-328 | 地下防水の施工範囲について | 浄化槽棟 地下防水の範囲が下記のように異なります。質疑回答1222を正と考え、地下防水+山留めは、A-328図の記載通りに施工すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 因みに、参考数量書P105地下防水の数量は、質疑回答1222の範囲の数量と思われます。 * 質疑回答1222:B1FL-100程度まで、 B1FL-100より下部は防水不要 * 質疑回答1223:B1FL-100より下部 山留めを壁面より500離し、防水可能な 設置とする。塗膜防水 Y-1 | 前回までの回答に対する質疑は受け付けないとしていますが、お見込みの通りです。 |
| 19 | 質疑回答1687 M-703 | アスベストについて | 既存病院解体工事以外の工事にはアスベスト撤去は無いものと考えて宜しいでしょうか。 | 前回までの回答に対する質疑は受け付けないとしていますが、お見込みの通りです。 |
| 20 | 質疑回答1687 M-703 参考数量書P905 | アスベストについて | 図面M-703のアスベスト除去は全て既存病院解体工事にて見積するものと考えて宜しいでしょうか。 | 前回までの回答に対する質疑は受け付けないとしていますが、お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|-----------------------------|----------------|--|---|
| 21 | 質疑回答1687 P-801 | アスベストについて | 質疑回答1687にて御指示頂いた図面P-801にアスベスト撤去に関連する記述が有りません。衛生設備ではアスベスト撤去は無いものと考えて宜しいでしょうか。 | 前回までの回答に対する質疑は受け付けないとしていますが、前回資料のアスベスト分析結果を参照してください。 全て本工事とします。 アスベスト調査、分析及びアスベストの撤去、処分については、法規制に基づき行ってください。 撤去する箇所部材は、図番M-703、P-801の表を参照してください。 |
| 22 | 質疑回答1742 | 撤去図について | 10/23付質疑回答書のNo.1742番の回答について本館、エネルギー棟、CT棟の配管、ダクトの撤去図についての回答が無いのですが、再度撤去図の発行をお願いします。 | 前回までの回答に対する質疑は受け付けないとしていますが、配管・ダクトの撤去は、建築工事として行っていますので、撤去図は作成しておりません。 |
| 23 | 設計数量書 P349,350 | 鋼板製タンクについて | 質疑回答後の設計数量書でTD101,102の排水槽がSUS製から鋼板製に、また容量も変更になっています。変更するということで宜しいでしょうか。 | 図番P-101、機器リストを正としてください。 |
| 24 | 設計数量書 P-349、P-350 | 鋼板製タンクについて | 質疑回答後の設計数量書でTD101,102の排水槽がSUS製から鋼板製に、また容量も変更になっています。変更するということで宜しいでしょうか。 | 図番P-101、機器リストを正としてください。 |
| 25 | 設計数量書 P539 | ガス給湯器について | 質疑回答後の設計数量書でGH-1ガス給湯器が 50号X4台から30号X5台に変更になっています。変更するということで宜しいでしょうか。 | 図番P-101、機器リストを正としてください。 |
| 26 | 設計数量書 P-539 | ガス給湯器について | 質疑回答後の設計数量書でGH-1ガス給湯器が 50号X4台から30号X5台に変更になっています。 変更するということで宜しいでしょうか。 | 図番P-101、機器リストを正としてください。 |
| 27 | 特記P35 | セルフベリングの範囲について | セルフベリングの範囲について、特記仕様書 15章左官工事 3.セルフベリング塗りより、範囲が手術室全室・放射線機器等設置撮影室全室とありますが、撮影室は下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①1FCT ②1F一般撮影室 ③1FX線TV室 ④1F乳房撮影室 ⑤放射線読影室 | ①1FCT ②1F一般撮影室 ③1FX線TV室 ④1F乳房撮影室 ⑤血管室撮影室 ⑥心カテ室撮影室 ⑦MRI室撮影室 ⑧SPECT撮影室 ⑨リニアック室撮影室 ⑩CTシミュレーター室撮影室 ⑪泌尿器科X線TV室 ⑫泌尿器科結石破砕室としてください。 |
| 28 | 特記仕様書P-57 G-005 | 芝張下客土について | 芝張したの客土について、特記仕様書では20cmと記入がありますが、植栽計画図では150tの記入で相違します。150tを正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 29 | 特記仕様書P-57 G-005 G-070 | 樹木の支柱について | 樹木支柱の材質について、特記仕様書及び部分詳細図(3)では丸太となっていますが、植栽計画図では竹と記入があり相違しています。竹を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------|---|---|
| 30 | 付記-2 | 屋上、屋根の塗膜防水部 溶接金網について | 屋上、屋根の塗膜防水部 溶接金網について、設備基礎天端にも必要と考慮よろしいですか。 又、ウレタン・ゴムアス複合防水部も必要と考慮よろしいですか。 | お見込みの通りです。 ウレタン・ゴムアス複合部もメーカー仕様に倣うものとしてください。 |
| 31 | — | クリーンルームについて | クリーンルームに該当する部屋がある場合、部屋の仕上の変更、コーナー部のシーリング等、必要な項目がありましたら御指示下さい。 | クリーンルームに該当する部屋は、10月23日(月)の質疑回答1697等にて回答済みです。仕上は特に変更ありません。 |
| 32 | A-00 | ACW1モックアップ作成範囲について | ACW1モックアップ作成範囲について、北面側(Low-E無しの複層ガラス部)のW3000×H8350の範囲と考慮よろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 33 | A-002 A-051・054 | 2・3Fバルコニーの救助袋について | 2・3Fバルコニーの救助袋について、工事区分表-1より別途で宜しいですか。御指示下さい。 | 工事区分表は誤りです。救助袋は本工事とします。 |
| 34 | A-007 | 軒天井ケイ酸カルシウム板の目地シーリングについて | 軒天井 ケイ酸カルシウム板の目地シーリングについて、仕様を御指示下さい。 | 変成シリコン系10×6でお見積りください。 |
| 35 | A-007 | 外部に面する金属裏面のグラウト吹付について | 外部に面する金属裏面のグラウト吹付について、「笠木は除く」と指示があります。グラウト吹付が必要な箇所を御指示下さい。 | 屋内に面する金属面(建具含)とします。 |
| 36 | A-007 | 壁 異種仕上取合部の見切縁について | 壁 異種仕上取合部の見切縁について、特記無き限り、材料表(その他)の壁見切縁(抗菌 塩ビ23×25)を適用すると考慮よろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 37 | A-007 | 硬質ポリスチレンフォームt50の仕様について | 硬質ポリスチレンフォームt50(病室部分のコンクリート下面)について、共通特記事項 内装工事に記載がありますが、仕様を御指示下さい。 | 内壁用と同様としてください。 |
| 38 | A-007 | 耐火間仕切面クラック防止目地について | 共通特記事項、内壁において、「室内ボードは6m内外にクラック防止用の目地を設ける」とありますが、耐火間仕切面にも該当致しますので、耐火間仕切に目地を設ける部分は、石膏ボードT12. 5の増張りを必要と判断いたしますが宜しいですか。 | 増し張りは不要としてください。 |
| 39 | A-007 | 結露防止剤の仕様について | 共通特記事項に於いて、結露の発生が予測される部分には結露防止剤を塗装する事とありますが、結露防止剤の仕様が不明です。御指示下さい。 | 結露防止塗料とし、中等品としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|------------------------------|------------------------|---|---|
| 40 | A-007 | 外部ステンレス建具の塗装について | 共通特記事項において、出入り口扉スクリーンに「ステンレス製外部建具にはフッ素樹脂クリアー塗装を行い錆防止をおこなう」とありますが、フッ素樹脂クリアー塗装は現場塗装と判断して宜しいですか。 | 工場での焼付塗装としてください。 |
| 41 | A-007 A-171 | 吹抜手摺の ガラスフィルム張りについて | 吹抜手摺のガラスフィルム張りについて、材料表(種別 その他)より、ガラスフィルム貼り(装飾用デザインフィルム・紫外線カット・飛散防止)とフィルム貼り(住友3M ファサラ同等)の2種類記載がありますが、住友3M ファサラを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 3Mクラウド同等としてください。 |
| 42 | A-007 R-001 | 仕上の仕様について | 仕上の仕様について、改修後仕上表に下記の記載がありますが、材料表にて該当する項目が不明です。仕様、参考メーカー品番を御指示下さい。 ■1階薬剤室壁:塗装 ■MWC3、WWC3、HWC12壁:磁器質タイル | 1階薬剤室壁:塗装 EP-si MWC3、WWC3、HWC12壁:磁器質タイルは、無しとしてください。 MWC3、WWC3、HWC12内部壁面は改修無しです。既存のままとします。 |
| 43 | A-007・129～165 | 飛散防止フィルムについて | 共通特記事項の材料表・壁(内装)で強化ガラスは飛散防止フィルムの記入がありますが、外部で図示のない強化ガラスにも適用と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 44 | A-007・135 | 仕上記号の凡例について | 建具表でステンレス製建具の仕上欄にVBとありますが、凡例がなく不明です。パイレーションと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 45 | A-7 A-33 A-80 A-177 | ルーバー(壁付タイプ)について | D12-3図 ルーバー(壁付タイプ)について施工範囲が確認できません。SIMADAアラサのルーバー(B)のことでしょうか。又、H寸法及びサイズが相違しますが、A-7図 材料表・A-33・80図 H寸法(D1300)を正と考えてよろしいですか。 | 施工範囲は吹き抜け部分7-11通り、I-J通りです。 寸法は材料表等を正としてください。 |
| 46 | A-008 | 止水処理を要するPSの 仕上について | 止水処理を要するPSの仕上について、特記仕様書 付記-2 9.防水工事 B.止水処理より、「a.屋内PS(パイプスペース)最下階の下部に部屋がある場合には、床面及び壁立ち上り100mmに防水を施す。」とありますが、塗床(弾性ウレタン樹脂系)は不要と考えて宜しいでしょうか。 又、塗膜防水の仕様・メーカー・品番を御指示下さい。 | 塗床(弾性ウレタン樹脂系)は不要として、塗膜防水(X-2)としてください。 |
| 47 | A-008 | 縦樋の仕様について | 外装・外構仕上表 ルーフドレイン・樋において、各所縦樋の仕様の指示がありますが、免震ピット内横引き管の仕様の指示がありません。VP管としてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 48 | A-008 A-015 | 8F機械室の 床材立上高さについて | 8F機械室の床材立上高さについて、仕上表(8)では記載ありませんが、仕上表(1) 1～8階<共通>の機械室に倣い、H650と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 49 | A-008 A-025・026 | 7FLの庇について | 7FL K～M×12～13通り・T～U×4～6通りの庇について、下階の一部が内部となる為、屋根1 ウレタン・ゴムアス複合防水と考えて宜しいでしょうか。 又、上記庇に面する屋根2のパラペット天端もウレタン・ゴムアス複合防水に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 7FL K～M×12～13通り・T～U×4～6通りの庇は、ウレタン・ゴムアス複合防水としてください。庇に面する屋根2のパラペット天端もウレタン・ゴムアス複合防水としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------------------|---|---|
| 50 | A-008 A-031 | 屋根1の立上りについて | 屋根1の立上りについて、下記のように相違しています。 ・仕上表(1):フッ素樹脂塗装 ・矩計図(1):ウレタン・ゴムアス複合防水 ウレタン・ゴムアス複合防水を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 51 | A-008 S-26 | 床下りの相違 | 1階相談室1・3の床下りに相違があります。 ・仕上表(1) — FL-150 ・1階床伏図 — FL-0 FL-150を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 52 | A-008・033 | 立上りフッ素樹脂塗装について | 外部・外構仕上表 3.4階屋根 5階バルコニー2欄 屋根1立上りフッ素樹脂塗装のフッ素樹脂塗装の記入がありますが、矩計図では立上りフッ素樹脂塗は見当りません。場所を御指示下さい。 | 無しとし、立上り部は、床防水の立上げとします。 |
| 53 | A-008・091 | 風除室3の天井高について | 仕上表(1)において、1階風除室(3)の天井高がCH=2,700・2,850とありますが、1階天井伏図(1)ではCH=2,700のみの指示でCH=2,850の範囲が不明です。CH=2,850は該当無しとして宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 54 | A-8 | 外壁 せつ器質タイル クレアタイルについて | 外壁 せつ器質タイル クレアタイルは受注生産品ですので品番及び設計価格をご指示下さい。 | 品番はございません。 特注色、特殊面状、還元焼成、190×40×15 接着剤貼りにてお見積もりください。 |
| 55 | A-8 | 1F投棄窓口の壁仕上について | 1F投棄窓口について、壁仕上に吹付塗装(B)と(C)の双方がありますが、使い分けをご指示下さい。 | 吹付塗装(B)はカウンター裏、吹付塗装(C)はその他です。 |
| 56 | A-8・15 | 8F機械室の各仕上について | 8F機械室の仕上表について、A-8図とA-15図の双方に記載がありますが、A-15図を正と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 57 | A-9 S-26 | 床OAフロアについて | 1F CPU3・4の床OAフロアの高さについて A-9図 H350 S-26図 1F-150 とありますが、S-26図を正としH150と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 58 | A-009 | スタッフ通路2の床見切りについて | 仕上表(2)において、1階スタッフ通路2の床下地にコンクリート金縷・一部OAフロアの指示があり、取り合い部に見切りが必要と思われます。必要な場合、仕様を御指示下さい。 | A-167 部分詳細図(2) D2-6 としてください。 |
| 59 | A-009 A-048 | 1F廃棄物保管庫(P/1通)の仕上・天井高さについて | 1F廃棄物保管庫(P/1通)の仕上・天井高さについて、仕上表に無い為不明です。1F廃棄物庫に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 病棟の廃棄物保管庫と同様としてください。 |
| 60 | A-009 A-248 | 鉛ボードの範囲について | 鉛ボードの範囲について、1F操作ホール・放射線受付1が下記のように相違しています。 ・仕上表(2):鉛ボード指示有り ・放射線防護・シールド詳細図(1)D-1: 鉛ボード指示無し 放射線防護・シールド詳細図(1)D-1を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------------------|--|--|
| 61 | A-009 A-250 | 1F筋電図室・脳波検査室の 嵩上コンクリートについて | 1F筋電図室・脳波検査室の嵩上コンクリートについて、下記の様に相違しています。 ・仕上表(2):t150 ・放射線防護・シールド詳細図(3)D-2:t100 仕上表(2)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 62 | A-009・036・091 | 天井高さの相違 | 1階前室1の天井高さに相違があります。 ・仕上表(2)・1階天井伏図 — CH=2, 700 ・矩計図(6) — CH=2, 200 CH=2, 700を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 63 | A-10 A-170 | GB-St9.5について | A-170図 D5-4 ライングについて、ライング部 拡大図に GB-S9.5+12.5とありますが、仕上表 下部特記に「*壁、天井の内装制限は、下地仕上げ共不燃とする」とあるため、GB-St9.5をGB-S12.5(不燃)に読み替えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 64 | A-010 A-094 | 2F患者ラウンジの 天井について | 2F患者ラウンジの天井について、下記の様に相違しています。 ・仕上表(3):GB-Rt12.5+DR12 ・2階天井伏図:凡例Q 仕上表(3)を正と考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、凡例Qの仕上を御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 65 | A-010 A-096 | 2F院内売店の 天井について | 2F院内売店の天井について、仕上表(3)では別途工事、2階天井伏図(3)には天井高さH2400とありますが、天井インサートは建築工事で見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。インサートは鋼製、防錆処理とし@900、周辺部は端から150以内としてください。 |
| 66 | A-010 A-168 | 厨房の塗床立上り高さにつ いて | 厨房の塗床立上り高さについて、仕上表と部分詳細図(3)で下記の様に相違しています。 仕上表を正とし、H=650と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■仕上表:H=650 ■部分詳細図(3):H=900 | お見込みの通りです。 |
| 67 | A-010 A-251 | リアック室の 壁仕上について | リアック室の壁仕上について、仕上表(3)に防塵塗装(機械室)とありますが、ボード面に施工は不可と考えられます。 機械室部分も壁仕上はビニルクロスと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 68 | A-010 A-251 S-103 | リアック室の 嵩上コンクリートについて | リアック室の嵩上コンクリートについて、下記の様に相違しています。 ・仕上表(3):t500 ・放射線防護・シールド詳細図(5):t400 リアック棟1階床伏図より、スラブ上端レベルが1FL-500の為、仕上表(3)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 69 | A-011 | 3F冷凍庫・冷蔵庫、 チルド庫(厨房)について | 3F冷凍庫・冷蔵庫、チルド庫(厨房)について、隣接する検収室・調理室他同様、アスファルト防水(FL+650まで立上げ)が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------------|---|---|
| 70 | A-011 A-012 A-014 | 各所、鏡の仕様について | 下記部屋の仕上表備考に鏡:480×1100と記載がありますが、仕様を御指示下さい。 ①3Fパウダールーム ②3Fパウダークォーター ③6Fリハビリラウンジ | ステンレスミラーとしてください。 |
| 71 | A-011 A-055 S-28 | 3F準備室(厨房)の アスファルト防水 範囲について | 3F準備室(厨房)のアスファルト防水 範囲について、仕上表(4)に指示がありますが、3階平面詳細図(3)では壁凡例「+防1」の記載がありません。 3階床伏図のスラブ下がり部分を範囲と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 72 | A-011 A-055 S-28 | 3Fゴミ庫(換気)(厨房)の アスファルト防水について | 3Fゴミ庫(換気)(厨房)のアスファルト防水について、仕上表(4)に指示がありますが、平面詳細図では+防1の記載がありません。 3階床伏図にもスラブ下がりの図示が無いため、アスファルト防水は不要と考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、納まりを御指示下さい。 | 必要とし、+防1とします。 |
| 73 | A-011 A-098 | 3Fユニフォーム置場の 天井仕上について | 3Fユニフォーム置場の天井仕上について、下記のように相違しています。 ・仕上表(4):DR12+GB-Rt12.5 ・3階天井伏図(2):GB-Dt9.5 仕上表(4)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 74 | A-11 A-53 | 3F電気室について | 3F電気室について、仕上表備考に配線ピットとありますが平面詳細図では確認できません。必要であれば寸法・範囲をご指示下さい。 | 意匠別紙24を参照ください。 |
| 75 | A-11 A-75 A-166 | 3F解剖室について | 3F解剖室の中木について、仕上表及び水廻り詳細図(5)では立上りH300とありますが、アスファルト防水詳細図より立上りH650と読み替えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 76 | A-012 | 4階EVホール3の壁仕上について | 仕上表(5)において、4階EVホール3の壁にビニルクロス及び不燃木パネルの指示がありますが、それぞれの施工範囲が不明です。EV-2・3の扉前壁に不燃木パネル、それ以外をビニルクロスと想定いたしますが宜しいですか。 | EV-2,3の向かい側の壁面です。A-085図 5F廊下3展開図6-5通りと同様です。 |
| 77 | A-012 A-056 | 4FEVホール3の 壁不燃木パネルについて | 4FEVホール3 壁不燃木パネルについて、範囲が不明です。EV-2・3側の壁面と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | EV-2,3の向かい側の壁面です。A-085図 5F廊下3展開図6-5通りと同様です。 |
| 78 | A-012 A-099 | 3Fチルド庫(厨房)の 天井について | 3Fチルド庫(厨房)の天井について、3階天井伏図(3)より、FKt6+NAD+防カビ目地シール(凡例D防)とあります。 仕上表(5)ではプレハブ仕様の為、天井仕上は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 79 | A-013 | 4F倉庫1・2(N病棟)の 床下地について | 4F倉庫1・2(N病棟)の床下地について、仕上表(6)より鋼製床組とありますが、廊下1～5に適用すると考えて宜しいでしょうか。 又、備考欄の「廊下の一部 廊下5 SL=FL-10」も同様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------------------------|--|---|
| 80 | A-013 | 4F倉庫1・2(N病棟)の壁仕上について | 4F倉庫1・2(N病棟)の壁仕上について、仕上表(3)より不燃木パネル・強化ビニルクロスとありますが、廊下1～5に適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 81 | A-013 | 4F(N病棟)EVホール1の床下地について | 4F(N病棟)EVホール1の床下地について、スラブ下がり-300範囲の為、鋼製床組H300と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 82 | A-013 | 床アスファルト防水立上りの納まりについて | 床アスファルト防水立上りの納まりについて、仕上表の厨房・脱衣室・機械浴室床にアスファルト防水の記載がありますが、仕上表のみの記載となっております。立上り高さは床押えコン高さと考えてよろしいでしょうか。異なる場合は立上り高さを御指示下さい。 | A-166 +防-1の通りとします。 |
| 83 | A-013 | 床アスファルト防水立上りの納まりについて | 上記質疑に関連し、アスファルト防水立上りの断面詳細と、RC立上りの配筋を御指示下さい。 | A-166 +防-1の通りとします。配筋タテヨコ共D10@200ダブル、立上り頂部に2-D13としてください。 |
| 84 | A-013 | 個室Bの鋼製床組の範囲について | 仕上表で4階個室Bに鋼製床組の記入がありますが、伏図より床下りの範囲は見当たりません。不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 不要としてください。 |
| 85 | A-013 A-060 | 5階平面詳細図(2)の個室D(透析)(M-N/2-3通)について | 5階平面詳細図(2)の個室D(透析)(M-N/2-3通)について、仕上表(6)に倣い、個室D(陣痛)と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 平面詳細図の名称が正です。 |
| 86 | A-013 A-014 | 5・6F個室Dの壁仕上について | 5・6F個室Dの壁仕上について、仕上表(6)(7)よりFK-D3とありますが、範囲が不明です。不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 光庭側壁面をFK-D3としてください。 |
| 87 | A-013 A-014 S-30～32 | 5～7F見守りカウンター・SS1～3の床について | 5～7F見守りカウンター・SS1～3の床について、仕上表(6)(7)より、見守りカウンター:ビニル床シートF、SS1～3:ビニル床タイル+OAフロア-H150とありますが、使い分けの範囲が不明です。5～7階床伏図より、見守りカウンター部分もスラブ下がりH150の為、全てビニル床タイル+OAフロア-H150と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 見守りカウンター部分は全てビニル床タイル+OAフロア-H150としてください。 |
| 88 | A-013 A-056 | 4FWC(1通り/6-7通り間)の部屋仕上・天井高について | 4FWC(1通り/6-7通り間)の部屋仕上・天井高について、4FスタッフWC1～4に倣うと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 病棟WC1,2に倣ってください。 |
| 89 | A-013 A-109 | 7F HWC7・8の天井仕上について | 7F HWC7・8の天井仕上について、下記の様に相違しています。 ・仕上表(6):GB-R12.5+ビニルクロス ・7階天井伏図(1):DR12+GB-Rt12.5 仕上表(6)を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 90 | A-013 A-168 | 4Fオートクレープの中木について | 4Fオートクレープの中木について、仕上表(6)より床材立上H150とありますが、部分詳細図(3)D3-5の四周床見切りと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--|--|--|
| 91 | A-013 A-168 | 4Fオートクレープの天井について | 4Fオートクレープの天井について、下記のように相違しています。 ・仕上表(6):FKt6+NAD ・部分詳細図3(D3-5):化粧ケイカル板t6+6 仕上表(6)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 化粧ケイカル板6+6 グラスウール敷込としてください。 |
| 92 | A-013 S-29 | 4F機械浴室の スラブ高さについて | 4F機械浴室のスラブ高さについて、下記のように相違しています。 ・仕上表(6):FL-250 ・4階床伏図:FL-200 4階床伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 又、床仕上高さとの段差分に押えコンクリートが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 4階床伏図を正としてください。床仕上高さとの段差分に押えコンクリートが必要です。 |
| 93 | A-013 S-30 | 5～7階ランドリーのSLについて | 5～7階J～L通り・1～2通りのランドリーのスラブレベルに相違があります。 ・仕上表(6) — FL-150(嵩上げコンの指示あり) ・5階床伏図 — FL-10 FL-150を正と考えて宜しいですか。 | ・5階床伏図 — FL-10を正としてください。 |
| 94 | A-013・014 A103～111 | 5F HWC4・8、 6F HWC14、7F HWC13の 天井高さについて | 5F HWC4・8、6F HWC14、7F HWC13の天井高さについて、下記のように相違しています。 ・仕上表(6)(7):CH2400 ・5～7階天井伏図:CH2500 仕上表(6)(7)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 天井伏図を正としてください。 |
| 95 | A-014 | 6F SW1・2、7F SW1～4の 床下地について | 6F SW1・2、7F SW1～4の床下地について、仕上表(7)に記載がありませんが、アスファルト防水が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 96 | A-014 | 6F準備室の 天井仕上について | 6F準備室の天井仕上について、仕上表(7)より、GB-Dt9.5+ビニールクロスとありますが、GB-Rt12.5+ビニールクロスと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | GB-Dt9.5のみとしてください。 |
| 97 | A-014 | 7F HWC13の 床下地について | 7F HWC13の床下地について、仕上表(7)では鋼製床組H800ですが、構造図よりSL=FL-10の為、コンクリート直押と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 98 | A-014 | 7階SW1～4の防水について | 仕上表(7)において、7階SW1～4の床下地にコンクリート金ゴテ押えの指示がありますが7階平面詳細図に防水立上りの指示がある為、防水が必要と思われます。他の階同様、アスファルト防水を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 99 | A-014 | バスリブ部結露受けについて | バスリブ部結露受けについて、仕上表で各SWの天井にステンレス結露受け付きと記載されておりますが、範囲は水下側一面と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 100 | A-014 A-063 | 6F準備コーナー(R/2-3通) について | 6F準備コーナー(R/2-3通)について、仕上表(7)の準備室3と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------------------|--|---|
| 101 | A-014 A-063・064 | 6F理学療法室・作業療法室のシステムキッチンについて | 仕上表(7) 6F理学療法室・作業療法室の備考欄にシステムキッチンと記載がありますが、平面詳細図には指示がありません。必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 必要です。Q通り右側7-8通りの点線部分です。建築工事としてください。 |
| 102 | A-014 A-076 | 5～7F SW1～4の天井高さについて | 5～7F SW1～4の天井高さについて、下記のように相違しています。 ・仕上表(7):CH2400 ・水廻り詳細図(6):CH2500 仕上表(7)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 103 | A-014 A-107 | 6F浴室の天井について | 6F浴室の天井について、6階天井伏図(2)より浴室用天井成形板(凡例L)とありますが、ユニットバスの為、不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 104 | A-15 A-327 | 車庫の立上りの高さについて | 車庫の立上りの高さについて、仕上表(8)ではH100ですが、断面詳細図ではH300と相違します。 車庫の立上りの高さは仕上表(8)を正とし、H100と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | 300を正とします。 |
| 105 | A-15 A-327 A-328 | エポキシ樹脂系塗床 巾木について | 1F車庫 エポキシ樹脂系塗床 巾木について A-15図 H100 A-327図 H300 とありますが、A-327図を正と考えてよろしいですか。又、衝撃吸収ゴム下H450・段床ササリ小口部分もエポキシ樹脂系塗床と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 106 | A-15 A-327 A-328 | エポキシ樹脂系塗床 巾木について | 1F車庫 段床 防塵塗装～ササリ小口取合に見切縁が必要であれば仕様・形状寸法をご指示下さい。 | 見切縁は不要です。 |
| 107 | A-019 | 接続開口について | 本館～リニアックと本館～既存救急センターの接続開口高さは3.5m程度と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 本館免震層からリニアック棟、本館免震層から既存救急センター棟との接続の開口高さは1,800としてください。 |
| 108 | A-019 | 湧水槽の天井仕上について | 湧水槽の天井仕上について、ピット階平面図では現場発泡ウレタンとありますが、免震ピット下部のためコンクリート打放補修に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 109 | A-019 | 免震ピット内防液堤の防水について | ピット階平面図に於いて、K～L'通り、11～12通りに防液堤H=500・ウレタン塗膜防水(X-2)の指示がありますが、塗膜防水の施工範囲が不明です。防液堤の立上り両面、天端及び防液堤内部の床に必要と想定いたしますが宜しいですか。 | 塗膜防水不要とし、打放B種(補修)とします。 |
| 110 | A-019 S-02 S-24 | 接続部工事範囲について | 既存救急センターとの接続部にて跳出す躯体のコンクリート仕様は番号3と考え、計上場所は本館と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 111 | A-019 S-113 | 通気管、通水管の径について | 通気管、通水管の径が意匠図では両方共φ150、構造図ではφ100とφ200と相違しております。 意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

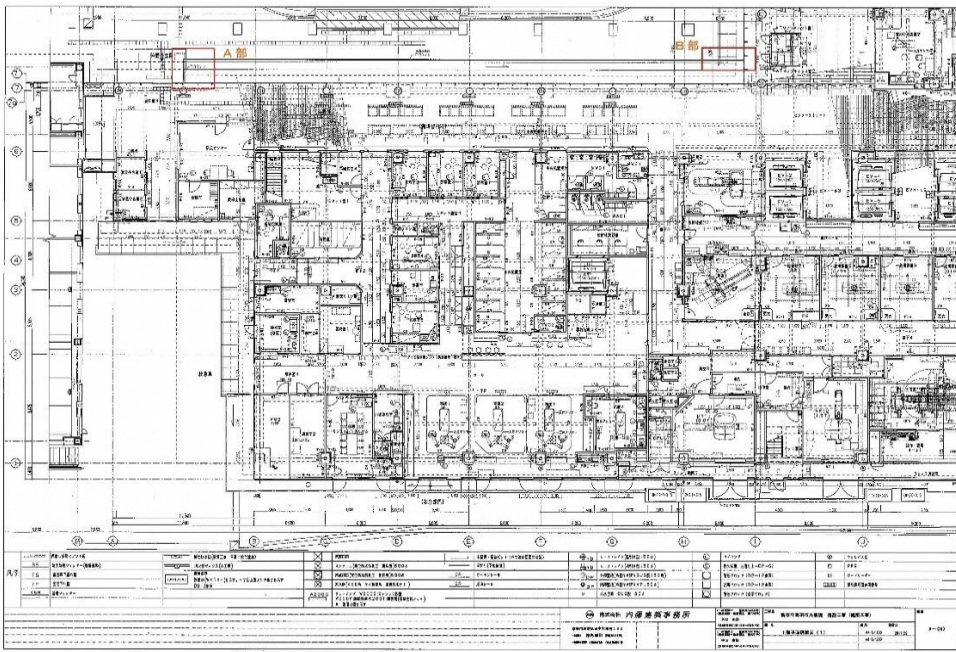
| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|---|------------------------------|--|--|
| 112 | A-019 S-23 | 湧水槽の範囲について | 湧水槽の範囲について、ピット階平面図はL-M/7-8通りに図示がありますが、基礎伏図の耐圧盤範囲よりM-N/7-8通りにも必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 113 | A-19 | 免震層ピットの防油堤について | 免震層ピットの防油堤について、防油堤内に設備基礎がありますがH100(ベタ基礎タイプ)と考えてよろしいですか。 | H150としてください。 |
| 114 | A-19 | 免震層ピットの下部湧水槽について | 免震層ピットの下部湧水槽について、深さが構造図等で確認出来ません。H1000と考えてよろしいですか。 | H1,000としてください。 |
| 115 | A-19 A-167 | 免震層ピットの下部湧水槽について | 免震層ピットの下部湧水槽について、MH(900角)がありますが部分詳細図(2) D2-10 マンホール(φ600)に読み替えてよろしいですか。 | お見込みの通り。なお、900角は湧水槽の釜場とします。 |
| 116 | A-021~026 A-045 A-051・054・057・060・063 | 階段4のルーフトレインについて | 階段4のルーフトレインについて、下記のように相違しています。 ・2~7階平面図、階段4詳細図:ルーフトレインあり ・平面詳細図:ルーフトレインなし 2~7階平面図、階段4詳細を正と考えて宜しいでしょうか。 又、ルーフトレインが不要の場合は階段4の踊場・踏面の排水溝も不要でしょうか。御指示下さい。 | 2~7階平面図、階段4詳細図を正としてください。ルーフトレインは必要です。 |
| 117 | A-024 A-060 | 5階平面詳細図(2)の個室C(M-N/3-4通)について | 5階平面詳細図(2)の個室C(M-N/3-4通)について、5階平面図に倣い、個室Fと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 118 | A-028 | 東側立面図の凡例Bについて | 東側立面図 3・5・6F 6~8通りの凡例Bについて、堅樋は示している為、凡例Qに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 119 | A-028・029 | 外壁押出成形セメント板について | 南側及び東側立面図で外部階段部分の外壁に目地の記入がありません。押出成形セメント板 W600 親水性フッ素樹脂塗装をと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 120 | A-029 A-045 | 階段4の手摺について | 階段4の手摺について、下記のように相違しています。 ・南側立面図:凡例P アルミ手摺 ・階段4詳細図:スチール+ビニルハンドレール 階段4詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | ステンレス製+ビニルハンドレールとします。 |
| 121 | A-029・065・066 S-32 | 外壁RC壁について | 南側立面図 5~7階 J通-3000及びL通+3000の袖壁小口が凡例N コンクリート打放し アクリルシリコンの記入でRC壁と思われませんが、構造伏図には壁の記入がありません。W200と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。又、アクリルシリコンの範囲は袖壁全域と解釈して宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。 | 増し打ち込みで厚さは200mmとし、配筋は縦D13@200ダブル、横D10@200ダブルとします。アクリルシリコンはフッ素樹脂塗装と読み替え、範囲は袖壁全域としてください。 |
| 122 | A-031 | 免震ピット擁壁(内部側)の仕上について | 免震ピット擁壁(内部側)の仕上について、矩計図(1)の排水溝と同じ塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 免震層ピット擁壁及び床は、ケイ酸質系浸透性塗布防水としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------------------|---|---|
| 123 | A-031 | 止水板について | 擁壁に土間が接続しますが、土間と擁壁接続面に止水板が図示されていませんが、必要なしと解釈して宜しいでしょうか。必要な場合は止水板材種を併せて御指示下さい。 | 非硫化ブチルゴム既製品 鉄板入り6×200としてください。 |
| 124 | A-031・166 | 外壁側LGSの設置高について | 外壁側のLGSが壁凡例ではスラブ底まで、矩計図では天井止めと相違します。矩計図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 壁凡例を正とします。 |
| 125 | A-032 | 3F電気室の床スチールPLについて | 3F電気室の床スチールPLについて、矩計図(2)より7a通部分に図示がありますが、表面仕上・厚み・範囲を御指示下さい。 | t=4.5、溶融亜鉛メッキとします。Wは図示の通り、Lは下部が外部の範囲とします。 |
| 126 | A-032 | 複合耐火部分の隙間塞ぎについて | 矩計図(2)に於いて、6通り梁～外壁が複合耐火部の様な図示となっておりますが、鉄骨とパネルとのクリアランスが250以上離れており、1時間耐火T25の認定範囲を超えております。その他の部分も同様のケースが多いことから、矩計図の複合耐火の表現部分は、全て、梁単体での耐火(FP060BM-9408)で見込むものと判断しますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 127 | A-032 S-28 | 3階電気室の床の納まりについて | 3階電気室床の納まりについて、矩計図(2)では床レベルはFL±0の範囲がありますが、3階床伏図では全面FL-310と相違しています。矩計図(2)の納まりを正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 128 | A-032 S-28 | 3階電気室スチールプレートの有無について | 上記質疑に関連し、矩計図(2)で外壁沿いに床にスチールプレートの記載されておりますが、3階床伏図の納まり(全面FL-310)が正の場合でもスチールプレートは必要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 129 | A-032 S-28 | 3階電気室スチールプレートの仕様について | 上記質疑が正の場合、スチールプレートの仕様はt=1.6 焼付塗装 W=500 L=18000程度と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | t=4.5とします。溶融亜鉛メッキとします。Wは図示の通り、Lは下部が外部の範囲とします。 |
| 130 | A-32 | 5FL 屋根立上り 外壁側アルミ水切について | 5FL 屋根立上り 外壁側アルミ水切について、設置場所はRCアゴが無い部分のみと考えてよろしいですか。又、水切のメーカー程度をご指示下さい。 | お見込みの通りです。水切のメーカー指定は特にございませぬ。監督員に提示し了承を得て、施工してください。 |
| 131 | A-32 | スチールPLについて | A-32図 3F電気室 7a通り 床に「スチールPL」図示がありますが、板厚及び仕上・施工方法をご指示下さい。 | t4.5、溶融亜鉛、溶接とします。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-----------------------|---|----------------------------------|
| 132 | A-034 | 防水立上り用RC腰壁の隣接する部屋について | 防水立上り用RC腰壁の隣接する部屋について、矩計図(4)より添付図部分の納まりを御指示下さい。  | GL工法とし、LGS部ボードとはシールで見切ります。 |
| 133 | A-036 | サッシ受け鉄骨について | 矩計図(6)において、1階廊下内部側のサッシ上部に受け鉄骨の図示ですが、部材メンバー・部材構成が不明です。御指示下さい。 | 矩計図(6)1階廊下内部側サッシ上部の受け鉄骨は必要ありません。 |
| 134 | A-036 | サッシ受け鉄骨について | 上記質疑において、上記のサッシ受け鉄骨は、天井高さまでである自動ドアに必要と想定いたしますが宜しいですか。 | サッシ受け鉄骨は必要ありません。 |
| 135 | A-037 A-176 | 3Fテラス植栽廻りの塗装について | 3Fテラス植栽廻りの塗装について、下記の様に相違しています。 ・矩計図(7):フッ素樹脂塗装 ・部分詳細図(11)<D11-3>:アクリルシリコン塗装 フッ素樹脂塗装を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 136 | A-037 A-176 | 3階テラス立上りの仕上について | 3階テラス1通り側立上り仕上に相違があります。 ・矩計図(7) — フッ素樹脂塗装 ・部分詳細図(11) — アクリルシリコン塗装 フッ素樹脂塗装を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 137 | A-037.176 | 3階テラス塗装仕上について | 3階テラスのパラペット仕上が下記の様に異なります。矩計図(7)を正と考えてよろしいでしょうか。御指示ください。 * 矩計図(7):フッ素樹脂塗装 * 部分詳細図(11):アクリルシリコン塗装 | お見込みの通りです。 |
| 138 | A-038 | 免震擁壁の地上部仕上について | 矩計図(8) 免震擁壁の地上部仕上について、打放補修仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 塗膜防水(Y-1)としてください。 |
| 139 | A-038 A-008 | 6階屋根パラペット天端の仕上について | 6階屋根パラペット天端の仕上に相違があります。 ・矩計図(8) — アルミ笠木 ・外装・外構仕上表 — 塗膜防水(X-2) アルミ笠木を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

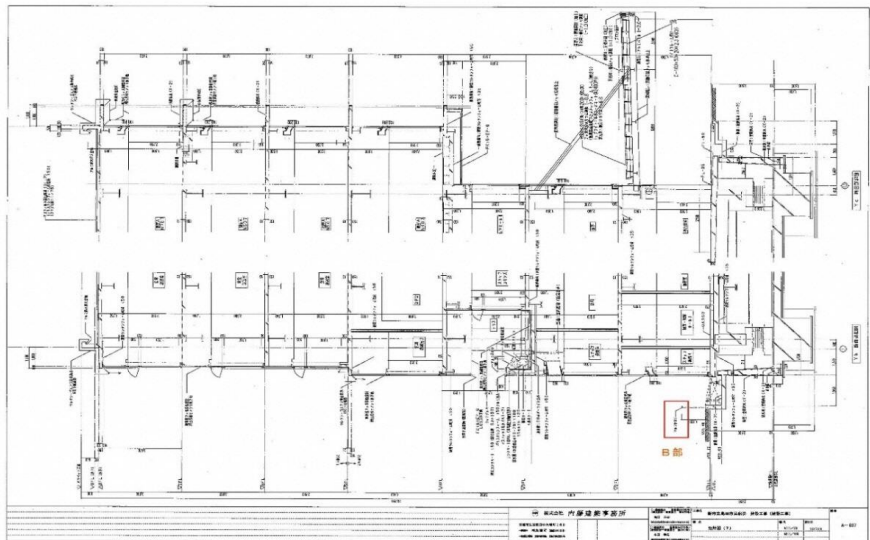
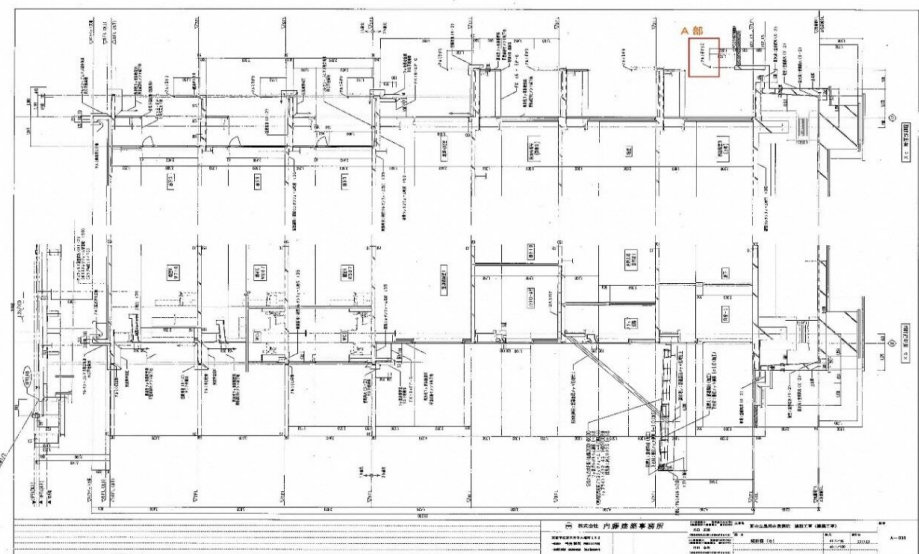
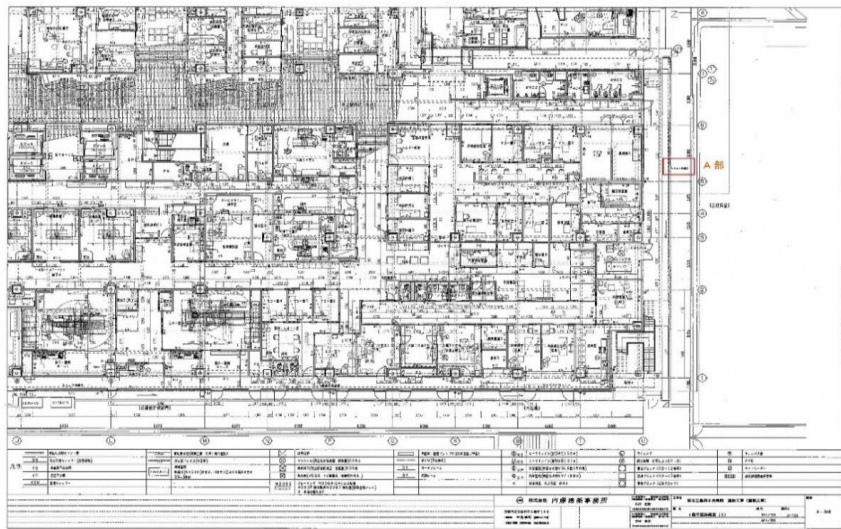
| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|-----------------------------|------------------------------|---|----------------------------|
| 140 | A-039 A-059・060 A-176 | 光庭のオーバーフロー管について | 5F光庭(E・W)のオーバーフロー管について、設置位置は各3か所の合計6か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 4か所とします。 |
| 141 | A-041 | 2階リニアック棟取合い部片持ちスラブの仕上について | 矩計図(11)において、2階リニアック棟取合い部に片持ちスラブの指示がありますが、仕上が不明です。ウレタンゴムアス複合防水と想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 142 | A-041 | 2階リニアック棟取合い部片持ちスラブ部手摺の詳細について | 矩計図(11)において、2階リニアック棟取合い部に片持ちスラブ部の手摺に「横棧3本」とありますが、姿図では2本しかありません。姿図通り2本と想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 143 | A-041 | 手摺EXP. Jについて | リニアック棟と取り合う屋根に手摺が有りますが、仕上が不明です。溶融亜鉛メッキと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 | お見込みの通りです。 |
| 144 | A-041 A-051 | 2階リニアック棟取合い部片持ちスラブ部の手摺について | 2階リニアック棟取合い片持ちスラブ部の手摺の仕様に相違があります。 ・矩計図(11) — スチール ・2階平面詳細図(2) — アルミ手すり2 スチールを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 145 | A-041 A-052 | 2FLの本館～リニアック棟取合部について | 2FLの本館～リニアック棟取合部について、下記項目を御指示下さい。 ①跳ね出しスラブは屋根1とし複合防水と考えて宜しいでしょうか。 ②手摺が矩計図(11)ではスチールですが、2階平面詳細図(3)ではアルミ手摺2とあり相違しています。スチール手摺と考えて宜しいでしょうか。 | ①お見込みの通りです。 ②お見込みの通りです。 |
| 146 | A-042 A-043 | 階段室1・2の梁納まりについて | 階段室1・2について、階段詳細図に梁の図示がありますが、納まりは壁仕上+PBt12.5+12.5+LGSW65と考えて宜しいでしょうか。 | LGS+FK t6にてお見積もりください。 |
| 147 | A-042～044 A-046 S-73 | 階段踏面 モルタルの厚みについて | 階段踏面 モルタルの厚みについて、下記のように相違しています。 ・階段1～3詳細図・スタッフ階段詳細図:t40 ・階段詳細図(1) C部詳細図:t45 階段1～3詳細図・スタッフ階段詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 構造図を正とし45mmとします。 |
| 148 | A-042・043 | 階段梁型の仕上について | 階段1・2詳細図において、梁型に仕上の図示がありますが、仕様が不明です。壁同様にEP-Si+硬質石膏ボードT9.5+石膏ボードT12.5を想定いたしますが宜しいですか。 | LGS+FK t6にてお見積もりください。 |
| 149 | A-043 A-044 | 階段室2の段裏について | 階段室2の段裏について、階段2詳細図(断面詳細図A・B)より1F部分の床は、階段3と同様ALC床t125を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 150 | A-043 A-044 | 階段室2の間仕切について | 階段室2の間仕切について、階段2詳細図(断面詳細図A)より、5通部分は階段3と同じALC壁t100を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | WT-1とします。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|---------------------------------|---|---|
| 151 | A-044 | 階段室3 床ALCの厚みについて | 階段室3 床ALCの厚みについて、階段3詳細図(区画部詳細図)よりt1250とありますが、t125に読み替えて宜しいでしょうか。 又、仕様はC種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 階段室3 床ALCの厚みt125としてください。仕様はC種としてください。 |
| 152 | A-044 | 階段室3 間仕切ALCの厚みについて | 階段室3 間仕切ALCの厚みについて、階段3詳細図(区画部詳細図)よりt1000とありますが、t100に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又、仕様はC種 縦壁ロッキング工法と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 階段室3 間仕切ALCの厚みt100としてください。仕様はC種 縦壁ロッキング工法としてください。 |
| 153 | A-044 | 階段室3(免震部-1F)の仕上について | 階段室3(免震部-1F)の仕上について、床・壁・天井共に下地材表しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 床はモルタル素地、壁及び天井はEP-Siとしてください。 |
| 154 | A-044 | 階段室3のノスリップについて | 階段室3のノスリップについて、階段3詳細図(下端詳細図)に図示がありませんが、免震部～1F部分にも1～RF同様、ステンレス製のノスリップを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 155 | A-045 | 階段4の各項目について | 階段4の下記項目について御指示下さい。 ①踊場・踏面の排水溝W100×H10の仕上は塗膜防水 X-2と考えて宜しいでしょうか。 ②踊場・踏面 ウレタン系合成樹脂塗床(ノスリップ)のメーカー・品番を御指示下さい。 ③階段4詳細図の4階平面図に目隠しルーバーとありますが、誤記と考え不要で宜しいでしょうか。必要な場合は、仕様・詳細・施工範囲を御指示下さい。 | ①お見込みの通りです。 ②中等品とします。 ③お見込みの通りです。 |
| 156 | A-045 | 階段4～バルコニーの間の取合い納まりについて | 階段4詳細図において、5～7階の鉄骨階段とバルコニーの間に隙間埋めの塞ぎプレートの指示がありますが、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。 | スチールプレートt3. 2 溶融亜鉛鍍金W300 埋込としてください。 |
| 157 | A-045 | 階段4踏面・踊場ウレタン系合成樹脂塗床のメーカー・品番について | 階段4詳細図において、階段踏面・踊場にウレタン系合成樹脂塗床の指示がありますが、メーカー・品番が不明です。御指示下さい。 | A-007に図示の通りです。 |
| 158 | A-045 | 外部階段 2～4階バルコニーに渡る階段手摺について | 外部階段 2～4階バルコニーに渡る階段手摺の外壁側(U通)は壁付手摺と解釈して宜しいでしょうか。壁付手摺の場合、仕様を併せて御指示下さい。 | ステンレス製+半硬質耐候性樹脂二層成形(抗菌剤・光触媒入)+アルミ製ブラケットとします。 |
| 159 | A-046 | スタッフ階段の天井について | スタッフ階段詳細図において、1階～3階の一部にCH=2, 500の指示がありますが、天井の仕上が不明です。最上階同様にEP-Si+不燃積層石膏ボードT9. 5+石膏ボードT12. 5を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 160 | A-046 | スタッフ階段の下り壁について | スタッフ階段詳細図において、1階～3階に下り壁の図示がありますが、仕上が不明です。EP-Si+硬質石膏ボードT9. 5+石膏ボードT12. 5を想定いたしますが宜しいですか。 | GB-R12.5+12.5+EP-Siとしてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|---------------|--|---|
| 161 | A-047 | EXP.Jについて | 図示A部の仕様はA-211EXPJ図TE-2ですか。立面についてご指示ください。 | お見込みの通りです。H1100とします。 |
| 162 | A-047 | EXP.Jについて | 図示B部にはA-211EXPJ図TE-1は不要ですか。 | お見込みの通りです。H1100とします。 |
| | | |  | |
| 163 | A-047 | CT室等の補助手摺について | CT室等の補助手摺について、1階平面詳細図(1)でCT1・2撮影室に補助手摺の様な表記がありますが、平面詳細図のみの記載となっており形状・仕様が不明です。仕様及びメーカー品番を御指示下さい。 | L型手摺 TOTO T112CL9同等としてください。 |
| 164 | A-047 A-112 | 手摺の範囲について | 1階廊下2手摺について、1階平面詳細図(1)で手摺(下地補強)が記載されておりますが、1階雑伏図では記載されておりません。不要と考えるよろしいでしょうか。 又、手摺範囲は雑伏図を正と考えてよろしいでしょうか。 平面詳細図が正の場合、改めて雑伏図にて手摺範囲を御指示下さい。 | 必要とします。雑伏図を正とします。平詳のみにある場合は、そちらも見込んでください。 |
| 165 | A-047 A-112 | 開口一方枠について | 1階更衣室1~4開口一方枠について、1階平面詳細図(1)で更衣室1~4に開口一方枠の表記がありますが、1階雑伏図では記載されておりません。必要と考え3か所見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------------------|---|--|
| 166 | A-047～ A-049 | ALC床について | 1階平面詳細図において、1階FS1～3にALC床の指示がありますが、厚さが不明です。T100と想定いたしますが宜しいですか。 | 125としてください。 |
| 167 | A-047～049 | 1FFS1～3の 床ALCについて | 1F FS1～3の床ALCについて、1階平面詳細図に指示がありますが、四周取付金物の仕様・寸法を御指示下さい。 | ALC版t150のスパン2790mm以内に1か所、梁スパンが短くなる方向にH-300×150×6.5×9(GPL-9,HTB 3-M20)を設けてください。 |
| 168 | A-047～049 S-26 | 1FFS1～3の 床ALCについて | 1FFS1～3の床ALCについて、1階平面詳細図(1)～(3)に図示がありますが、t125 C種と考えて宜しいでしょうか。 又、構造図より、床ALC下部にスラブ下がり-1250がありますが、納まりを御指示下さい。 | お見込みの通りです。但し、F種 t150とします。 将来のEVピット対応のため、他EV同様とし、打放しB種(補修)仕上げとします。 |
| 169 | A-047～70 | 機械室の外壁廻りについて | 機械室の外壁廻りについて、平面詳細図より、胴縁の有無が各階によって異なりますが、全て胴縁(壁凡例:W-4a)を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 170 | A-047・048・274 | 一般撮影室1～4の寸法について | 1階一般撮影室1～4の部屋寸法が、平面詳細図と医療機器詳細図で相違します。平面詳細図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 171 | A-047・048・274 | 一般撮影室1～4の寸法について | 上記質疑で医療機器詳細図が正しい場合、影響が及ぶ範囲の平面詳細図等を御指示下さい。 | 平面詳細図を正としてください。 |
| 172 | A-048 | 1F FS3・機械室3の 間仕切ALCについて | 1F FS3・機械室3の間仕切ALCについて、1階平面詳細図(2)に指示がありますが、C種 縦壁ロックンク構法と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 173 | A-048 | 間仕切の仕様について | 1階平面詳細図(2)において、R～T通り・5通り生理検査受付・ホールにH=1, 600の間仕切がありますが、壁符号が不明です。W-3を想定いたしますが宜しいですか。 | W-1とします。 |
| 174 | A-048 | 間仕切ALCパネルについて | 1階平面詳細図(2)において、T～U通り・5通りの壁に「ALCパネルt=100」の指示がありますが、「壁符号:WT-1・W-2G」も指示がある為、ALCパネルt=100は不要として想定いたしますが宜しいですか。 | 必要とします。 |
| 175 | A-048 | ALCパネルの仕様について | 上記において、ALCパネルが必要な場合、仕様(縦張or横張)が不明です。御指示下さい。 | 縦張としてください。 |
| 176 | A-048 | 開口三方枠について | 1階X線TV室の洗面室開口部について、開口三方枠を見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-----------|--|----------------------|
| | A-048 A-036 A-037 | アルミ手摺について | 図示A部のアルミ手摺2の詳細をご指示ください。又、図示B部アルミ手摺の詳細をご指示ください。 | FB手摺(部分詳細図)、図示の通りです。 |



| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------------------|---|---|
| 178 | A-048 A-166 | 間仕切の仕様について | 1階平面詳細図(2)において、L～M通り・3～4通り放射線受付1～操作ホール間に間仕切がありますが、壁符号が不明です。W-4として宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 179 | A-048他 | 階段室複壁について | 1階平面詳細図(2)他において、M通り・5～6通り階段3に複壁の図示がありますが、壁符号が不明です。W-2aを想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 180 | A-48 | 1F機械室3の壁について | 1F機械室3の壁について、5通りが一部ALCパネル表しとなりますが、シーラー処理は必要と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 181 | A-049 | 1F泌尿器科検査室の排水口について | 1階平面詳細図(3) 泌尿器科診察室(10・M通り)に排水口とありますが、建築工事で見込むものがありましたら、仕様・詳細を御指示下さい。 | 衛生設備工事です。 |
| 182 | A-049 | 1F SW前室の仕上について | 1F SW前室の仕上について、仕上表に無い為不明です。1F汚染検査室に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 3F脱衣室4と同様としてください。 |
| 183 | A-049 A-093 | 職員玄関の軒天井について | 職員玄関の軒天井について、EP-G/ケイ酸カルシウム板t=6.0/LGSと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 184 | A-049 A-112 | 風除室の手摺について | 風除室の手摺について、手摺TB-3の範囲及び形状が雑伏図と平面詳細図で相違しています。 雑詳細図を正とし、下記と通りと考えてよろしいでしょうか。異なる場合はTB-3の範囲及び形状を改めて御指示下さい。 ■風除室1:W1000 2か所、W800 1か所 ■風除室2:W1000 2か所、W800 2か所 ■風除室3:W800 4か所 ■風除室4:無し | 雑伏図を正としてください。 風除室4にもW800 4か所を見込んでください。 |
| 185 | A-049-093 | エスカレーター下部部屋の天井の納まりについて | 1階平面詳細図(3)及び1階天井伏図(3)に於いて、I～I'通り・7～8通りのATM・ATMメンテナンス室がエスカレーター下部となりますが、天井下の納まり詳細(軽鉄下地の受け材等)が不明です。詳細を御指示下さい。 | 天井はエスカレーターの鋼板塗装仕上げとします。 |
| 186 | A-050 | 2F産婦人科診察室の排水口について | 2階平面詳細図(1) 産婦人科内診室1・2(2-5・C通り)に排水口とありますが、建築工事で見込むものがありましたら、仕様・詳細を御指示下さい。 | 衛生設備工事です。 |
| 187 | A-050 A-094 | カーテンレールの有無について | 2階点滴室の待合2側入の口カーテンレールの有無に相違があります。 ・2階平面詳細図(1) — 有り ・2階天井伏図(1) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 188 | A-51・S-27 | 2F当直室2の床下地について | 2F当直室2の床下地について、スラブが下っていますが、ビニル床タイル(B)下にOAフロアH200を見込んでよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------------------------|---|--|
| 189 | A-051 A-095 | カーテンレールの有無について | 2階EV-8横の計測室のカーテンレールの有無に相違があります。 ・2階平面詳細図(2) — 有り ・2階天井伏図(2) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 190 | A-052 A-053 A-055 | 丸柱について | 丸柱について、下記室は耐火被覆面に壁仕上(ビニールクロス又は吹付塗装C)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・2Fレストラン(職員) ・3F廊下 ・3F副院長室2 | お見込みの通りです。EP-Siとしてください。 |
| 191 | A-52 | 窓下FIXユニットについて | 2F平面詳細図で2F隔離室8に窓下FIXユニットのような図示がありますが、家具キープランに記載がありません。 F-65と同様の家具が取り付けると考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 192 | A-053 | テラス他ウッドデッキ部のルーフトレイン用点検口について | 3階平面詳細図(1)において、テラスウッドデッキにルーフトレイン点検用の点検口が必要と思われませんが、寸法・詳細が不明です。御指示下さい。 | ルーフトレイン設置部:点検口 300角とします。 |
| 193 | A-053.059.060 | ウッドデッキについて | 3階テラス、5階光庭ウッドデッキに点検口300角が各2か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 | ・ルーフトレイン設置部:点検口 300角 ・マンホールφ600設置部:点検口 800角としてください。 |
| 194 | A-053・054 | 3Fスタッフ commons のパーティション(PT)のH寸法について | 3Fスタッフ commons のパーティション(岡村製作所マッフル同等品)のH寸法について、参考数量書P305に倣い H1460と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 195 | A-053・054 | スタッフ commons のPTについて | 3階平面詳細図(1)・(2)において、スタッフ commons にあるPTに「岡村製作所マッフル同等品(本工事)」と記載がありますが、パーティション高さが不明です。パーティション高さを御指示下さい。 | H1460としてください。 |
| 196 | A-053・055 | 3Fテラス植栽部のルーフトレインについて | 3Fテラス植栽部のルーフトレインについて、トレインカバーが必要と思われまます。仕様・寸法を御指示下さい。 | グリーンシステム ドレインカバー同等品とします。 |
| 197 | A-053・056・059・062・065 | 階段室複壁について | 3～7階平面詳細図(1)において、B～C通り・5～6通り階段2廻りに複壁の図示がありますが、壁符号が不明です。3階同様にW-2aを想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 198 | A-054 A-098 | カーテンレールの有無について | 3階男子更衣室入口のカーテンレールの有無に相違があります。 ・3階平面詳細図(2) — カーテンレールと想定できる凡例の記載有り ・3階天井伏図(2) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 199 | A-054 A-098 | カーテンレールの有無について | 上記質疑に関連しますが、3階男子更衣室入口にカーテンレールがある場合、3階女子更衣室の入口には、3階平面詳細図(2)・3階天井伏図(2)ではカーテンレールの図示はありませんが、3階男子更衣室入口同様にカーテンレールが必要としてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------------------|---|---|
| 200 | A-55 | 3F更衣室1・2について | 3F 更衣室1・2について、平面詳細図に実線が見受けられますが床段差等があるのでしょうか。必要であれば詳細をご指示下さい。 | ございません。備品の棚を想定しています。 |
| 201 | A-055 | 3FL屋根2の機械基礎について | 3階平面詳細図(3) 屋根2 10通り外壁側の機械基礎について、6.0×1.2×0.3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 202 | A-058 | 4F処置室の排水口について | 4階平面詳細図(3) 処置室(10-11・K通り)に排水口とありますが、建築工事で見込むものがありましたら、仕様・詳細を御指示下さい。 | 衛生設備工事です。 |
| 203 | A-058 A-077 | 4F病室 N406(I'-K/13通)について | 4F病室 N406(I'-K/13通)について、病室詳細図(1)では個室A(陰圧)ですが、4階平面詳細図(3)に倣い、個室E(陰圧)と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 204 | A-059 | 光庭のウッドデッキについて | 5F光庭(E・W)のウッドデッキについて、ルーフトレイン・マンホールφ600設置部に点検口が必要と思われます。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①ルーフトレイン設置部:点検口 300角 ②マンホールφ600設置部:点検口 800角 | お見込みの通りです。 |
| 205 | A-059 ・039 | 中庭(W)床面のOF(オーバーフロー管)について | 5階平面詳細図(1)において、中庭(W)床面にOF(オーバーフロー管)の指示がありますが、仕様・納まり詳細が不明です。御指示下さい。 | ステンレス製60φとします。A-39図の通りです。 |
| 206 | A-060 A-125 | 5FGCU・未熟児室～授乳室のパーティションについて | 5FGCU・未熟児室～授乳室(7-8・M通り)のPT(パーティション)について、建具符号案内図に記載がありません。仕様・詳細を御指示下さい。 | スチールパーティションの上ビニルクロス貼りとしてください。高さは天井までとしてください。 |
| 207 | A-063.071.171 | 洗面カウンターについて | D6-14の洗面カウンターは、6階平面詳細図のリハビリラウンジの洗面カウンターに指示がありますが、WC他の洗面カウンターの詳細図が見当たりません。特記なき洗面カウンターは、人工大理石と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 208 | A-063.126.154 | TFの建具符号について | 6階建具符号案内図、M-Q通り/6-7通り部、理学療法室にTFの建具符号がありますが、建具表にて不明です。TF:固定ガラス垂壁を3か所追加し、 ・TF-601:W8500×H500、コーナー型 ・TF-602:W8500×H500、 ・TF-603:W8300×H500、 仕様はTF-401に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | TF601:W8,483 TF602:W8,580 TF603:W8,283 すべてH500 仕様はお見込みの通りです。 |
| 209 | A-63 | 6F理学療法室・作業療法室の畳について | 6F作業療法室の畳について、仕様・程度・畳厚をご指示下さい。 | A-208図F-82に図示の通り。 |
| 210 | A-63 | 木床について | 6F作業療法室の畳下については、東立床組を見込んでよろしいですか。樹種・等級等をご指示下さい。 | A-208図F-82に図示の通り。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------------|--|---|
| 211 | A-63 | 6F理学療法室・作業療法室の上框について | 6F作業療法室の畳廻り上框について、仕様・仕上・寸法をご指示下さい。 | A-208図F-82に図示の通り。 |
| 212 | A-068 | 8F機械室の防油堤について | 8F機械室の防油堤について、下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①防油堤内床、笠木:防塵塗装/コンクリート金鍍 ②防油堤立上:防塵塗装/コンクリート打放補修 | お見込みの通りです。 |
| 213 | A-069 | 設備基礎について | 屋上アスファルト露出断熱防水(DI-2)部の設備基礎 H300は基礎下ルーフィング増張の上、後打コンクリートと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 基礎は躯体一体とお見積もりください。 |
| 214 | A-071 | WCの洗面カウンターについて | 各階WCの洗面カウンターについて、仕様・詳細を御指示下さい。 | アイカ セットインタイプLとしてください。 |
| 215 | A-071 | 間接照明ボックスの仕上について | 洗面カウンター上部天井間接照明ボックスについて、水廻り詳細図で洗面カウンター上部に間接照明ボックスが記載されておりますが、仕上が不明です。W100×H100、PB貼t12.5+ビニルクロス、アルミ見切縁と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | L-3と同様としてください。 |
| 216 | A-071 A-169 | WCの洗面カウンター上部鏡のH寸法について | 各階WCの洗面カウンター上部鏡のH寸法が下記の様に相違しています。 ・水廻り詳細図:H780 ・部分詳細図(4) D4-5:H900 H780と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 217 | A-071～076 P-102～106 | MWC・WWCの化粧鏡の仕様・形状について | MWC・WWCの化粧鏡の仕様・形状の相違があります。 ・水廻り詳細図(1)～(6) — 耐食鏡T5 カウンター巾×H780 ・衛生器具表(1)～(5) — W350×H800 YM3580FC 耐食鏡T5 カウンター巾×H780を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 218 | A-071・073・074・076 | 各WCの間接照明について | 水廻り詳細図(1)(3)(4)(6)において、洗面カウンター上部の天井面に間接照明がありますが、間接照明ボックスの仕様・形状が不明です。詳細を御指示下さい。 | L-3と同様としてください。 |
| 219 | A-71 | トイレ鏡上照明ボックスについて | 展開図 WWC1の化粧鏡上部に照明ボックスが見受られますが、ボックス込で電気工事と考えてよろしいですか。ボックスが建築工事であれば、仕様・詳細をご指示下さい。 | L-3と同様としてください。 |
| 220 | A-072 | レストラン厨房の開口枠について | 水廻り詳細図(2)において、2階レストラン(厨房)の展開図A・C・D面の配膳・下膳カウンター開口廻りに開口枠と思われる図示がありますが、仕様・形状が不明です。仕様・形状を御指示下さい。 | 不要としてください。 |
| 221 | A-076 | 5～7F機械浴室1・2のステンレス手摺について | 5～7F機械浴室1・2のステンレス手摺について、水廻り詳細図(6)より壁3面に図示がありますが、詳細を御指示下さい。 | SW2同様のSUS手摺です。手摺:ステンレス製34φHL 受金物:ステンレス製@1,200以内 丸座:ステンレス製60φt3 |
| 222 | A-076 | SW3 SW手摺・洗面器置場の仕様について | 水廻り詳細図(6) 4F SW3の下記項目の仕様・詳細を御指示下さい。 ①SW手摺 ②洗面器置場 | ①SW2同様のSUS手摺です。手摺:ステンレス製34φHL 受金物:ステンレス製@1,200以内 丸座:ステンレス製60φt3 ②洗面器置場 TOTOEWB650G |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|-------------------------------------|--------------------------|--|--|
| 223 | A-76 A-170 A-63 | 水廻り詳細図について | 水廻り詳細図(6)の注記について「6F東側リハビリテーション病棟HWC1・2、WC、洗面コーナーに前方ボード・前方手摺各1か所設置」とありますが、東側リハビリテーション病棟には該当する部屋が見当たりません。又、部分詳細図(5)D5-9では全てのHWCに取り付くような表記となっています。6F HWC9～15に部分詳細図の手摺等が取り付くと考えてよろしいですか。 | 6F東病棟HWC11,12には前方ボード(D5-9)。リハビリラウンジ洗面コーナーには前方手摺を見込んでください。 |
| 224 | A-077 | 病室壁化粧ケイカル板の範囲について | 個室A・B・Cの壁化粧ケイカル板の範囲が病室詳細図内の平面詳細図と展開図で相違します。展開図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 225 | A-077 | 4床室の洗面廻り壁化粧ケイカル板の仕様について | 4床室の洗面廻りFK-Dは個室と同様にFK-D3と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 洗面廻りのみFK-Dとしてください。 |
| 226 | A-077～079 | 病室のウォールケアユニットについて | 病室内のウォールケアユニットが建築工事の場合は仕様・詳細を御指示下さい。 | A-244～A-247 カウンターユニット詳細図を参照ください。 |
| 227 | A-077～079 A-094～111 A-031・033 | ブラインドボックスの取付け位置について | ブラインドボックスの取付位置に相違があります。 ・病室詳細図(1)～(3) — サッシ額縁の内々(L型) ・1階天井伏図(1)～7階天井伏図(3) — サッシ額縁外の天井埋込み(コ型) ・矩計図(1)(3) — サッシ額縁外の天井埋込み(コ型) 全てのサッシのついて、サッシ額縁の内々(L型)を正と考えて宜しいですか。 | 病室内のベッドサイドのサッシAW-17については、全てサッシ額縁の内々(L型)としてください。その他は全てサッシ額縁外の天井埋込み(コ型)としてください。 |
| 228 | A-077～079 A-094～111 A-031・033 | ブラインドボックスの仕様・形状について | 上記質疑に関連しますが、ブラインドボックスが天井埋込となる場合、下記をご指示下さい。 ①埋込みとなる範囲 ②埋込みカーテンボックスの仕様・形状 ③同等メーカー・品番 | ①全てのサッシのついて埋込としてください。病室内のベッドサイドのサッシAW-17については、全てサッシ額縁の内々(L型)としてください。その他は全てサッシ額縁外の天井埋込み(コ型)としてください。 ②(L型)(コ型)共に合成樹脂製としてください。 ③カイダーベースボード L-BOX(レール付き)B-BOX(レール付き)同等 |
| 229 | A-077・172 | 個室コンソール横の納まりについて | 展開図で個室A他のソファ横にベッド前の病室コンソールの様な図示がありますが、納まりが不明です。間接照明(病室コンソール)に倣うものと解釈して宜しいでしょうか。又、FL+1600の位置に実線が無い為、FL+1600～2500の強化石膏ボードの増張は不要と解釈して宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 230 | A-077・221 | 無菌個室家具等について | 病室詳細図で無菌個室にロッカー・ベッドガード・ライニングの図示がありますが、無菌個室ユニット詳細図には見当たりません。不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | ベッドガードは、設置してください。 |
| 231 | A-078・172 | 2床室コンソール横の納まりについて | 展開図で2床室B・Cの病室柵板横に、H900程度のフカシ壁の図示がありますが、納まりが不明です。間接照明(病室コンソール)に倣うものとし、強化石膏ボードの増張は不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 Hはベッド後ろのふかし壁と同様の高さとしてください。 |
| 232 | A-080 | 1-2F SHIMADAプラザの天井高さについて | 1-2F SHIMADAプラザの天井高さについて、下記のように相違しています。 ・主要展開図(1)B面:H7000 ・主要展開図(1)D面:H8400 主要展開図(1)B面を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-----------------------------|--|---|
| 233 | A-084他 | 壁異種仕上取合い見切りについて | 主要展開図(5)他において、廊下1他で不燃木パネル・吹付塗装C等の壁仕上が変わる場所に見切が必要と思われませんが、仕様が不明です。御指示下さい。 | スチールFB 6×30焼付塗装としてください。 |
| 234 | A-091 | ブラインドボックスについて | ブラインドボックスについて、天井伏図でBB:ブラインドボックス 樹脂製 カイダーベースボード'同等品 アルミ製カーテンレールダブルと記載されておりますが、カーテンボックスは病室のみとし、それ以外はブラインドボックスと考えてよろしいでしょうか。 | すべてBB:ブラインドボックス 合成樹脂製 カイダーベースボード'同等品 アルミ製カーテンレールダブルとしてください。 |
| 235 | A-094 | 2F患者ラウンジ・センターストロートの天井について | 2F患者ラウンジ・センターストロートの天井について、2階天井伏図(1)に添付図の図示がありますが、詳細を御指示下さい。  | SW107,211です。 |
| 236 | A-094 A-050 | カーテンレールの有無について | 2階隔離室1・2のカーテンレールの有無に相違があります。 ・2階天井伏図(1) — 有り ・2階平面詳細図(1) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 237 | A-096 A-010 | 天井仕上の相違について | 2階レストラン(一般)の天井仕上GB-Dt9. 5(スクエア)上のEP-Siの有無に相違があります。 ・2階天井伏図(3) — 有り ・仕上表(3) — 無し 2階天井伏図(3)を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 238 | A-096 A-098 | LGS固定下り壁の高さについて | LGS固定下り壁の高さについて、下記室が不明です。すべてH300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①2Fレストラン(厨房) ②3階廊下7 | H500としてください。 |
| 239 | A-097 A-172 | 3Fスタッフ commons の間接照明L-5について | 3Fスタッフ commons の間接照明L-5について、天井仕上が下記のように相違しています。 ・3階天井伏図(1): GB-Rt12.5+ビニルクロス(凡例F) GB-Rt12.5+GB-NCt9.5+EP-Si(凡例C) ・部分詳細図(7)D7-4: GB-Rt12.5+GB-NCt9.5+吹付塗装 GB-Rt12.5+EP 3階天井伏図(1)を正と考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、吹付塗装A～Cの種類を御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 240 | A-097～099 A-011 | 3階廊下3天井仕上の相違 | 3階廊下3の天井仕上に相違があります。 ・3階天井伏図(1)～(3) — 化粧石膏ボードT9. 5 ・仕上表(4) — 石膏ボードT12. 5+ビニルクロス 化粧石膏ボードT9. 5を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|---------------------|--|--------------------------------|
| 241 | A-097・098 A-012 | スタッフコモンズの天井仕上の相違 | 3階スタッフコモンズの天井仕上に相違があります。 ・3階天井伏図(1)・(2) — ビニルクロス+石膏ボードT12. 5(CH=2, 500)・EP-Si+不燃積層石膏ボードT9. 5+石膏ボードT12. 5 ・仕上表(5) — EP-Si+不燃積層石膏ボードT9. 5+石膏ボードT12. 5 天井伏図を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 242 | A-100 A-154 | PT-401～405の寸法について | PT-401～405のH寸法の相違があります。 ・4階天井伏図(1) — H2, 800 ・4階建具表(4) — H2, 500 H2, 800を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 243 | A-104 | 天井伏図凡例Nについて | 天井伏図凡例Nについて、ケイカル板は目透し張りと考えてよろしいですか。 | 目地シールとし、変成シリコーン系10×6でお見積りください。 |
| 244 | A-109 | ブラインドボックスの有無について | 7階天井伏図において、下記の部屋の窓部分にブラインドボックスの図示がありませんが、他の病室同様にブラインドボックスが必要としてよろしいですか。 ①個室E W710 WC内 ②個室C W718 ③個室C W719 | お見込みの通りです。 |
| 245 | A-114 A-011 | 3階EVホール1腰壁の相違 | 3階EVホール1の腰壁の有無に相違があります。 ・3階雑伏図 — 腰壁シートH=1, 000 ・仕上表(4) — 無し 腰壁シートH=1, 000を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 246 | A-115 A-013 | 4階廊下の腰壁の相違 | 4階廊下1～5の腰壁の有無に相違があります。 ・4階雑伏図 — 強化ビニルクロスH=800まで ・仕上表(6) — 無し 強化ビニルクロスH=800までを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 247 | A-115 A-118 | 4・7階SW3の縦型手摺について | 4・7階SW3の縦型手摺について、4・7階雑伏図にTT-1:縦型手摺が記載されておりませんが、他SW同様に各2か所見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 248 | A-115 A-168 | 4FOPスタッフラウンジの腰壁について | 4FOPスタッフラウンジの腰壁について、雑伏図ではWG-Aとありますが、範囲の指示がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 誤記です。不要としてください。 |
| 249 | A-115 A-168 | 4F病棟払出室の腰壁について | 4F病棟払出室の腰壁について、凡例が不明です。WG-D(中央材料室)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 250 | A-120 | 自動扉の安全光線について | 自動扉の安全光線について、光電管・2段枠内組込、安全光線付の自動扉は時限自動開閉装置付とあります。 自動扉全てに安全光線付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|----------------|--|---|-------|-----------|--------|--------|----|---------|--------|----|---------|--------|----|--------|--------|----|----------------|----|--------|----------------|----|--------|--------------------|----|--------|--------|------|----|---------|------|----|--------|------|----|----------------|--------|----|--------|--------|----|--------|--------|----|--|--|--|--|
| 251 | A-120 A-175 | アルミ建具の水切について | アルミ建具の水切について、下記を御指示下さい。 ①建具共通事項にて、下枠(外壁同面納まりの場合は上枠共)はアルミ水切付とありますが、D7-1詳細よりAW・AG全て上下共水切付と考えて宜しいでしょうか。 ②建具共通事項にて、病室建具のみアルミPL-5とありますが、上記の上下水切部がアルミPL-5と考えて宜しいでしょうか。 ③上記②に該当する建具は、AW-17・17'・17L・17L'・17-1・17-1'・17a・17a'・17aL・17aL'・18a-1・19-1・21・21L・21-1・32・33・34全てと考えて宜しいでしょうか。 | ①お見込みの通りです。 ②アルミPL-5ではなくアルミ型材としてください。 ③外壁同面納まりの建具はすべてとしてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 252 | A-120～165 | 建具の防火性能について | 下記建具の防火性能が建具表と建具符号案内図で相違します。建具表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">(建具表)</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">(建具符号案内図)</td> </tr> <tr> <td>・SS117</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・LD201b</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・LD203b</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・LD206</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・LSD207(M-8通り)</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> </tr> <tr> <td>・LSD213(M-8通り)</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> </tr> <tr> <td>・LSD214(M-8・N-7通り)</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> </tr> <tr> <td>・SD307</td> <td style="text-align: center;">防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・SD404b</td> <td style="text-align: center;">防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・SD608</td> <td style="text-align: center;">防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・SD610b(J-9通り)</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・SD707</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> <tr> <td>・SDR04</td> <td style="text-align: center;">特定防火設備</td> <td style="text-align: center;">ナシ</td> </tr> </table> | | (建具表) | (建具符号案内図) | ・SS117 | 特定防火設備 | ナシ | ・LD201b | 特定防火設備 | ナシ | ・LD203b | 特定防火設備 | ナシ | ・LD206 | 特定防火設備 | ナシ | ・LSD207(M-8通り) | ナシ | 特定防火設備 | ・LSD213(M-8通り) | ナシ | 特定防火設備 | ・LSD214(M-8・N-7通り) | ナシ | 特定防火設備 | ・SD307 | 防火設備 | ナシ | ・SD404b | 防火設備 | ナシ | ・SD608 | 防火設備 | ナシ | ・SD610b(J-9通り) | 特定防火設備 | ナシ | ・SD707 | 特定防火設備 | ナシ | ・SDR04 | 特定防火設備 | ナシ | <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・SS117 特定防火設備 ・LD201b なし ・LD203b なし ・LD206 なし ・LSD207 特定防火設備 ・LSD213 特定防火設備 ・LSD214 特定防火設備 ・SD307 防火設備 ・SD404b 防火設備 ・SD608 特定防火設備 ・SD610b 特定防火設備 ・SD707 特定防火設備 ・SDR04 特定防火設備 </td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> | | <ul style="list-style-type: none"> ・SS117 特定防火設備 ・LD201b なし ・LD203b なし ・LD206 なし ・LSD207 特定防火設備 ・LSD213 特定防火設備 ・LSD214 特定防火設備 ・SD307 防火設備 ・SD404b 防火設備 ・SD608 特定防火設備 ・SD610b 特定防火設備 ・SD707 特定防火設備 ・SDR04 特定防火設備 | |
| | (建具表) | (建具符号案内図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SS117 | 特定防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・LD201b | 特定防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・LD203b | 特定防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・LD206 | 特定防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・LSD207(M-8通り) | ナシ | 特定防火設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・LSD213(M-8通り) | ナシ | 特定防火設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・LSD214(M-8・N-7通り) | ナシ | 特定防火設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SD307 | 防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SD404b | 防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SD608 | 防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SD610b(J-9通り) | 特定防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SD707 | 特定防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SDR04 | 特定防火設備 | ナシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・SS117 特定防火設備 ・LD201b なし ・LD203b なし ・LD206 なし ・LSD207 特定防火設備 ・LSD213 特定防火設備 ・LSD214 特定防火設備 ・SD307 防火設備 ・SD404b 防火設備 ・SD608 特定防火設備 ・SD610b 特定防火設備 ・SD707 特定防火設備 ・SDR04 特定防火設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 253 | A-121～128・135 | 化粧シートの貼付範囲について | 建具案内図で化粧シート貼の記入がある、片袖片開き戸付シャッターの仕上範囲が不明です。化粧シートは片開き戸部のみ貼付とし、その他部は建具表に倣うと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 片開き戸、枠共化粧シート貼りとしてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 254 | A-122.143 | 建具符号の不明について | 2階建具符号案内図、J通り／5通り部のPS下、抗酸菌室建具符号が不明です。LD-205の扉を1か所追加と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 建具符号LD207とし、LD203aと同等仕様のW700としてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 255 | A-122.145 | TFの建具符号について | 2階建具符号案内図、L通り／4-5通り部にTFの建具符号がありますが、建具表にて不明です。TF-204を1か所追加し、W2750×H500、仕様はTF-203に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | TF204:W2780×H500としてください。 仕様はTF-203と同様としてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|-----------------------------|------------------|---|---|
| 256 | A-122他 | 各建具符号案内図について | 各建具符号案内図について、下記を御指示下さい。 ①2階L通り・4-5通りにTFとありますが、建具符号が見当たりません。必要でしたら建具符号・寸法等詳細を御指示下さい。 ②3階メールボックス1前にTFとありますが、建具符号が見当たりません。必要でしたら建具符号・寸法等詳細を御指示下さい。 ③4階蛍光灯微鏡室内PS片開に建具符号が見当たりません。平面詳細図では片開の図示がありません。必要でしたら建具符号・寸法等詳細を御指示下さい。 ④6階理学療法室廻りにTFと3か所ありますが、建具符号が見当たりません。必要でしたら各建具符号・寸法等詳細を御指示下さい。 | ①TF204:W2780×H500としてください。 ②TF309:W4000×H500としてください。 ③SD405:W600×H2,000としてください。 ④TF601:W8,483 TF602:W8,580 TF603:W8,283 すべてH500 |
| 257 | A-124.151 | SD-405のか所数について | SD-405のか所数ですが、建具表では14か所ですが、4階建具符号案内図にて15か所と異なります。4階建具符号案内図の15か所を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 258 | A-124・151 | SD-405の仕様について | 4階建具符号案内図において、K～L'通り9～10通りPSのSD-405に「P(パニックオープン)」の指示ですが、施工位置がPSで電気錠の指示もないため、パニックオープンを不要で想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 259 | A-125・156 | LD-502の仕様について | 5階建具符号案内図において、Q～R通り2～3通り器材室3のLD-502に「P(パニックオープン)」の指示ですが、施工位置が器材室で片開きドアに電気錠の指示もないため、不要で想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 260 | A-129 | SS-1のテンキー操作盤について | SS-1のテンキー操作盤について、工事区分は電気設備工事と考えてよろしいですか。 | 建築工事としてください。 |
| 261 | A-129 A-172 特記P39・40 | SS-1の耐風圧について | SS-1の耐風圧について、詳細図では1000Paとありますが、特記仕様書では500Paと相違します。詳細図の1000Paを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 262 | A-129 参考数量書P225 A-121 | SD-1の仕様について | SD-1の仕様について、建具表には記述がありませんが参考数量書で「自動ドア」となっています。取付場所が1Fサービス玄関のため、参考数量書に倣い自動ドアと考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 263 | A-129 特記P39・40 | 重量シャッターの耐風圧について | 重量シャッターの耐風圧について、特記仕様書では管理用:150N/m ² ・防火用:500N/m ² とありますが、外部用シャッターは上記SS-1(オーバースライダー)以外に見当たりません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 浄化槽棟にございます。 |
| 264 | A-129～165 | ガラスの種別 | 建具表で防火性能がない建具につく小窓のサイズが150□、150φの場合、その建具に倣いFL5と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------------|--|--------------------|
| 265 | A-131 | AW17-1の下部FIXガラスについて | AW17-1の下部FIXガラスについて、FL5+A6+FL5とありますが、AW17-1'同様にT8+A6+FL5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 266 | A-131 | AW17bのオペレーター装置について | AW17bのオペレーター装置について、姿図が縦に出窓のため不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 267 | A-135 | STDのステンレス額縁について | STD-102・103・106・107に於いて、ステンレス額縁の指示ですが、枠見込み160のため、軽鉄間仕切壁に納まります。額縁は不要で宜しいですか。 | 額縁は必要です。 |
| 268 | A-136 C-001 | SS117の防火性能について | SS117の防火性能について、建具表:特定防火設備とありますが、建具キープランに“特防”の図示がありません。法規チェック図では特定防火設備のため、特定防火設備を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 269 | A-136 C-001 | SD111bの防火性能について | SD111bの防火性能について、建具表:階段1～3・スタッフ階段のみ耐熱強化ガラスt5(特定防火設備)とありますが、階段1・3は建具キープランに“特防”の図示がありません。法規チェック図では階段1のみ特定防火設備のため、階段3(階段室内にある扉)は特定防火設備無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 特定防火設備としてください。 |
| 270 | A-138 | LSD105のエコー室1額ガラスについて | LSD105のエコー室額ガラスについて、LSD110のエコー室同様にガラスは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 271 | A-138 | LSD-109のガラスについて | 1階建具表(4)において、LSD-109のガラス形状がHWC3のみ角窓150□との指示ですが、ガラス仕様は他の角窓同様フロートガラスT5(フィルム張り)を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 272 | A-138 | 建具表金物欄 吊ハンガーレール(半自動) | 建具表でLSD106b・516・702aの金物欄に吊ハンガーレール(半自動)とありますが、自動閉鎖式と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 半自動はすべてなしとしてください。 |
| 273 | A-140・248・250 | 建具形状について | 建具表でPbSD104の姿図に寸法のみ記入しかなく形状が不明です。PbSD101aに倣うと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 274 | A-141 | SS-204～206 備考の記述について | SS-204～206 備考の記述について、SS-204～206の建具表備考に「アルミ額縁」とありますが、何処にどの様に付くのか不明です。不要と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 275 | A-141 A-120 | SDの機械室・PS等扉について | SDの機械室・DS・EPS・PS扉について、FB枠とのことですが、SD204他の外部に面する建具はFB枠不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 外部についてもFB枠としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------|--|------------------------------|
| 276 | A-142 | SW208のグラフィックシートについて | SW208のグラフィックシートについて、ガラス面に貼るものと考えて宜しいでしょうか。 又、メーカー品番等がありましたら御指示下さい。 | ガラス面です。飛散防止フィルムも見込んでください。 |
| 277 | A-142 | SW-208のグラフィックシートについて | SW-208において、グラフィックシートの指示がありますが、ガラス面に施工でしょうか。その場合、飛散防止フィルムと両方必要になるのでしょうか。御指示下さい。 | ガラス面です。飛散防止フィルムも見込んでください。 |
| 278 | A-142 | SW-208のグラフィックシートについて | 上記質疑において、グラフィックシートの同等メーカー・品番がありましたら、御指示下さい。 | 中川ケミカル カuttingシート同等品としてください。 |
| 279 | A-144 | 相談室1のLSD213について | 相談室1のLSD213について、建具キープランでは“化”とありますが、センターストリートではなく調剤・注射室に面する扉です。化粧シートは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 280 | A-145 A-249 | PbSD201について | PbSD201について、建具表・キープラン共2か所ですが、放射線防護詳細図では片引1か所・片開1か所と相違します。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 281 | A-146他 A-162 | SHS-701~703の避難口有無について | SHS-701~703の避難口有無について、他階のスクリーンシャッターは全て姿図に避難口がありますが、7FのSHS-701~703にはありません。避難口無しタイプと考えてよろしいですか。 | 避難口を1か所ずつ見込んでください。 |
| 282 | A-147 | AW-308の枠見込みについて | AW-308において、枠見込みが135の指示ですが、アルミ建具のため、枠見込み70を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 283 | A-149 A-172 特記P50 | PT304他のスライディングウォール仕上について | PT304他のスライディングウォール仕上について、建具表ではボード下地+指定仕上とありますが、詳細図では標準色焼付鋼板t0.6(クロス貼仕上別途工事)と記載があります。又、特記仕様書では壁紙張りに図示があります。スライディングウォール仕上は全て標準色焼付鋼板t0.6とし、詳細図が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい | お見込みの通りです。 |
| 284 | A-149他 A-161 | PT-603の仕上について | PT-603の仕上について、建具表で他の移動間仕切は全て「ボード下地+指定仕上」ですが、PT-603のみ「焼付塗装」とあります。その通りと考えてよろしいですか。 | ボード下地+指定仕上としてください。 |
| 285 | A-149他 建築工事特記仕様書50/61 | スライディングウォールの仕様について | スライディングウォールの厚さの相違があります。 ・3階建具表(4)他 — 見込み80 ・建築工事特記仕様書50/61 — t100 見込み80を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 286 | A-151 | SS内EPSのSD405について | SS内EPSのSD405について、建具キープランでは“P”とありますが、EPS扉のためパニックオープン錠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------|--|---------------------------------|
| 287 | A-151 C-004 | SD404bの防火性能について | SD404bの防火性能について、建具表:防火設備とありますが、建具キープランに“防”の図示がありません。又、法規チェック図においても防火設備の図示がないため、防火設備は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 防火設備としてください。 |
| 288 | A-153 A-156 | LSD406・LD505のガラスについて | LSD406・LD505のガラスについて、FL5(フィルム貼)とありますが、額サイズ150×1700のため、他建具同様にT5(飛散防止フィルム)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 289 | A-154 | PbW401のガラスについて | PbW401のガラスについて、鉛ガラスT5(飛散防止フィルム貼)とありますが、鉛当量2.0のため他同様に鉛ガラスT14(飛散防止フィルム無し)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 290 | A-154 | PbW-401のガラスについて | PbW-401において、ガラスの厚さがT5とありますが、鉛板ガラスのため、他のPbWと同様にT14を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 291 | A-155 | 階段3脇PSのSD510bについて | 階段3脇PSのSD510bについて、建具キープランでは“P”とありますが、PS扉のためパニックオープン錠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 292 | A-156 | AD502・503のSUS(片)(枠共)について | AD502・503のSUS(片)(枠共)について、建具キープランでは図示がありますが、他階SW等につくADには図示がありません。AD建具のためSUS(片)(枠共)は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 各階統一でSUS(片)(枠共)としてください。 |
| 293 | A-156 | 器材室3のLD502について | 器材室3のLD502について、建具キープランでは“P”とありますが、器材室3のみ必要でしょうか。器材室扉のためパニックオープン錠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 294 | A-157 | 層間塞ぎの受け金物について | 層間塞ぎの受け金物について、下端部分にスチールPL-t1.6を層間塞ぎのW寸法分で見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | A-175図として回答いたします。 お見込みの通りです。 |
| 295 | A-157 A-256 | 床OAフロア部 配線ピット内部について | 1F CPU3・4 配線ピット内部について、A-157 2-11図ではモルタル金鍍+防塵塗装ですが、床下地がOAフロア部分は、A-256図に記載の分割板と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 296 | A-162 | SHS701～703の避難口について | SHS701～703の避難口について、建具表姿図に図示がありませんが、他同様に各1か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 297 | A-164 | LSD721の自動ドアについて | LSD721の自動ドアについて、建具表備考に図示がありますが、形式等より不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 298 | A-164 | LSD-721 備考の記述について | LSD-721 備考の記述について、LSD-721の建具表備考に「自動ドア」と記述がありますが、金物欄の内容は手動ドアの内容です。自動ドアと考えてよろしいですか。又その場合、エンジンはタッチスイッチと考えてよろしいですか。 | 自動ドアではありません。LSD-720と同様の仕様としてください。 |
| 299 | A-166 | 成型緩衝材について | D1-3図に記載の「成型緩衝材」について、仕様・程度をご指示下さい。 | ドラーフタイト工業パラタイト同等としてください。 |
| 300 | A-166 A-248 | 鉛入石膏ボードについて | 鉛入石膏ボードについて、放射線防護・シールド詳細図で一般壁面の鉛入石膏ボードはt=12.5一枚貼と記載されておりますが、平面詳細図より一般壁W-1・2はGB-Rt12.5+鉛+GB-Ht9.5、W-3・4はGB-Rt12.5+鉛+GB-Rt12.5と読み替えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 301 | A-167 | 床点検口下部のタラップの段数について | 部分詳細図(2) D2-9 床点検口について、40か所設置するとありますが、設置場所が不明の為、下部タラップのか所数(段数)が不明です。か所数(段数)を御指示下さい。 | D2-9のうち、タラップが必要なのは、1Fに設置する3か所のみとします。 |
| 302 | A-167 | 屋内設備基礎の仕上について | 部分詳細図(2) D2-14 屋内設備基礎の立上りの仕上について、基本はウレタン塗膜防水で床仕上が防塵塗床の場合は、ウレタン塗膜防水を防塵塗床と読み替えるがありますが、床仕上がエポキシ樹脂系塗床の場合はエポキシ樹脂系塗床に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 303 | A-167 | 免震ピット受け樋部横引き管の仕様について | 部分詳細図(2) D2-7A免震ピット受け樋において、ピット内及び受け樋から地中への横引き管の指示がありますが、仕様が不明です。VP管を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 304 | A-167 | 内部設備基礎架台配筋について | 内部基礎架台配筋図がAとB2種類が記入されていますが、H300以下をAタイプ、H300を越える場合をBタイプと解釈して宜しいでしょうかご指示下さい。 | お見込みの通り。 配筋はS-71図によります。 |
| 305 | A-168 | 4Fオートクレープの天井 グラスウール敷込みにについて | 4Fオートクレープの天井 グラスウール敷込について、密度は32kg/m3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 306 | A-168 | WG-D(厨房) ウレタン樹脂系塗床材の 立上り高さについて | WG-D(厨房) ウレタン樹脂系塗床材の立上り高さについて、部分詳細図(3)D3-2よりH900とありますが、立上り高さは仕上表に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 307 | A-168 A-013 | オートクレープ天井仕上の相違 | 4階オートクレープの天井仕上に相違があります。 ・部分詳細図(3) — 化粧ケイカルt6+6 グラスウール敷込 ・仕上表(6) — FKt6+NAD 化粧ケイカルt6+6 グラスウール敷込を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------|--|--|
| 308 | A-168 A-013 | オートクレーブ天井について | 上記質疑において、下記を御指示下さい。 ①化粧ケイカル板T6+6とありますが、化粧ケイカル板t6+ケイカル板T6と想定いたしますが宜しいですか。 ②グラスウール敷込はT100、24kg/m3程度と想定いたしますが宜しいですか。 | ①お見込みの通りです。 ②グラスウール敷込はT100、32kg/m3 としてください。 |
| 309 | A-168 A-115 | オートクレーブ囲いの三方枠について | 部分詳細図(3) D3-5 オートクレーブ囲いの三方枠について、4階雑伏図に三方枠の指示がありません。三方枠の寸法を御指示下さい。 | W6000×H2200としてください。 オートクレーブ室の組立室側、既滅菌室側ともに必要です。 |
| 310 | A-169 | 天井グラスウールマットについて | 部分詳細図(4) D4-11アルミ複合パネル納まりにおいて、天井裏に「グラスウールマット 50m/m」と記載がありますが、図示が無く詳細が不明です。グラスウールマットは不要と想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 311 | A-169 A-114 A-115 | 防水パンについて | 部分詳細図(4) D4-9 防水パンの下記項目について、御指示下さい。 ①流れ方向 ②メーカー品番 ③軒樋の仕様・設置範囲 ④ドレンのか所数 ⑤壁樋の排水経路 | ①直近の接続間の排水 ②中等品 ③カラーガルバリウム鋼板t0.6 ④箇所/防水パン箇所数 ⑤直近の壁樋に接続 |
| 312 | A-171 | トイレブースの仕様について | トイレブースの同等メーカー・品番が不明です。御指示下さい。 | アイカ ピュアコア同等品としてください。 |
| 313 | A-171 | 質疑回答1021のキャットウォークの階段について | 質疑回答1021で、キャットウォークの階段は1か所と回答がありますが、階段・手摺の詳細が不明です。御指示下さい。 | 図示の通り。段差部を示します。 |
| 314 | A-172 | マシンハッチの部材について | 部分詳細図(7)において、D7-2マシンハッチの詳細に「中受材」とありますが、部材メンバーが不明です。部材メンバーを御指示下さい。 | 意匠別紙25を参照ください。 |
| 315 | A-172 | マシンハッチについて | D7-2マシンハッチの下地は、L-40x40x3とありますが、割付を御指示下さい。その他、下地鉄骨が必要な場合は御指示下さい。 | 意匠別紙25を参照ください。 |
| 316 | A-174 | 屋上の目隠し壁について | 部分詳細図(9)×D9-10>PH階目隠し壁詳細について、押出成形セメント板の上下金物は下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①上下金物 PL-9曲加工 L-250×90:φ600 ②上部金物 L-50×50×6:通し | ①のピッチは600としてください。②については図面記載の通りとしてください。 |
| 317 | A-174 | 設備架台鉄骨部アンカーボルトの配置・割付について | 部分詳細図(9) D9-3屋上設備基礎、目隠し基礎において、設備架台鉄骨にアンカーボルトの指示がありますが、配置・割付が不明です。1基礎当り2か所(1か所当りアンカーボルト4本)と想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------------------|--|--|
| 318 | A-174 | 屋上手摺の詳細について | 部分詳細図(9)D9-4a屋上手摺において、横棧3本とありますが、姿図では1本です。姿図通り1本と想定いたしますが宜しいですか。 | 3本でお見積もりください。 |
| 319 | A-174 | 屋上目隠し壁押出成形セメント板受け鉄骨の割付について | 部分詳細図(9)D9-10PH階目隠し壁詳細において、PL-9曲げ加工L-250×90 L=180の指示がありますが、配置が不明です。目隠し壁本体鉄骨柱毎に必要と想定いたしますが宜しいですか。 | @600としてください。 |
| 320 | A-174 | 樋受け石の仕様について | 部分詳細図(9)D9-20樋受け石において、溶接金網3.6φ@50×50とありますが、溶接金網に3.6φ@50×50の規格がありません。3.2φ@50×50に読替えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 321 | A-174 | 屋上手摺 塗装について | 部分詳細図(9)D9-4a 屋上手摺の塗装はスーパースト処理 フッ素樹脂エナメル塗装と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 322 | A-174 | 目隠し壁 押出成形セメント板 取付金物について | 部分詳細図(9)D9-10 PH目隠し壁 押出成形セメント板取付金物のブラケット材 PL-9加工 L-250×90は@600と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 323 | A-174 D9-10 | 目隠し壁 取付金物について | 目隠し壁 取付金物について、PL-9.0曲加工のピッチは@3000と考えてよろしいですか。 | @1800としてください。 |
| 324 | A-174 D9-7 特記仕様書35/61 | タラップの仕様について | タラップの仕様について、 特記仕様書35/61:ステンレス製 A-174 D9-7図:スチール 溶融亜鉛メッキ 2-UE と有りますがA-174 D9-7図を正と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 325 | A-175-031 | 外壁押出成形セメント板 取付金物について | 部分詳細図(10)D10-9で1通 RFLスラブ部分の記入ですが、5・6階 外壁スラブ下(庇下)にも適用と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 326 | A-175-034 | 外壁押出成形セメント板 取付金物について | 部分詳細図(10)D10-2で鉄骨梁型上下部の持出し材 L-50×50×6がL=100の記入ですが、矩計図及び構造伏図では柱芯=梁芯のためL=400程度と思われます。持出し部材はL-50×50×6のままで、L=400 @600に読み替えの解釈で宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。標準図のため、持ち出し寸法により調整ください。 |
| 327 | A-175-036 | 外壁押出成形セメント板 取付金物について | 部分詳細図 D10-14で押出成形セメント板の取付金物がスラブ直付の記入ですが、矩計図より D10-2の梁型より持出し材で取付と解釈して宜しいでしょうか。D10-14の取付も採用する場合、該当場所を御指示下さい。 | 鉄骨がない部分の標準納まりを図示しています。 鉄骨梁がある部分についてはD10-2を参照してください。 |
| 328 | A-176 | 光庭の通気管について | 部分詳細図(11)D11-4>5F光庭(W)詳細図の通気管100φ 2か所について、通気管の仕様・寸法・設置位置を御指示下さい。 又、光庭(E・W)に各1か所の合計2か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 通気管仕様:防水継手(ダイドレWPJ-WM同等)、アルミ製ベントキャップ(BC-A)、管材SGP100φ 高さ防水継手H408 光庭(N)⑦通り沿い、光庭(E)M通り沿い、光庭(W)I通り沿い、各2箇所設置してください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------------|---|--|
| 329 | A-176 | 5階光庭(W)通気管100φの詳細について | 部分詳細図(11)D11-4 5F光庭(W)詳細図において、右下に通気管100φ2か所とありますが、図示が無く、設置箇所・仕様・納まり詳細が不明です。御指示下さい。 | 通気管仕様:防水継手(ダイドレWPJ-WM同等)、アルミ製ベントキャップ(BC-A)、管材SGP100φ 高さ防水継手H408 光庭(N)⑦通り沿い、光庭(E)M通り沿い、光庭(W)I通り沿い、各2箇所設置してください。 |
| 330 | A-177 | ACW-1部の電動ロールスクリーンのW寸法について | ACW-1部の電動ロールスクリーンのW寸法について、参考数量書に倣いW1300:1か所 W2000:9か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 331 | A-178 A-206 | F-68 吊戸棚の合計数量について | F-68 吊戸棚の合計数量について、1階家具キープランでは4ヶ所ですが、家具図(22)では計2ヶ所と相違します。F-68 吊戸棚の合計数量は1階家具キープランを正とし、4ヶ所と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 332 | A-179 A-205 | F-65 窓下収納・Fixユニットの合計数量について | F-65 窓下収納・Fixユニットの合計数量について、2階家具キープランでは4ヶ所ですが、家具図(21)では2ヶ所と相違します。F-65 窓下収納・Fixユニットの合計数量は2階家具キープランを正とし、4ヶ所と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 333 | A-180 A-189 | F-14 吊戸棚の合計数量について | F-14 吊戸棚の合計数量について、3階家具キープランでは5ヶ所ですが、家具図(5)では計2ヶ所と相違します。F-14 吊戸棚の合計数量は3階家具キープランを正とし、5ヶ所と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 334 | A-206 | F-73 収納戸棚・ゴミ箱収納のゴミ箱(家具工事外)について | 家具図(22) F-73 収納戸棚・ゴミ箱収納のゴミ箱(家具工事外)について、ゴミ箱は別途工事と考えて宜しいでしょうか。 又、建築工事の場合は仕様を御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 335 | A-211 | 免震EXP. J金物部手摺の仕様・高さについて | EXP. J詳細図(2)において、TE1・TE2免震EXP. J手摺の指示がありますが、仕様・高さが不明です。SUS304 2B H1, 100を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。但しVE仕上げとします。 |
| 336 | A-211 | 手摺床EXP・J(スライト)TE1・2について | 手摺床EXP・J(スライト)TE1・2について、H寸法はH1100と考えてよろしいですか。 又、仕様・メーカー程度をご指示下さい。 | お見込みの通りです。アルミ製、株式会社UACJ同等としてください。 |
| 337 | A-211 | EXP・J F1～F4について | EXP・J F1～F4について、EXP・J蓋部、EXP・P金物下スラブ間はモルタル充填と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 338 | A-211 | EXP・J 手摺について | EXP・J 詳細図 TE-1・TE-2 手摺はアルミ製と解釈して宜しいでしょうか。 又、笠木・下枠の部材寸法及び手摺高さを御指示下さい。 | FBとしてください。 A174図 D9-4bと同様としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------------|--|--|
| 339 | A-211 | 手摺EXP. Jについて | 手摺EXP. JTE1. TE2の詳細が不明です。御指示ください。 | FBとしてください。 A174図 D9-4bと同様としてください。 |
| 340 | A-213 A-41 | EXP・J部 RC屋根の形状について | EXP・J部 RC屋根の形状について、A-213図とA-41図で異なります。A-213図の納まりを正と考えてよろしいですか。又、仕上はウレタン・ゴムアス複合防水と考えてよろしいですか。 | A-41図を正とします。 |
| 341 | A-215 | 煙突支持鉄骨の材厚について | 煙突詳細図に於いて、RFLに「ガセットプレート(鉄骨工事)」の指示がありますが、ウェブ・フランジの板厚がそれぞれ不明です。御指示下さい。 | ウェブ・フランジともt12としてください。 |
| 342 | A-216 | 3F部長個室パーティションについて | 3F部長個室パーティションについて、下記を御指示下さい。 ①V建具全てでスチール焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。 ②ガラスフィルムについて、飛散防止フィルムはガラス全面・タペシートはH1300のみと考えて宜しいでしょうか。 ③タペシートC-16とありますが、中川ケミカル:フオグラスC-16と考えて宜しいでしょうか。 | ①お見込みの通りです。 ②お見込みの通りです。 ③お見込みの通りです。 |
| 343 | A-216 | 3階部長個室のパーティションについて | 3階部長個室のパーティションについて、詳細図にてガラス面に飛散防止フィルム貼とタペシートC-16貼の記載がありますが、飛散防止フィルム貼は全面、タペシートC-16貼は網掛け部分で考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | ガラスフィルムについて、飛散防止フィルムはガラス全面・タペシートはH1300のみとしてください。 |
| 344 | A-217 A-218 | カーテンウォールのFB方立について | カーテンウォールのFB方立について、建具詳細図(1)(2)でスチールFB方立の記載が御座います。仕上は額縁等に合わせ焼付塗装と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 345 | A-221 | 無菌個室出入隅の納まりについて | 無菌個室出入隅にはコーナーガードは必要でしょうか。又、コーナーガードは無菌病室ユニット工事でしょうか。御指示下さい。 | 必要です。コーナーガードは、無菌病室ユニット工事には入りません。 |
| 346 | A-221・028 | 無菌個室の壁下地について | 無菌個室ユニット詳細図内の内装仕上表では石膏ボード厚12.5、平面詳細図壁凡例では石膏ボード厚12.5+12.5と相違します。平面詳細図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 347 | A-221・222 | 無菌個室内部フランクプレートの工事区分について | 無菌個室ユニット詳細図の仕様書及び展開図にLAN用フランクプレートと記入がありますが、工事区分が不明です。無菌病室ユニット工事と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | LAN用フランクプレートは無菌病室ユニット工事です。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------|--|--|
| 348 | A-221・222 | 無菌個室照明器具の工事区分について | 無菌個室ユニット詳細内の工事区分表で無菌個室内の照明器具(ダウンライト)は無菌病室ユニット工事と記入がありますが、展開図のベツドライトも無菌病室ユニット工事と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | ベツドライトは無菌病室ユニット工事です。 |
| 349 | A-222 | 無菌個室内壁点検口について | 無菌個室ユニット詳細図の展開図で壁点検口の図示がありますが、無菌病室ユニット工事でしょうか。又。仕様が不明です。併せて御指示下さい。 | 点検口は無菌病室ユニット工事です。仕様はメラミン樹脂焼付鋼板、ビス止めです。意匠別紙26を参照ください。 |
| 350 | A-226 A-151 | STD-413の仕様について | STD-413の建具性能の相違があります。 ・手術室仕様書 — エアタイト ・4階建具表(1) — 指示なし エアタイトを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 351 | A-226 A-151 | STD-413の仕様について | STD-413のエンジン装置の開閉方式の相違があります。 ・手術室仕様書 — 非接触式 ・4階建具表(1) — フットスイッチ 非接触式を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 352 | A-226 A-227 | 手術室壁パネルの相違 | 手術室壁パネル仕様に相違があります。 ・手術室仕様書 — 壁パネル(アルミメッキホーロー鋼板+フェノールフォーム保温板+ガルバリウム鋼板)・(アルミメッキホーロー鋼板+ペーパーハニカムコア+ガルバリウム鋼板) ・手術室詳細図パッケージエアコン納まり図(横断面) — 抗菌メラミン不燃化粧板+石膏ボードT12.5 手術室仕様書を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 353 | A-227 | 手術室天井パネルについて | 手術室詳細図の手術室基本縦断面図アルコーブ以外外壁部において、天井パネル(編射用・一般用)の指示がありますが、輻射用と一般用の使い分けが不明です。御指示下さい。 | 仕様はA-226図を参照ください。壁面の範囲はM-905~907に準じてください。天井については各手術室の面積の3割程度としてください。 |
| 354 | A-229・226 | 手術室内の装置の数量について | 4階OP室の手接近光線ユニットのか所数が、平面図ではHS1 4か所、HS2 2か所、共通仕様書ではHS1・2ともに3か所ずつと相違します。平面図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 355 | A-248 | 壁凡例D-3について、 | A-248図 D-3の壁下地GBt(建築工事)については、GB-Ht9.5と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 356 | A-248 A-009 | 放射線防護の有無の相違 | 1階操作ホール・受付の放射線防護の有無に相違があります。 ・放射線防護・シールド詳細図(1) — 無し ・仕上表(2) — 有り(壁仕上鉛当量2.0mmの指示) 無しを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------|--|--|
| 357 | A-248～275 | 医療機器について | 各医療機器図に電気設備工事 給排水衛生設備工事 空気調和設備工事の記載がありますがすべて設備図に反映されていると考えてよろしいですか。異なる場合は各詳細図の配布をお願い致します。 | 本工事に含むものは、原則として反映されています。医療機器図は参考図ではありません。該当する工事は全て本工事に含まれます。 |
| 358 | A-248～275 | 医療機器について | 各医療機器図に建築と記載がある工事は本工事と思われませんが各医療機器毎に詳細・範囲をご指示下さい。 | 医療機器詳細図は、添付の医療機器について本工事側でどのような対応をするかを記載した図面です。各医療機器ごとに本工事での対応内容と詳細が記載されています。 |
| 359 | A-249 | 鉛ボードについて | 1F SPECT 鉛ボードについて、A-249 D-10図に耐火壁・RI区画天井室マデとありますが、天井まででよろしいのですか。ご指示下さい。 | スラブまでとしてください。 |
| 360 | A-249 A-008 | 放射線防護の有無の相違 | 1階の機械室(4)の放射線防護の有無に相違があります。 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — 有り(鉛T2. 0・3. 0) ・仕上表(1) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 361 | A-249 A-010 | 放射線防護の有無の相違 | 1階汚物検査室の放射線防護の有無に相違があります。 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — 有り(鉛T3. 0) ・仕上表(3) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 362 | A-249 A-010 | 放射線防護の有無の相違 | 1階処置コーナーの放射線防護の有無に相違があります。 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — 有り(鉛T2. 0) ・仕上表(3) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 363 | A-249 A-010 | 放射線防護の有無の相違 | 1階更衣室10の放射線防護の有無に相違があります。 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — 有り(鉛T3. 0) ・仕上表(3) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 364 | A-249 A-010 | 放射線防護の有無の相違 | 1階保管室の放射線防護の有無に相違があります。 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — 有り(鉛T2. 0) ・仕上表(2) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 365 | A-249 A-010 | 放射線防護の有無の相違 | 1階の準備室の放射線防護の有無に相違があります。 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — 有り(鉛T2. 0) ・仕上表(3) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------------------|---|---|
| 366 | A-249 A-010 | 放射線防護の有無の相違 | 1階の廃棄室の放射線防護の有無に相違があります。 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — 有り(鉛T2. 0・3. 0) ・仕上表(3) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 367 | A-277 A-278 | 駐輪場のサインについて | 外構サイン詳細図(1)において、O-7:駐輪場サインが「壁付1か所」となっていますが、外構サインプロット図では、駐輪場南側に(●印)があり、壁付ではありません。駐輪場サインの下記について御指示下さい。 ①壁付の場合は、壁付位置 ②(●印)位置の場合は、サイン本体の仕様・詳細、サイン基礎の断面詳細 | ①壁付ではありません。駐輪場屋根の柱に固定してください。 ②●印の位置ではありません。 |
| 368 | A-278 G-071 | サイン基礎について | 外構サインO-6について、サイン基礎A～Eの何れに当たるか御指示下さい。(O-6のみ土被りHが250のため) | サイン基礎Dとしてください。 |
| 369 | A-288～290 | サイン工事の地下補強ベニヤ板貼について | サイン詳細図(1)～(3) 下記サインに※下地補強ベニヤ板貼(建築工事)とありますが、厚み・寸法を御指示下さい。 ①IS-9 総合案内サイン ②IS-13 受付カウンターサイン ③IS-16 エリア入口サインA ④IS-17 エリア入口サインB ⑤IS-21 診察室サイン ⑥IS-22 検査室サイン ⑦IS-26 室名サインB ⑧IS-28 ピクトサインA | t12 W、HはサインのH寸法とします。但し、W450未満はW450とします。 |
| 370 | A-298 | NO.7号機の輸送制限について | 移動X線機器の輸送制限について(NO,1,4,～10)X線積み込み質量は500kg以下と記載ございますが、メーカーによっては最大積み込み質量は積載質量×1/2となります。そのため、NO,7号機のみ375kg対応と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 371 | A-310 | エレベーター中間梁のアンカー仕様について | No.9、10エレベーター詳細図(2)に於いて、No.10の中間ビーム([-150×75×9)がRC壁と取合いますが、アンカーボルト・ベースプレート仕様不明です。御指示下さい。 | 無収縮モルタルt30, BPL-19x300x300 A.Bolt4-M20(SS400)L=500 ダブルナット としてください。 |
| 372 | A-311 | 小荷物専用昇降機支持柱の部材メンバーについて | No.11小荷物専用昇降機詳細図(1)に於いて、支持柱の部材メンバーが不明です。H-100×100×6×8と想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 373 | A-311 | 小荷物専用昇降機の開口補強について | No.11小荷物専用昇降機詳細図(1)において、出し入れ口周囲に「開口補強」とありますが、部材メンバーが不明です。部材メンバーを御指示下さい。 | L65×65×6としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------|---|------------------------------|
| 374 | A-311 S-26 | 小荷物専用昇降機支持柱受けの梁について | 1階床伏図に於いて、11/M通り付近にNo.11小荷物専用昇降機の支持柱を受ける梁の指示がなく、支持柱の固定方法が不明です。受け梁が必要な場合は、部材メンバー及び配置を御指示下さい。 | SB40Aを追加としてください。 |
| 375 | A-313 | エスカレーター補強鉄骨の材厚について | No.12、13エスカレーター詳細図(2)に於いて、「床受材」「ライナー」「吊りフック」の指示がありますが、それぞれの板厚が不明です。御指示下さい。 | 全てt16としてください。 |
| 376 | A-320 | ヘリポート部脱落防止床のファインフロアについて | ヘリポート平面詳細図において、脱落防止床材がファインフロアとありますが、ノンスリップ型と想定いたしますがよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 377 | A-322 | ヘリポート周囲鋼製階段の仕様について | ヘリポート部分詳細図(2)において、小階段とヘリポートアルミ間の渡り板の仕様が不明です。チェッカープレートCPL-4、5を想定いたしますが宜しいですか。 | 図示の通りです。 |
| 378 | A-323 | ヘリポート部ブリッジのEXP. J金物について | ヘリポート連携ブリッジ詳細図において、手摺の部材メンバーに笠木:42.7φ×3.5とありますが、42.7φ×3.5は規格にありません。42.7φ×3.2に読替えいたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 379 | A-323 | ヘリポート部ブリッジのEXP. J金物について | ヘリポート連携ブリッジ詳細図 <EXP. J詳細図(G通側)>において、EXP. J金物の受け鉄骨が、C-200×100とありますが、納まり上、C-200×100にはなりません。C-100×50×20×3.2に読替えていただきますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 380 | A-323 | ヘリポート部ブリッジの縦樋について | ヘリポート連携ブリッジ詳細図 <EXP. J詳細図(G通側)>において、タテ樋:50φSUSの指示がありますが、か所数・排水計画が不明です。1か所で屋上へ放流+樋受けと想定いたしますが宜しいですか。 | 縦樋は1本で屋上ドレインに地階側に設置放流してください。 |
| 381 | A-325 | B1Fメンテナンススペースのライニング壁について | B1Fメンテナンススペースのライニング壁について、浄化槽棟 地下1階平面図に図示がありますが、下記を御指示下さい。 ①ライニング壁の下地・仕上 ②ライニング甲板の仕様・寸法  | A-170図 D5-4と同様としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------------------------|--|--|
| 382 | A-325 | 立上り壁の仕上について | 立上り壁の仕上について、浄化槽棟各階平面図の地下1階X1-3/Y1-2通りに記載がありますが、仕上が不明です。 下記のように考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■天端 コンクリート金罫 ■立上り 打放補修 | お見込みの通りです。 |
| 383 | A-325 A-326 | 開口三方枠について | 1F車庫 出入口部分に、アルミ t2.0の三方枠を見込んでよろしいですか。 | 不要です。コンクリート打ち放し補修の上、アクリルシリコン塗装としてください。 |
| 384 | A-325 A-332 | 各所設備基礎の寸法について | 各所設備基礎の寸法について、各階平面図と設備基礎伏図とで寸法が相違している場合は設備基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | A-332図を正としてください。 |
| 385 | A-325 A-332 | ライニングについて | ライニングについて、下記の項目毎にご指示下さい。 ①B1Fメンテナンススペース(X3-4・Y5-6通り)のライニングについて A-325図 図示無し A-332図 図示有り とありますがA-325図を正と考えてよろしいですか。 ②B1Fメンテナンススペース(X1-3・Y1-2通り)のライニングについて、仕上・下地等は下記の様に考えてよろしいですか。 ・面台下地:モルタル金罫 ・ライニング壁下地:モルタル金罫 ・ライニング下地:CB t120 ・ライニングの高さ:H900 | ①A-332を正としてください。 ②お見込みの通りです。 |
| 386 | A-325 S-207 | A重油地下タンク置場のスラブ天端(屋根部)・外壁について | A重油地下タンク置場のスラブ天端(屋根部)・外壁について、外防水が必要な場合は、仕様・詳細を御指示下さい。 | 外壁はY-1としてください。内側は防水モルタルt30としてください。 |
| 387 | A-325、G-002・035 | 新設浄化槽廻りのL型擁壁について | 新設浄化槽廻りのL型擁壁はA-325では現場打ちとありますが、G-002・035では2次製品の表記となっています。外構図を正として宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 388 | A-326 | 折板底の排水について | 浄化槽棟 屋根伏図において、折板底部に落し口の図示がありません。1か所とし、X5通りY1通りのRC屋根からの堅樋に接続と想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 389 | A-328 S-207 | 荷揚スペースの床・壁リストについて | 浄化槽棟矩計図に於いて、Y1+5, 525通りの1階車庫に荷揚スペースの図示がありますが、構造図に指示が無く、配筋要領が不明です。御指示下さい。 | スラブt150, 配筋はJS15と同様とします。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------|--|---------------------------|
| 390 | A-328 | 荷揚スペースの型枠材について | 上記に続きますが、荷揚スペースのスラブ下がデットスペースとなり、型枠の取り外しが困難と思われます。埋殺し型枠、又はスタイロ打込み等が必要な場合は、仕様を御指示下さい。 | ポリスチレンフォームt35を打ち込んでください。 |
| 391 | A-328 | タイトフレーム受け鉄骨の固定について | 浄化槽棟矩計図に於いて、二重折板ければ納りより、パラペット天端にタイトフレーム受け鉄骨の指示がありますが、固定方法が不明です。アンカーボルトが必要な場合、径・本数・割付を御指示下さい。 | M12 @450としてください。 |
| 392 | A-328 | 水槽内増打部について | 水槽内に記載の増打部において斜面に蓋型枠を見込んでよろしいですか。 | 必要に応じて見込んでください。 |
| 393 | A-328 | 床ハッチ部分について | B1Fメンテナンススペース(X1-3・Y1-2通り)の床ハッチ(設備工事)の外廻りの立上りH500・天端W100部分の仕上は防塵塗装と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 394 | A-328 | 浄化槽棟の雑詳細について | 浄化槽棟1F車庫の荷揚スペースについて下記詳細と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *壁 W150 D10@200ダブル 補強筋2-D13 *スラブ 同上 *スラブ下充填材 スタイロフォームT350 | お見込みの通りです。 |
| 395 | A-328 A-328 A-008 | 折板底谷樋の仕様について | 折板底谷樋の仕様に相違があります。 ・浄化槽棟 矩計図 — 高耐候性塩ビシート複層板T1.6 ・浄化槽棟 矩計図<C部拡大図> — 高耐候性塩ビシート複層板T1.6 +アスファルトルーフィング940 +硬質木毛セメント板T18 ・外装・外構仕上表 — 耐酸被覆鋼板 高耐候性塩ビシート複層板T1.6を正と考えて宜しいですか。 | 浄化槽棟 矩計図<C部拡大図>を正としてください。 |
| 396 | A-328 A-326 | 折板底軒先の仕様について | 折板底軒先の仕様に相違があります。 ・浄化槽棟 矩計図<D部拡大図> — 軒先化粧フレーム ・浄化槽棟 屋根伏図・立面図 南立面図 — 鼻隠し:カラーガルバリウム鋼板 軒先化粧フレームを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------|---|--|
| 397 | A-329 | 壁開口について | B1Fメンテナンススペース他について、壁開口がありますが縁金物が必要であれば仕様・形状寸法をご指示下さい。又、スラブ小口部分の補修は不要と考えてよろしいですか。 (地下槽共) | お見込みの通りです。 |
| 398 | A-331 | SS01のシャッターボックスについて | SS01のシャッターボックスについて、露出タイプとしスラット同様に焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 399 | A-331 | LSD建具の仕上げについて | LSD建具の仕上げについて、建具表に記載がありません。LD建具同様に枠SOP・扉焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 400 | A-331 | LSD-01. 02の仕上について | 浄化槽棟、LSD-01. 02の仕上が建具表にて不明です。LD-01の仕上に倣い、枠:SOP/扉:焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 401 | A-332 | 床開口について | B1Fメンテナンススペース他について、床開口がありますが縁金物が必要であれば仕様・形状寸法をご指示下さい。又、スラブ小口部分の補修は不要と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 402 | | 仮設渡り廊下について | 仮設渡り廊下、外壁ALC版目地シーリングの仕様が不明です。ポリウレタン系と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。ノンブリスタイプとします。 |
| 403 | | 仮設渡り廊下について | 参考数量書、下記数量の記載が有りますが、施工範囲が不明です。範囲、詳細を御指示下さい。 *シーリング:一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10:127m *軽量鉄骨壁下地:65形 下地張りなし @300:9㎡ (本館):3.7㎡ *SOP塗り:鉄骨面 工程B種 塗料1種:35㎡ *壁ビニルクロスに張り:不燃 防かび・抗菌・汚れ防止サイクル消臭医療施設用ボード面:8.8㎡ *壁せつこうボード張り(GB-R):厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理:9㎡ *現場発砲硬質ウレタンフォーム吹付け:54.3㎡ | <ul style="list-style-type: none"> ・数量算出書P4595で水切、ケラバ、EXP.j金物、見切縁のシーリングで127m計上しています。 ・本館3.7㎡を取り止めとし、9㎡とします。 ・SOP塗装をポリウレタン樹脂塗装と読み替えてください。 ・壁ビニルクロスに張り:既存本館側の改修壁です。 ・壁せつこうボード張り(GB-R):厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 既存本館側の改修壁です。 ・渡り廊下断面図より屋根裏です。 |
| 404 | - | 各項目のメーカー品番について | 下記項目のメーカー品番を御指示下さい。 ・ウレタン系塗膜防水(免震ヒット床・排水溝) ・ウレタン系塗膜防水(5F光庭下部ヒット) ・階段ノズリップ(ステンレス) ・人工木(間接照明 病室コンソール) ・人工木(間接照明 L-5) | 特にメーカー指定はございません。現場にて監督員の了承を得て施工してください。 |
| 405 | R-001 | 塗装の仕様について | 改修後仕上表において、1階薬剤室他壁仕上に塗装と指示のある部屋がありますが、仕様が不明です。EP-siと想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-----------------------|--|--|
| 406 | R-001 | 仕上凡例記号について | 仕上凡例記号について、改修前仕上表に下記の略称がありますが、凡例表に記載が無く項目が不明です。御指示下さい。 ■壁仕上:MP ■壁下地:m | MP:多彩模様塗 m:モルタル塗り下地です。 |
| 407 | R-001 | 既存FL-150の範囲の改修について | 既存FL-150の範囲の改修について、改修前仕上表で1階医事、操作は床仕上レベル-150となっておりますが、改修後仕上表では±0となっております。シタ-コンクリート厚150を見込むと考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 408 | R-001 | 改修前1階X線、CTのX線シールドについて | 改修前1階X線、CTのX線シールドについて、改修前仕上表に記載がありますが、撤去の内容が不明です。詳細を御指示下さい。 | 放射線防護の既存図がありません。A-248 放射線防護・シールド詳細図(1)同等としてください。 |
| 409 | R-001 R-008 | 1階操作室の天井高さについて | 1階操作室の天井高さについて、仕上表では3000ですが、天井伏せ図では2700と相違しております。仕上表を正とし、3000と考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。H3,000としてください。 |
| 410 | R-001 R-008 | 1階汚リネン、清リネンの天井高さについて | 1階汚リネン、清リネンの天井高さについて、仕上表では3000ですが、天井伏せ図では2700と相違しております。仕上表を正とし、3000と考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。H3,000としてください。 |
| 411 | R-001 R-008 R-011 | 1階機械室の天井について | 1階機械室の天井について、仕上表・展開図においてはグラスウール 下地k=軽量鉄骨下地となっておりますが、天井伏せ図では直天と相違します。天井伏せ図を正とし、直天と考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。 | 仕上表を正としてください。 |
| 412 | R-001 R-011 | 1階機械室の中木について | 1階機械室の中木について、仕上表、展開図より凡例T=床材=防塵塗装 立上げH=100となっております。防塵立上下にはコンクリート立上りが必要な物と考えられますが、新設されるものとし、W150×H100と考えるとよろしいでしょうか。 又、上記質疑が正の場合、コンクリート立上りのコンクリート強度、必要な鉄筋要領等の詳細を併せて御指示下さい。 | コンクリートの立上げは不要とします。防波堤、左側及び右側共にビニル床シート立上げH300としてください。 |
| 413 | R-001・002 | 内装材料の仕様について | 改修後仕上表において、下記の項目の同等メーカー・品番を御指示下さい。 ①問診室6他壁 — クロス ②受付4天井 — 化粧石膏吸音ボード(リブ) | A-007材料表参照ください。メーカー・品番の指定の無いものは、現場にて監督員の手承を得て施工してください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-----------------|--|------------------------------|
| 414 | R-002 | ビニール床シートの仕様について | 改修後仕上表において、2階廊下1・EVホール4・EVホール2・脱衣室のビニール床シートに記号がありませんが、材料表のビニール床シート:単層t2.0(マーブル)と想定いたしますが宜しいですか。 | A-007材料表 ビニール床シート(F)としてください。 |
| 415 | R-002 | 改修前の腰壁高さについて | 改修前の腰壁高さについて、仕上表で腰:縁甲板貼の記載がありますが、高さが不明です。特記無き限りH=1000と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 416 | R-002 R-009 | 2階前室の天井仕上について | 2階前室の天井仕上について、仕上表と天井伏せ図とで下記のように相違しています。仕上表を正とし、岩綿吸音板と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■仕上表:岩音吸音板 ■天井伏図:ビニルクロス | お見込みの通りです。 |
| 417 | R-002 R-011 | 2階廊下3の壁仕上について | 2階廊下3の壁仕上について、仕上表と展開図とで下記のように相違しています。仕上表を正とし、石こうボード+塗装(EP-Si)+腰壁不燃メラミン化粧板と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■仕上表: 石こうボード+塗装(EP-Si)+不燃メラミン化粧板 ■詳細図:石こうボード+クロス | お見込みの通りです。 |
| 418 | R-002 R-012 | 2階廊下3の腰壁について | 2階廊下3の腰壁について、上記質疑が正の場合、不燃メラミン化粧板はH=1000の範囲を見込むと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 419 | R-002 R-012 | 2階感染個室の壁仕上について | 2階感染個室の壁仕上について、仕上表と2階感染病床詳細図とで下記のように相違しています。仕上表を正とし、岩綿吸音板と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■仕上表:石こうボード+塗装(EP-Si) ■詳細図:石こうボード+クロス | 仕上表を正としてください。 |
| 420 | R-002 R-012 | 2階感染個室の腰壁について | 2階感染個室の壁仕上について、2階感染病床詳細図で不燃メラミン化粧板の記載がありますが、展開図では表記がありません。必要と考えてH=1000の範囲を見込むと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-----------------|--|-----------------------------|
| 421 | R-002・007 | 講堂の改修について | 撤去改修仕上表-2において、2階講堂が既存のままの色分けですが天井仕上が改修前と改修後で変わっています。平面詳細図-2では工事範囲外の為、今回範囲外と想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 422 | R-002・007 | 便所改修について | 撤去改修仕上表-2において、2階MWC・WWC・HWCが既存のままの色分けですが壁仕上・天井仕上が改修前と改修後で変わっています。平面詳細図-2では工事範囲外の為、今回範囲外と想定いたしますが宜しいですか。 | 天井の解体復旧(軽鉄下地含む)を見込んでください。 |
| 423 | R-003 R-006 R-007 | 天井点検口について | 天井点検口について、平面詳細図の□内にMの凡例、平面図の□内に×の凡例を天井点検口と考えてよろしいでしょうか。 質疑が正の場合、1階の員数が平面図と平面詳細図で下記のように相違しています。平面詳細図を正とし、11か所と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■平面図:10箇所 ■平面詳細図:11箇所 | 平面詳細図を正とし、11か所としてください。 |
| 424 | R-006 | 1階機械室の防波堤について | 1階機械室の防波堤について、平面詳細図-1に記載がありますが、天端、立上りの仕上は床同様防塵塗装と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 425 | R-006 R-007 | 既存救急センターの断熱について | 既存救急センターの断熱について、外壁新設の範囲のみ断熱を新設する考え、仕様は硬質発泡ウレタンフォーム厚35としてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 426 | R-006 R-007 | 天井伏せ図の雑物について | 天井伏せ図の雑物について、凡例の記載がありますが、プラン上に暗幕ボックス、ガートルフックの記載が無く範囲が不明です。該当無しと考えてよろしいでしょうか。必要な場合は範囲、仕様を御指示下さい。 | 該当無しとしてください。 |
| 427 | R-006 R-007 | 改修前のライング高さについて | 改修前のライング高さについて、平面詳細図で下記範囲にライングの表記がありますが、高さが不明です。特記無き限りH=900と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■手洗い ■流し台 ■汚物流し ■WC洗面カウンター ■大便器 ■小便器 ■SK | A-170 部分詳細図(5) D5-4としてください。 |
| 428 | R-006 R-008 | SSD-3の形式について | 1階改修後SSD-3の形式の相違があります。 ・平面詳細図-1 — 2枚片引きドア ・建具表-1 — 引分けドア 2枚片引きドアを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------|---|--|
| 429 | R-007 | 2階廊下の建具について | 2階平面詳細図(改修後)において、X2～3通りY3～4通り廊下に新設両開き(LD1800)の指示ですが、建具符号・建具表がありません。建具表の発行をお願い致します。 | LSD-5としてください。 |
| 430 | R-007 | カートリダーについて | カートリダーについて、改修後2階平面詳細図に記載がありますが、設備工事と考えてよろしいでしょうか。本工事の場合は詳細を御指示下さい。 | 一括発注のため、設備工事も本工事です。建築工事としてはA-170 部分詳細図(5) D5-21を見込んでください。 |
| 431 | R-007 A-021 | 西面キャノピーの撤去・改修について | 平面詳細図-2 2階平面詳細図(撤去図)において、西面キャノピーX1通りY5通りより北西部分の範囲(既存キャノピー撤去網掛け部分右下部・「アキ」下部分)が白抜きとなっていますが、2階平面図 既存救急センター改修後図より、庇1が延長される為、Y5通りより北側は撤去が必要となります。撤去・改修図が御座いませんので、下記のわかる改修図の発行をお願い致します。 ①撤去範囲 ②撤去後の西面キャノピー残置部分の幕板小口塞ぎの仕様・詳細 ③同上小口塞ぎの下地(軽鉄下地?鉄骨?)の仕様・詳細 ④西面キャノピー屋根(サンドイッチパネルT28の上シート露出防水)の補修方法 | ①意匠別紙27を参照ください。 ②既存復旧としてください。(既存庇(A)改修断面詳細図) ③10月23日(月)の質疑回答にて別紙資料として構造図添付しています。添付の構造図が全てです。 ④シート露出防水を撤去部分から1mの範囲に増し張りを行ってください。 |
| 432 | R-7～9 | 吊戸棚について | 天井伏図について流し台上部に吊戸棚が見受けられますが、展開図に図示が無い為、不要と考えてよろしいですか。 | 家具図を確認してください。家具図に無き吊戸棚は不要です。 |
| 433 | R-008 | SSD-1・2の納まりについて | 建具表-1において、1階改修後SSD-1・2がアルミ建具の指示のため、枠見込みを70とし、外部はスチール額縁納まりを想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 434 | R-008 | V型吊金物吊カーテンレールについて | V型吊金物吊カーテンレールについて、天井伏せ図に記載がありますが、形状・仕様が不明です。御指示下さい。 | 全て直付けカーテンレールとしてください。 |
| 435 | R-008 R-001 | 既存操作室の天井高相違 | 1階既存操作室の天井高に相違があります。 ・撤去改修天井伏せ図 — CH=3,000 ・撤去 改修 仕上表-1 — CH=2,700 CH=3,000を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 436 | R-008 R-001 | 風除室5の天井仕上相違 | 1階改修後、風除室5の天井仕上に相違があります。 ・改修1階天井伏図 — C1:岩綿吸音板+GB ・改修後仕上表 — 石膏ボード 岩綿吸音板+GBを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------------|--|--|
| 437 | R-010 | 1階廊下6と受付4の取合について | 1階廊下6と受付4の取合について、壁・天井については仕上の切替が御座います。見切縁等が必要な場合は必要な部位と、その詳細を御指示ください。 | カウンター上部天井にA-172 D7-4 L-2 必要な部位:コーナールミ出隅ジョイナー、入隅ジョイナー設置仕様、詳細:本館棟に合わせてください。 |
| 438 | R-013 | 柱脚根巻の既存取合について | 渡り廊下断面に於いて、柱脚部にRC根巻の図示がありますが、既存との取合いが不明です。後施工アンカー筋が必要な場合、仕様を御指示下さい。 | S-305図によります。 根巻部はB×D=550×550 H=1FL+100までとし、配筋D13@200タテヨコとしてください。 |
| 439 | R-013 | 屋根の排水について | 感染症病棟渡り廊下詳細図(1)において、軒樋・落し口の指示がありません。図面通り、雨水は垂れ流しを想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 440 | R-013 | 屋根谷樋耐酸被覆鋼板の厚さについて | 感染症病棟渡り廊下詳細図(1) 谷部詳細図において、谷樋耐酸被覆鋼板の指示がありますが、厚さが不明です。TO. 8を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 441 | R-013 | 外壁ALC取付・補強金物の耐火被覆の件 | 感染症病棟渡り廊下詳細図(1)において、外壁ALC取付・開口補強金物の耐火被覆の有無が不明です。図面通り不要といたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 442 | R-013 | 渡り廊下の巾木、廻り縁について | 渡り廊下の巾木、廻り縁について、渡り廊下詳細図では記載が無く不明です。ビニル巾木H60、塩ビ製廻り縁を見込むと考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 443 | R-015 C-027 | 東館 南面庇の足元の外構 仮復旧 | 既存庇キャノピー撤去断面図において、既存庇(B)の撤去を、工事ステップ図(1)のSTPE②で作業を行います。STEP④で一時仮囲いの外側となるため、柱脚部の仮復旧が必要と思われます。復旧方法び時期を御指示下さい。 | 既存庇(B)の撤去部分は、STEP④において仮囲い内としてください。 |
| 444 | R-18 C-028 | 既存健診センター改修の風除室撤去後の外構仮復旧 | 既存健診センター改修工事において、風除室の改修を行います。既存病院解体工事期間中に風除室の使用はありますか。使用する場合は、風除室前外構整備が必要となるため、復旧方法を御指示下さい。 | 既存病院解体工事期間中に風除室の使用はありません。本設もしくは、仮設カラーアスファルト舗装としてください。 |
| 445 | G-003 | 単独調整池の南側スロープについて | 単独調整池の南側スロープについて、舗装仕上は、コンクリート舗装と考えて宜しいでしょうか。 | 真空コンクリートt150 滑り止めリング入りとしてください。 |
| 446 | G-003 | 舗装Gについて | 舗装Gの断面詳細が不明です。御指示下さい。 | 前回質疑1327参照ください。 |
| 447 | G-004 | ガードパイプについて | 縁石・囲障別図よりガードパイプの記載が御座いますが範囲が不明です。範囲を御指示下さい。 | G-004 オイルタンク車道側としてください。 |
| 448 | G-006 G-022 | 点字ブロックについて | ロータリー廻りの点字ブロックについて、標識等別図とロータリー回り詳細図(1)で範囲が相違しています。標識等別図が正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-----------------------|--|---|
| 449 | G-022 | 点字ブロックについて | 上記質疑でローター回り詳細図(1)が正の場合、左右両側の見切れている範囲・屋根で隠れている範囲の詳細を御指示下さい。 | G-006より点字ブロックの範囲及び仕様を確認ください。詳細図はG-070のD-33、D-34を参照ください。 |
| 450 | G-007 G-022 | 小口径桝について | 雨水排水平面図で、ローター回りに小口径桝×4か所の記入がありますが、集水桝までの排水管はローター回り詳細図(1)よりVPφ150と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 451 | G-008 | 側溝の仕様について | 桝A-14-2とC-1間の側溝(S1)について、流域Aの図では縦断用ですが、流域Cの図では横断用と記入があり相違しています。横断用を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 452 | G-008 | 側溝のサイズについて | 側溝のサイズが不明な箇所があります。下記の通り解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・桝C-6-1～C-6-01間 S1(L=33.50m)・・・300×300 ・桝C-7-03～C-7-04間 S1(L=6.80m)・・・300×300 | お見込みの通りです。 |
| 453 | G-008 G-069 | 排水管周りの砂埋戻しについて | 排水管φ400の場合の砂埋戻し範囲が不明です。御指示下さい。 | W=800,H=600としてください。 |
| 454 | G-010 | 10号擁壁-2の外構別紙について | 質疑回答No.1387に於いて、④10号擁壁-2は「外構別紙を参照ください」との回答ですが、外構別紙が見当たりません。10号擁壁-2の外構別紙の発行をお願い致します。 | 3号擁壁-3と同様としてください。 |
| 455 | G-016 G-026 | 1号擁壁-2について | 境界側水抜きパイプが調整池構造図ではφ300とありますが擁壁断面詳細図(2)ではφ200とあります。VU管φ300と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 456 | G-022 A-008 | 立てハゼ葺き裏打ち材の仕様について | エントランス庇(キャノピー ローター庇)立てハゼ葺き裏打ち材の仕様に相違があります。 ・ローター回り詳細図(1) — 発泡ポリスチレンT2.0 ・外装・外構仕上表 — 無機質高充プラスチックフォームT4.0 発泡ポリスチレンT2.0を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 457 | G-023 | 磁器質タイル(大型)模様張について | ローター廻り詳細図2、F部(目隠し壁)断面詳細図の、磁器質タイル(大型)模様張について、メーカー品番等ありましたら、御指示下さい。 | 磁器質タイル(大型)模様張りにつきまして、A-007 材料表のタイル(A)を参照ください。名古屋モザイクタイル:アルファフィルズ(岩面)同等品デザイン張りとしてください。 舗装の範囲は、G-003を正とします。G-023 F部は、カラーアスファルトとなります。 |
| 458 | G-028 G-033 | 4号擁壁-1、 4号擁壁-2について | 水抜き孔φ75の仕様はVPで、最下部穴あき管φ75はVP 2m当り1か所と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 459 | G-029 G-034 | 5号擁壁-1・2の階段について | 擁壁断面詳細図より5号擁壁-1・2に階段の記載が御座いますがスラブに溶接金網 φ6.0-150×150が必要と考えてよろしいでしょうか。また、段鼻にはノンスリップ金物等は不要と考えてよろしいでしょうか。併せて御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------|--|---|
| 460 | G-030,079 | 山留工事 | G-030の山留杭と、079にある地盤沈下対策の親杭は、其々別のものでしょうか。御指示下さい。 | C-030のCASE-2の山留とG-079は同じものを示しています。 |
| 461 | G-031 G-049 | 8号擁壁-2について | 擁壁断面詳細図(7)で底版巾が5400となっていますが、擁壁構造図(10)では3900となっています、W5400と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | 擁壁構造図(10)では3900を正としてください。 |
| 462 | G-038 | 4号見切壁について | h-h断面とj-j断面では、W700×H1000とありますが、i-i断面では、W550×H800となっています。4号見切壁は全てW700×H1000と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 | 歩道からの立上り高さ500以上=W700×H1000 500未満=W500×H800としてください。 |
| 463 | G-064 | 歩道改良No.2の乗入れ舗装について | No.2改良図の乗入れ舗装の相違があります。 ・歩道改良図(1):凡例模様 — アスファルト舗装B ・歩道改良図(1):引出し線 — アスファルト舗装A アスファルト舗装Bを正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 464 | G-064 | 歩道改良のL型側溝排水柵について | 歩道改良図(1)において、No.1・No.2改良図に「L型側溝排水柵新設」がありますが、下記の項目が不明です。御指示下さい。 ①柵の深さ ②蓋の仕様 | ①H450 ②蓋:コンクリート蓋としてください。 |
| 465 | G-065 | 歩道改良No.8鋼製蓋新設について | 歩道改良図2、No.8鋼製蓋新設について、鋼製蓋の仕様・詳細を御指示下さい。 | 既存を再利用してください。 |
| 466 | G-065 | 現場打水路(A)(B)の配筋について | 歩道改良図2(水路詳細図)、現場打水路(A)(B)の配筋について、D10@200・端部D13と考えて宜しいでしょうか。 | 無筋とします。 |
| 467 | G-065 | 歩道改良No.5の乗入れ舗装について | No.5改良図の乗入れ舗装の相違があります。 ・歩道改良図(2):凡例模様 — アスファルト舗装(市道) ・歩道改良図(2):引出し線 — アスファルト舗装A アスファルト舗装(市道)を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 468 | G-065 | 歩道改良No.8の鋼製蓋について | 歩道改良図(2)において、No.8現状・撤去図に「鋼製蓋撤去」が2か所ありますが、No.8改良図では「鋼製蓋新設」が1か所です。鋼製蓋新設は2か所を想定いたしますが宜しいですか。 | 鋼製蓋新設は1か所とします。ただし蓋は、既存再利用とします。 |
| 469 | G-068 | 250A型側溝の断面詳細について | 部分詳細図1(D-14)、250A型側溝の断面詳細について、均しコンクリートt100とありますが、碎石の図示がありません。均しコンクリートt100を碎石t100と読み替えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 470 | G-071 | ポラート基礎の配筋について | 部分詳細図4(D-42)、ポラート基礎の配筋について、D10@200・端部D13と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 471 | G-071 | 車止ポール基礎の配筋について | 部分詳細図4(D-43)、車止ポール基礎の配筋について、D10@200・端部D13と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 472 | G-071 | サイクルスッパ基礎の配筋について | 部分詳細図4(D-51)、サイクルスッパ基礎の配筋について、D10@200・端部D13と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 473 | G-071-50 | 雨水マンホールについて | 雨水マンホールのH寸法が不明です。御指示下さい。 | H=1920としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------------------|--|---|
| 474 | G-073 | 室外機置場移設の基礎について | 外構撤去図(3)(舗装、土留壁等)において、健診センター東側に「室外機置場移設」とありますが、移設先の新設設備基礎の断面詳細が不明です。設備基礎の詳細図の発行をお願い致します。 | 新設設備基礎の位置はM-800を参照ください。詳細は1,400×2,500×H500 2ヶ所 1,250×1,800×H500 2ヶ所としてください。 |
| 475 | G-078 | 新設浄化槽まわりのサンドドレーン工法 | サンドドレーン工法の目的は地盤沈下対策ですかそれとも液状化対策ですか。また、浄化槽まわりのみ施工の理由を御教授願います。具体的な数値目標があればお示しください。 | 地盤沈下対策としてサンドドレーン工法を採用しています。また、施工箇所を限定している理由は、新棟と浄化槽をつなぐ重要な埋設管を地盤変動によって破断等が発生しないように対策を講じているためです。目標沈下量は20cm程度としてください。 |
| 476 | G-079 | 仮設調整池の仕様 | 仮設止施工までは有りますが、仕様を指示願います。本設の調整池が後施工の理由は何か特別な理由からでしょうか。先行設置でも構わないでしょうか。 | 工事期間中は、工事エリアから病院敷地外に雨水が溢水しない対策を必要としますが、その形態は、独立した調整池である必要はなく、素掘りでも構いません。また、本設の調整池は、施工上支障がなければ先行設置でも構いません。 |
| 477 | G-079 | 電柱移設について | 敷地内の既存電柱は別途工事にて敷地外へ移設とのことですが、移設位置は、今回敷地側の道路の敷地側と敷地反対側のどちらでしょうか。全体の回答が難しければ新棟建設にかかわる範囲だけでも回答をお願いします。又、移設は本工事着手前と考えてよろしいでしょうか。 | 電柱の移設先及び移設時期については、電柱所有者と段階的に協議を行っていますが、電柱は本工事着手前に移設していただく予定です。また、電柱の移設先については、病院敷地外に移設していただく予定です。 |
| 478 | C-027 G-078 | 工事ステップ③のサービス仮設車路整備について | 工事ステップ図(1)において、STEP③の既存浄化槽解体に「サービス仮設車路整備」とありますが、整備内容が不明です。G-078図:仮設計画図(地盤沈下対策1)(参考図)の「盛土載荷工法+サンドドレーン工法+サンドマット工法」を想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。仮アスファルト舗装も見込んでください。 |
| 479 | C-027、A-325 | 浄化槽新設工事について | STEP②の浄化槽棟新設工事の工程計画におきまして、外構の液酸タンク置場・L形擁壁等も含まれますか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 480 | C-027、K-001～003 | STEP②インフラ切戻し工事について | 東館地中梁解体、南面庇解体・トレンチ改修工事におきまして、C-027、K-001、K-003図にて施工時期、施工範囲が異なっております。STEP②H30.11～H31.4の期間内にて、東館地中梁解体、南面庇解体・トレンチ改修を行い、共同溝は塞ぎ等の改修工事はSTEP②で行い、撤去はSTEP⑤の新棟建設後と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | STEP②H30.11～H31.4の期間内にて、東館地中梁解体、南面庇解体・トレンチ改修を行います。共同溝塞ぎの改修工事は新棟建設後のSTEP⑤で撤去と同時に行います。 |
| 481 | C-027～029 | 杭・山留工事の施工時期について | C-027図、工事ステップ図におきまして、STEP③(H30.11～H31.1)に新棟建設工事杭打ち先行とあり、STEP④(H31.1～H32.12)では新棟建設工事とあります。C-029図、STEP④-1(H31.1～H31.4)では、山留・地業工事とあります。工事の流れは、STEP③にて仮囲を行い、既存浄化槽棟の解体をH31.1迄に終え、杭・山留はH30.11～H31.4の期間を目安に施工するということで宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 設計時の仮設計画ではお見込みのとおりですが、最適と考える工事ステップを提案していただいても構いません。10月23日(月)の質疑11の回答のとおり、C-027図STEP②の仮囲範囲はSTEP③以後の範囲と同じとしてください。 |
| 482 | C-027～029 | 杭・山留工事について | 上記、期間内(H30.11～H31.4)におきまして、山留工事、杭工事の施工順序は施工者判断として宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------------------|---|--|
| 483 | C-027・028 G-073～075 | 工事ステップ③のサービス仮設車路整備について | 工事ステップ図(1)に於いて、STEP③の既存浄化槽解体に「サービス仮設車路整備」とありますが、一期外構解体工事後の舗装床仕上げ、その他必要と思われる工作物が不明です。STEP⑥外構整備(調整池工事含む)まで使用すると思われませんが、サービス仮設車路整備における詳細図の発行をお願い致します。 | 新設浄化槽周りの外構工事として、STEP③記載の仮設車路整備以外の白色部分の外構工事は全てSTEP③の時点では整備完了してください。 |
| 484 | C-028 | 敷地内の新設浄化槽周りの電線について | 新設浄化槽と既存病院の間に電線があります。平面及び断面の配置などをお示ください。それとも現状で、杭打ち・資材揚重などで、支障ないこととしてよろしいでしょうか。又、移設時期をお示ください。 | 新設浄化槽と既存病院間の電線は、現在使用しておりません。外構解体と共に撤去をお願いします。よって、杭打ち・資材揚重などでの支障はありません。 |
| 485 | C-028 | 開院準備期間について (2021年1月～3月) | 2021年1月～3月の開院準備期間の取扱いについては、実施工は不可、開院準備対応や、改修工事の調査期間と考えて宜しいでしょうか。協議調整の上で、改修・解体工事・外構工事等の着手は可能でしょうか。御指示下さい。 | お見込みのとおり、原則開院準備対応や改修工事の調査期間としてお考えください。改修・解体工事・外構工事等の着手については、患者、医療スタッフ、診療などへの配慮が必要となりますので、具体的に関係者間の協議調整が整えば可能です。 |
| 486 | C-031 | 独立調整池について | 独立調整池の設置期間については、新棟建設工事着手時のH31.1～STEP⑥外構工事期間の単独調整池設置期間までと判断してよろしいでしょうか。具体的な時期がございましたら御指示願います。 | お見込みの通りです。 |
| 487 | C-031、G-079 | 独立調整池について | 独立調整池の仕様についてご図示願います。また、独立調整池設置後、開発等の検査を受検、合格後建築工事がスタートするプロセスになりますか。御指示下さい。 | 独立調整池の仕様については、図面番号C-030～C-033を確認してください。また、建築工事の着工は、調整池の完成検査の実施にかかわらず可能です。 |
| 488 | C-217 | 液酸タンク杭について | 鋼管杭9+9m+7mが記載されていますが、定尺品は6mまでです。6m+6m+6m+4m+3mとしてよろしいでしょうか？ | お見込みの通りです。 |
| 489 | K-001 既存図-402 | 廃棄物処理について | 廃棄物処理法第3条では事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。昭和57年6月14日公布環産21号疑義についてで、建設工事に伴って生ずる廃棄物には建設工事を行う以前から発生していた産業廃棄物は含まれないことに留意されたい。以上の法解釈を元に行政指導を含め事業者の責務として、病院事業で不要になったものは事前に病院にて適正処理すべきと認識していますので本工事には含まないと考えてよろしいでしょうか。 | 図示の躯体・配管類は本工事に含まれます。特別産業廃棄物に該当する撤去は病院が行い本工事に含まれません。今回、酸・アルカリ等内容物は、タンクにより改修しているため槽内にはありません。但しP-801記載の通り、排水処理施設Ⅰ、Ⅱ内全ての汚泥処理引抜き消毒、RI排水槽内のRI廃液撤去及び洗浄、オイルタンク等の廃油処分は本工事に含まれます。その他、廃棄物に該当する油等の配管類や水槽内の残留物の洗浄・適正処理は本工事に含まれます。 |
| 490 | K-002 C-027 | 東館 東側地中梁解体後の外構仮復旧について | 解体手順図(2)(別紙1)において、先行解体の東館東側の地中梁解体がありますが、外構復旧が不明です。同解体範囲の北側半分は工事ステップ図(1)のSTEP③既存浄化槽解体より「サービス仮設斜路整備」に一部含まれ、南側半分は新病院側の仮囲い内となります。埋戻し後の外構復旧が必要な場合は、仮舗装・その他工作物等を御指示下さい。 | 患者使用通路としては使用しないため、患者のための外構復旧は必要ありません。北側はサービス仮設車路を整備ください。南側仮囲い内は、施工上の必要に応じて復旧してください。いずれの場合も患者、医療スタッフの安全性について十分配慮してください。 |
| 491 | K-003 | トレンチ改修の内部防水の仕様について | 解体手順図(3)排水ピット平面図において、「コンクリート壁新設(建築工事)」とありますが、排水ピット内に防水は必要ですか。必要な場合は仕様を御指示下さい。 | エポキシ樹脂コーティングとしてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|---------------------|--|--|
| 492 | K-003 | トレンチ改修の嵩上げコンの仕様について | 解体手順図(3)排水ピット断面図において、嵩上げコンクリートの指示がありますが、コンクリート仕様・天端仕上げが不明です。御指示下さい。 | S-02 6章コンクリート工事 番号1としてください。天端仕上げはエポキシ樹脂コーティングとしてください。 |
| 493 | K-003 C-027 | トレンチ改修のスラブ開口の処理について | 解体手順図(3)排水ピット平面図において、トレンチ天端に開口の指示がありますが、工事ステップ図(1)のSTPE②で作業を行います。STEP④で一時仮囲いの外側となるため、開口部の塞ぎが必要と思われます。開口部の塞ぎ方法及び時期を御指示下さい。 | トレンチ部分はSTEP④において仮囲い内としてください。 |
| 494 | E-005 | 高圧本線引込柱の調整池擁壁について | 高圧本線引込柱は調整池擁壁に干渉すると思われませんが、擁壁施工はどのように考えればよろしいでしょうか。 | 擁壁施工を優先し、引込柱建柱位置を調整します。 |
| 495 | E-005 | 高圧本線引込柱の調整池擁壁について | 高圧本線引込柱は調整池擁壁に干渉すると思われませんが、擁壁施工はどのように考えればよろしいでしょうか。 | 擁壁施工を優先し、引込柱建柱位置を調整します。 |
| 496 | E-006 | 照明器具設備(器具) | 外構の器具リストにて器具「GQ21W×124台」となっていますが、姿図に「GQ21W」がありません。平面図にて「蛍光灯×170台」となっていますので、器具「GW21W×170台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 姿図GW21Wの器具記号をGQ21Wに訂正とします。GQ21W×124台としてください。 |
| 497 | E-007 E-246 E-247 | インターホン設備 | 1Fのインターホン設備の平面図により「カラーカメラ付 玄関子機×1台」がありますが、屋外にも「1台」あります。又、系統図にて屋内「1台」しかありませんので、屋内に計上して、屋外は無いのと考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 新病院に3台、浄化槽棟に1台の計4台記載しています。系統図にも4台記載しています。図示のとおり計上してください。 |
| 498 | E-007 E-246 E-247 | インターホン設備の数量について | インターホン設備において、E-007通信引込図に1台「カラーカメラ付 玄関子機×1台」の記載がありますが、インターホン設備図にも発電機給油用として「1台」記載があります。上記2点は重複していると考え、発電機給油用インターホンとしては1台計上すると考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。 | 新病院に3台、浄化槽棟に1台の計4台記載しています。系統図にも4台記載しています。図示のとおり計上してください。 |
| 499 | E-100 E-334 | 電灯設備 | 1Fの分電盤リストに「付1L-1」となっていますが、平面図に「付1L-1」となっています。分電盤リスト通りに拾って宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 盤名称は付1L-1としてください。 |
| 500 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の整形外科の処置室の器具リストにて器具「F469kinT」となっていますが、姿図に「F469kinT」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「F469kin」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------|--|----------------------------------|
| 501 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の泌尿器科の診察室1・3 各、診察室2、処置室、検査室、結石破碎室の器具リストにて器具「F469kinT」となっていますが、姿図に「F469kinT」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「F469kin」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 502 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の時間外・循環器内科の前室1の器具リストにて器具「DL20nc」となっていますが、姿図に「DL20nc」がありません。平面図にて「ダウンライト」となっていますので、器具「DL20n」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | DL20ncは姿図に記載しています。DL20ncとしてください。 |
| 503 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の時間外・循環器内科の中央処置室・受付・注射コーナーの器具リストにて器具「D469T」となっていますが、姿図に「D469T」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「D469」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | E469Dに訂正とします。 |
| 504 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の生理検査のエコー室1～3各の器具リストにて器具「D469T」となっていますが、姿図に「D469T」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「D469」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | E469Dに訂正とします。 |
| 505 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の生理検査の筋電図室の器具リストにて器具「A452ST」となっていますが、姿図に「A452ST」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「A452S」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 506 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線治療・核医学の間診・相談・リハビリ室の器具リストにて器具「D469D」となっていますが、姿図に「D469D」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「D469」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | E469Dに訂正とします。 |
| 507 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線治療・核医学の放射線治療診察室、放射線治療処置室の器具リストにて器具リストにて器具「F469kinT」となっていますが、姿図に「F469kinT」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「F469kin」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 508 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線治療・核医学の医局の器具リストにて器具「D469D」となっていますが、姿図に「D469D」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「D469」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------|--|---|
| 509 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線治療・核医学の操作・治療計画室の器具リストにて器具「E469VD×7台」となっていますが、平面図にて「E469VD×7台、ダウンライト×2台」となっています。平面図を正として「E469VD×7台、DLMRI×2台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。 | E469VD×7台、DL11n×2台としてください。 |
| 510 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の内視鏡の内視鏡室3の器具リストにて器具リストにて器具「F469kinT」となっていますが、姿図に「F469kinT」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「F469kin」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 511 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線のエコー室4～6各の器具リストにて器具「D469T」となっていますが、姿図に「D469T」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「D469」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | E469Dに訂正とします。 |
| 512 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線の操作・観察ホール1・2 各の器具リストにて器具「E469VD×3台」となっていますが、平面図にて「E469VD×3台、ダウンライト×2台」となっています。平面図を正として「E469VD×7台、DL11n×2台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。ダウンライト×2台は器具リスト一般撮影室1～3 各の下に記載の操作卓上部DL11n×27台に含みます。 |
| 513 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線の操作室の器具リストにて器具「E469VD×3台、HJ102×2」となっていますが、平面図にて「E469VD×3台、HJ102×2、ダウンライト×4台」となっています。平面図を正としてダウンライトは「DL11n×4台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。ダウンライト×4台は器具リスト一般撮影室1～3 各の下に記載の操作卓上部DL11n×27台に含みます。 |
| 514 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線の操作ホール(X線TV室1・2前)の器具リストにて器具「E432VD×6台」となっていますが、平面図にて「E432VD×6台、ダウンライト×4台」となっています。平面図を正としてダウンライトは「DL11n×4台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。ダウンライト×4台は器具リスト一般撮影室1～3 各の下に記載の操作卓上部DL11n×27台に含みます。 |
| 515 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線のマンモグラフィ操作室の器具リストにて器具「E432VD×2台」となっていますが、平面図にて「E432VD×2台、ダウンライト×2台」となっています。平面図を正としてダウンライトは「DL11n×2台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。ダウンライト×2台は器具リスト一般撮影室1～3 各の下に記載の操作卓上部DL11n×27台に含みます。 |
| 516 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線の骨密度操作室の器具リストにて器具「E469VD×1台」となっていますが、平面図にて「E469VD×1台、ダウンライト×1台」となっています。平面図を正としてダウンライトは「DL11n×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。ダウンライト×1台は器具リスト一般撮影室1～3 各の下に記載の操作卓上部DL11n×27台に含みます。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------|---|---|
| 517 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線の一般撮影室1~3 各の器具リストにて器具「B432D×6台、DL11n×27台」となっていますが、平面図にて「DL11n×27台」がありません。平面図を正として「DL11n×27台」ないものと考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | DL11n×27台は放射線部門エリアの各操作卓上部のダウンライトのトータル台数を示します。 |
| 518 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の放射線の放射線受付2・操作ホールの器具リストにて器具「E469VD×12台、D432×3台、NL201×1台」となっていますが、平面図にて「E469VD×12台、D432×3台、NL201×1台、ダウンライト×2台」となっています。平面図を正としてダウンライトは「DL11n×2台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。ダウンライト×2台は器具リスト一般撮影室1~3 各の下に記載の操作卓上部DL11n×27台に含みます。 |
| 519 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の救急の機械室2の器具リストにて器具「A432×3台」となっていますが、平面図にてプロットの表記がありません。平面図を優先してないものと考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | A432×3台は必要とします。 |
| 520 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の救急の初療室1~4各の器具リストにて器具「G469ST」となっていますが、姿図に「G469ST」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「G469S」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 521 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の透析センターの隔離室(1B)の器具リストにて器具「M52Dn×1台」となっていますが、平面図にて器具の隣に「D02×1台」となっていますので、平面図を正として「D02×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 522 | E-105 | 照明器具設備(器具) | 1階の透析センターの人工透析室・透析室 ベッド上の器具リストにて器具「D02×35台」となっていますが、平面図にて「D02×34台」となっていますので、平面図を正として「D02×34台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | D02×35台として下さい。但し、D01×45台をD01×44台とします。 |
| 523 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の機械室2・3の器具リストにて器具「B432×5台」となっています。平面図にて機械室3となって、「B432×3台」となっています。平面図を正として「B432×3台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 機械室2にE432×2台、機械室3にE432×3台の計5台とします。 |
| 524 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の共用部のセンターストリートの器具リストにて器具「L01-12×20台」となっています。平面図にて「L01-12×21台」となっていますので、平面図を正として「L01-12×21台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------|--|------------|
| 525 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の共用部のイトイン・イベントスペースの器具リストにて器具「D01T」となっていますが、姿図に「D01T」がありません。平面図にて「ダウンライト」となっていますので、器具「D01」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 526 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の薬剤のMRの器具リストにて器具「A432×2台」となっていますが、平面図にて「A432×1台」となっています。平面図を正として「A432×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 527 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の薬剤のスタッフWC1・2各の器具リストにて器具「DL11n×2台、ML151×2台」となっていますが、平面図にて「DL11n×2台、ML151×1台」となっています。平面図を正として「DL11n×2台、ML151×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 528 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の化学療法のスタッフWC7の器具リストにて器具「DL11n×2台、ML151×2台」となっていますが、平面図にて「DL11n×2台、ML151×1台」となっています。平面図を正として「DL11n×2台、ML151×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 529 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の健診部門の眼底検査室、指導室の器具リストにて器具「D469T」となっていますが、姿図に「D469T」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「D469」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 530 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の眼科の眼科検査室1、眼科診察室1・2の器具リストにて器具「F469kinT」となっていますが、姿図に「F469kinT」がありません。平面図にて「蛍光灯」となっていますので、器具「F469kin」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 531 | E-106 | 照明器具設備(器具) | 2階の眼科の眼科検査室2の器具リストにて器具「F469kinT×4台」となっていますが、姿図に「F469kinT」がありません。平面図にて「蛍光灯×2台」となっていますので、器具「F469kin×2台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 532 | E-107 | 照明器具設備(器具) | 3階の機械室2の器具リストがありませんが、平面図にて「蛍光灯×1台」となっています。器具「B432×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------|---|----------------------------------|
| 533 | E-107 | 照明器具設備(器具) | 3階の倉庫4の器具リストがありませんが、平面図にて「ダウンライト×1台」となっています。器具「DL11n×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 534 | E-107 | 照明器具設備(器具) | 3階の看護部の機械室5の器具リストにて器具「B432×4台」となっています。平面図にて「B432×3台」となっていますので、平面図を正として「B432×3台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 535 | E-108 | 照明器具設備(器具) | 4階の手術のホールの器具リストにて器具「DL20nc」となっていますが、姿図に「DL20nc」がありません。平面図にて「ダウンライト」となっていますので、器具「DL20n」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | DL20ncは姿図に記載しています。DL20ncとしてください。 |
| 536 | E-108 | 照明器具設備(器具) | 4階の手術の空調機械室3の器具リストにて器具「B432×6台」となっています。平面図にて「A432×6台」となっていますので、平面図を正として「A432×6台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 537 | E-108 | 照明器具設備(器具) | 4階の病棟(腎臓内科他)(北)の空SS・見守りカウンターの器具リストにて器具「D02×17台」となっています。平面図にて「D02×11台」となっていますので、平面図を正として「D02×11台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 538 | E-108 | 照明器具設備(器具) | 4階の中材の前室8の器具リストにて器具「D432×2台」となっていますが、平面図にてプロットの表記がありません。平面図を優先してないものと考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 前室8の室名を病棟払出室に訂正とし、D432×2台とします。 |
| 539 | E-108 | 照明器具設備(器具) | 4階の麻酔の麻酔医医局の器具リストにて器具「E469×8台」となっています。平面図にて「E469×9台」となっていますので、平面図を正として「E469×9台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 540 | E-109 | 照明器具設備(器具) | 5階の共用部の階段室前通路の器具リストにて器具「DL20w×4台」となっていますが、平面図にてプロットの表記がありません。平面図を優先してないものと考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------|--|--------------------|
| 541 | E-109 | 照明器具設備(器具) | 5階の共用部の病棟ラウンジ・パントリーの器具リストにて器具「C01×8台、D02×13台、D03×1台」となっていますが、平面図にて「C01×8台、D02×13台、D03×1台、NL201×1台」となっていますので、平面図を正として「C01×8台、D02×13台、D03×1台、NL201×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。 | お見込みの通りです。 |
| 542 | E-110 | 照明器具設備(器具) | 6階の病棟(整形外科)(北)の廊下5～8の器具リストにて器具「L01-12×1台」となっていますが、平面図にて「L01-12×2台」となっていますので、平面図を正として「L01-12×2台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 543 | E-111 | 照明器具設備(器具) | 7階の病棟(外科・耳鼻咽喉科)(北)の廊下5～8の器具リストにて器具「L01-12×1台」となっていますが、平面図にて「L01-12×2台」となっていますので、平面図を正として「L01-12×2台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 544 | E-111 | 照明器具設備(器具) | 7階の病棟(外科・耳鼻咽喉科)(北)の処置室2の器具リストにて器具「F469kin×4台」となっていますが、平面図にて「F469kin×3台、蛍光灯(L=0.7m)」となっていますので、平面図を正として「F469kin×3台、B216×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | F469kin×4台として下さい。 |
| 545 | E-111 | 照明器具設備(器具) | 7階の病棟(呼吸器内科他)(東)の廊下13～15の器具リストにて器具「L01-15×18台」となっていますが、平面図にて「L01-15×20台」となっていますので、平面図を正として「L01-15×20台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | L01-15×18台としてください。 |
| 546 | E-113 | 電灯設備 | 平面図の凡例にレースウェイ「40×30」となっていますが、チェックリストに「40×45」となっています。平面図通りに拾って宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 547 | E-140 | 非常照明設備(器具) | 1階の階段4の器具リストにて器具「h18W」となっていますが、姿図に「h18W」がありません。平面図にて「ブラケット」となっていますので、器具「h188W」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 姿図h18BWとしてください。 |
| 548 | E-140 | 誘導灯設備(器具) | 1階のセンターストリートの器具リストにて器具「カ202B1×6台」となっていますが、平面図にて「カ202B1×7台」となっていますので、平面図を正として「カ202B1×7台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------|--|---|
| 549 | E-141 | 非常照明設備(器具) | 2階の階段4の器具リストにて器具「h18W」となっていますが、姿図に「h18W」がありません。平面図にて「ブラケット」となっていますので、器具「h188W」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 姿図h18BWとしてください。 |
| 550 | E-142 | 非常照明設備(器具) | 3階の階段4の器具リストにて器具「h18W」となっていますが、姿図に「h18W」がありません。平面図にて「ブラケット」となっていますので、器具「h188W」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 姿図h18BWとしてください。 |
| 551 | E-142 | 誘導灯設備(器具) | 3階の病院総務・経営企画Sの器具リストにて器具「オ201B1×1台」がありますが、平面図にありません。平面図を優先してないものと考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。 | 平面図を優先し、誘導灯オ201B1×1台は不要とします。 |
| 552 | E-143 | 非常照明設備(器具) | 4階染色室の器具リストにて器具「a40B×5台」となっていますが、平面図にて「a40B×4台」となっていますので、平面図を正として「a40B×4台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 553 | E-143 | 誘導灯設備(器具) | 3階のスタッフ commons の器具リストにて器具「カ202B1×2台」がありますが、平面図にて「カ202B1×1台」となっていますので、平面図を正として「カ202B1×1台」と考えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | カ202B1×2台としてください。 |
| 554 | E-204 E-209 ～216 | 構内交換設備 | 構内交換設備について姿図と平面図のPHSアンテナの数量の相違がありますので、姿図通り拾って宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 555 | E-206 ～216 | 構内交換設備 | 構内交換設備に於いて系統図と平面図のモジュラーコンセントの数量の相違がありますので、平面図通りに拾って宜しいでしょうか。御指示お願い致します。 | お見込みの通りです。 |
| 556 | E-208 E-211 | 構内交換設備 | 平面図にて端子盤「2LT-講堂×1面」がありますが、端子盤リストにありません。平面図により拾っていましたが、P数が不明なので、教えて宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 端子盤の対数は10Pとしてください。幹線は端子盤2T-1に接続としてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------|--|--|
| 557 | E-218 E-220 ～228 | テレビ設備 | テレビ設備にて系統図と平面図のテレビ端子と分配器の数量の相違がありますので、平面図通りに拾って宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 558 | E-230 ～239 | 拡声設備 | 拡声設備の系統図と平面図にて機器の数量の相違がありますので、平面図通りに拾って宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 559 | E-267 E-268 | 監視カメラ設備 | 監視カメラ設備の平面図に「大型モニター×2台」となっていますが、系統図に「1台」となっています。平面図通りに拾って宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | 大型モニター×2台としてください。系統図(1階部分)にも2台記載しています。 |
| 560 | E-277 E-282 | 防犯・入退室管理設備 | 5Fの防犯・入退室管理設備の平面図に「非接触式カード×18個」となっていますが、系統図に「16個」となっています。平面図通りに拾って宜しいでしょうか。御指示お願い致します。(同様の質問複数あり) | お見込みの通りです。 |
| 561 | M-001 | 後施工アンカーについて | 特記仕様書において、あと施工アンカー工事に関して記載されておられません。打設前のレーダ探査及び打設後の引張強度試験は、不要と考えて宜しいでしょうか。 | 打設前のレーダ探査及び打設後の引張強度試験は、必要です。 |
| 562 | M-001 | ダクトの保温について | 全熱交換器系統のOA,SAは全て、EAは外壁より1mまで、RAは不要と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 563 | M-001 | 既設建屋について | 特記仕様書にはあと施工アンカー工事に関して記載されておられません。打設前のレーダ探査及び打設後の引張強度試験は不要と考えて宜しいでしょうか。 | 打設前のレーダ探査及び打設後の引張強度試験は、必要です。 |
| 564 | M-001 ,002 | 配管材質について | 特記仕様書-1の配管材料に排水管はVPとありますが、特記-2の配管凡例・使用材料ではVP(地下ビット内共)で、立管、区画貫通部及び40A以上は耐火二層管となっております。排水管は特記-2の仕様どおりと考えて宜しいでしょうか。 | 図番M-002、「配管凡例、使用材料表」の通りとしてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------|--|------------------------|
| 565 | M-001,100,P-001,100 | 設備耐震について | 特記仕様書に記載がある設備耐震が機器表と相違があります。特記仕様書を正と考えて宜しいですか。 | 機器表を正としてください。 |
| 566 | M-001,219 | 屋外露出保温外装仕様について | 特記仕様書-1に冷媒管屋外露出保温外装はステンレス鋼板とありますが、3階及び8階冷媒配管平面図では高耐食溶融亜鉛メッキ鋼板製冷媒ダクトと記載されております。冷媒化粧ダクトから室外機への単独配管はステンレスラッキングと考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 567 | M-001、M-100 | 設備耐震について | 特記仕様書に記載がある設備耐震が機器表と相違があります。(クッションタンクCWT-1、-2)特記仕様書を正とし、耐震を2.0Gと考えて宜しいでしょうか。 | 図番M-100、機器リスト(1)を正とする。 |
| 568 | M-001、M-219 | ラッキングについて | 特記仕様書-1に冷媒管屋外露出保温外装はステンレス鋼板とありますが、3階及び8階冷媒配管平面図では高耐食溶融亜鉛メッキ鋼板製冷媒ダクトと記載されております。冷媒化粧ダクトから室外機への単独配管はステンレスラッキングと考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 569 | M-002 | 厨房排気ダクト材質について | 特記仕様書-2のダクト凡例・仕様材料において厨房排気ダクトの仕様が不明です。ステンレスダクトと考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 570 | M-002 | ダクト材質について | 特記仕様書-2のダクト凡例・仕様材料において厨房排気ダクトの使用材が不明です。ステンレスダクトと考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 571 | M-002 ,900 | ドレン配管材質について | 特記仕様書に空調ドレン管はVP(FDP)となっておりますが、4階手術室空調概要では手術室パッケージのドレン管はSGP(白)とあります。手術室系統パッケージのドレン管もVP(FDP)と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 572 | M-002、M-900 | 空調ドレン管仕様について | 特記仕様書に空調ドレン管はVP(FDP)となっておりますが、4階手術室空調概要では手術室パッケージのドレン管はSGP(白)とあります。手術室系統パッケージのドレン管もVP(FDP)と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|-------------------|---|--|
| 573 | M-003、E-175 | 換気扇スイッチの件 | 換気扇スイッチ本体が工事区分表では空調設備と記載がありますが、電気設備図にも記載があります。電気設備と考えると宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 574 | M-003、E-175他 | 換気扇スイッチの件 | 換気扇スイッチ本体が工事区分では空調設備と記載がありますが、電気設備図では電気工事と相違があります。電気設備を正と考えると宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 575 | M-100 | 基礎工事区分について | 空調機器リスト(1)の温水循環ポンプPH-1×2台のコンクリート基礎は建築工事と考えると宜しいでしょうか。 | 全て本工事とします。 |
| 576 | M-100 ,234 | チラー用鋼製架台について | 8階チラー廻り配管詳細図においてコンクリート基礎上の鋼製架台が不明です。チラー用鋼製架台は不要と考えると宜しいでしょうか。 | チラー用鋼製架台は必要です。 鋼材H-150×150×7×10t(溶融亜鉛メッキ仕上げ)×14000L×6本、としてください。 |
| 577 | M-100、M-234 | チラー用鋼製架台について | 8階チラー廻り配管詳細図において、コンクリート基礎上の鋼製架台が不明です。チラー用鋼製架台は不要と考えると宜しいでしょうか。 | チラー用鋼製架台は必要です。 鋼材H-150×150×7×10t(溶融亜鉛メッキ仕上げ)×14000L×6本、としてください。 |
| 578 | M-101,510～513 | フィルター差圧計の工事区分について | 空調機器リスト(2)外調機ACCのフィルター差圧計(発信器)は自動制御工事ではなく空調機付属品と考えると宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 579 | M-101,510～513 | INV設置外調機について | 自動制御外調機制御にはINV(別途工事)が全てに表記されておりますが、外調機ACC機器リストに記載されている外調機だけと考えると宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 580 | M-101、M-510～M513 | 差圧計について | 空調機器リスト(2)外調機ACCのフィルター差圧計(発信器)は、自動制御工事ではなく空調機付属品と考えると宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|---|---------------------|--|--|
| 581 | M-102～121,218, 219,224 | 屋外機据付用補助鋼材の工事区分について | 空調機器リストのヒートポンプエアコンACP,PACには屋外機据付用補助鋼材は本工事とあり、またコンクリート基礎(本工事)の項目には該当の○印はありません。屋外機のコンクリート基礎は建築工事で、補助鋼材とあるのは一次鋼材も含めて架台工事は空調工事と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 582 | M-102～M121、 M-218、M-219、M-224 | 架台工事について | 屋外機のコンクリート基礎は建築工事で、補助鋼材とあるのは一次鋼材も含めて架台工事は設備工事と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 583 | M-124～126 | 消音ボックス付送風機について | 消音ボックス付送風機は全て耐湿型、厨房用などの仕様は必要ないと考えて宜しいですか。必要な場合は、仕様、系統名を御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 584 | M-124～126 | 消音ボックス付送風機について | 消音ボックス付送風機の耐湿型、厨房用などの必要な仕様及び系統名を御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 585 | M-127 | フィルターユニットについて | FU-101には密閉交換型の記述が有りますがFU-102,201,301,701には記述がありません。特殊対応不要と考えて宜しいでしょうか。 | FU-102,201,301,701も密閉交換型としてください。 |
| 586 | M-200,233,235,509,518,527 | 三方弁詳細について | 自動制御計装図(1)のボイラーB-1廻り詳細図にボイラー送水温度一定制御用三方弁制御が記載されておりますが、配管系統図、8階機械室廻り詳細図及び8階自動制御平面図では不明です。合流後のボイラー出口配管に三方弁装置125A(三方弁100A)を1組取付け、ポンプサクシオン側と接続すると考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 587 | M-200、M-233、M-235、 M-509、M-518、M-527 | ボイラー用三方弁制御について | 自動制御計装図(1)のボイラーB-1廻り詳細図にボイラー送水温度一定制御用三方弁制御が記載されておりますが、配管系統図、8階機械室廻り詳細図及び8階自動制御平面図では不明です。合流後のボイラー出口配管に三方弁装置125A(三方弁100A)を1組取付け、ポンプサクシオン側と接続すると考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 588 | M-203 ,220 | 冷媒区画貫通処理範囲について | 冷媒4階平面図のI～K-⑩～⑫通りELV10横シャフト内冷媒配管において、3階への配管は4階シャフト床で区画貫通表記されており、堅穴区画が7階から4階床で終了と思われるが、配管系統図(4)ではシャフト内4階床貫通部は区画貫通表記がされておりおまません。平面図どおり4階シャフト内床貫通部は区画貫通処理を行うと考えて宜しいでしょうか。 | 平面図通りです。 4階以上が堅穴区画となり、3階以下は平面区画となります。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|-----------------------------|--------------|---|--|
| 589 | M-203、M-220 | 区画貫通について | 冷媒4階平面図のI~K-⑪~⑫通りELV10横シャフト内冷媒配管において、3階への配管は4階シャフト床で区画貫通表記されており、縦穴区画が7階から4階床で終了と思われませんが、配管系統図(4)ではシャフト内4階床貫通部は区画貫通表記がされておりおません。平面図どおり4階シャフト内床貫通部は区画貫通処理を行うと考えて宜しいでしょうか。 | 平面図通りです。 4階以上が縦穴区画となり、3階以下は平面区画となります。 |
| 590 | M-206 | 空調ドレンの系統分け | 空調ドレン管は、自然勾配とドレンアップ系統は系統を分けると考えて宜しいでしょうか。 | 分ける必要はありません。 |
| 591 | M-208~212 | ラッキングの材質について | 漏水検知対象室内配管ラッキングは、亜鉛鉄板製と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 592 | M-208~212 | ラッキング範囲について | 配管1階~5階平面図に漏水検知対象室内ドレン管及び加湿給水管はラッキングとありますが、医療機器用冷却水管も保温無しでラッキングすると考えて宜しいでしょうか。 | 医療機器用冷却水管は冷水仕様の保温をし、ラッキングを行ってください。 |
| 593 | M-208~212 | ラッキング仕様について | 漏水検知対象室内配管ラッキングは亜鉛鉄板製と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 594 | M-211,230,901,903 | ドレン放流先について | 4階手術室機器表・システムフロー図に※1対流用PACエアコンのドレン配管はFL+100以降本体空調工事、※2輻射用PACエアコンのドレン配管は機器接続まで本体空調工事と記載されておりますが、新棟配管4階平面図では手術室のドレン管は不明です。ご指示下さい。 | ドレン管は、VP30Aとし、手術室下3階天井内の最寄ドレン管に接続してください。 |
| 595 | M-211、M-230、 M-901、M-903 | 手術室ドレン管について | 4階手術室機器表・システムフロー図に※1対流用PACエアコンのドレン配管は、FL+100以降本体空調工事、※2輻射用PACエアコンのドレン配管は機器接続まで本体空調工事と記載されております。新棟配管4階平面図に手術室のドレン管が記載されておりません。手術室内のドレン管ルートをご指示下さい。 | ドレン管は、VP30Aとし、手術室下3階天井内の最寄ドレン管に接続してください。 |
| 596 | M-333 ,337 | FD設置範囲について | 空調ダクト1階平面図において廊下4とMRI 1,2の前室3との壁は防火区画と思われませんが、ACP-1-9C,9DのダクトにはFDが不明です。FD550×150×4個を取付けると考えて宜しいでしょうか。 | M-333図の前室3と廊下4の間にFD550x150が必要です。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------|---|--------------------------------------|
| 597 | M-333、M-337 | FDについて | 空調ダクト1階平面図において廊下4とMRI 1,2の前室3との壁は防火区画と思われませんが、ACP-1-9C,9DのダクトにはFDが不明です。FD550×150×4個を取付けると考えて宜しいでしょうか。 | M-333図の前室3と廊下4の間にFD550x150が必要です。 |
| 598 | M-337 | FD設置範囲について | 1階ダクト平面図において南側スタッブ通路5とMRI 2及びスタッブ通路7とMRI 1との間仕切壁貫通OA,EA,SOAダクトにはFDが不明です。FDを取付けると考えて宜しいでしょうか。 | 防煙区画のため、FDは不要です。 |
| 599 | M-338 | チャンバー寸法について | 2階ダクト平面図においてOACP-2-2のチャンバーサイズ等仕様が不明です。チャンバーサイズをご指示下さい。 | 1200x300x300Hと1350x1300x300Hとしてください。 |
| 600 | M-338 | チャンバーサイズについて | 2階ダクト平面図においてOACP-2-2のチャンバーサイズ等仕様が不明です。ご指示下さい。 | 1200x300x300Hと1350x1300x300Hとしてください。 |
| 601 | M-358 | ダクト材質について | 浄化槽棟換気ダクトは、全て亜鉛鉄板製と考えると宜しいでしょうか。 | 塩ビコーティングダクトとしてください。 |
| 602 | M-358 | ダクト材料について | 浄化槽棟換気ダクトは全て亜鉛鉄板製と考えると宜しいでしょうか。 | 塩ビコーティングダクトとしてください。 |
| 603 | M-513 ,601 | INV設置範囲について | 救急棟機器リスト(2)直膨エアハンOAU-1,2はINVが記載されておりますが、自動制御計装図(5)ではOAU-1はINVが記載されておられません。機器リストどおりINVは取付けると考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 604 | M-513 ,601 | INV工事範囲について | 自動制御計装図(5)OAU-2外調機制御ではINVは本体附属と記載されております。救急棟機器リスト(2)直膨エアハンOAUのINVは空調機付属品と考えると宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------|--|---|
| 605 | M-600～614 | 既設改修工事範囲について | 既設救急棟の改修工事はWCと講堂の内部を残して天井及び間仕切壁等全て撤去すると考え、改修工事図中に記載無き場合は外壁及び床以外の建物はつり・補修工事は無いと考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 606 | M-602～605 | 既設配管範囲について | 救急棟配管図面において点線表記のドレン管は既設配管と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 607 | M-602～M-605 | 点線表記について | 救急棟配管図面において、点線表記のドレン管は既設配管と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 608 | M-700～703、M800～801 | 撤去ダクト・配管について | 撤去する配管・ダクトの数量を御指示下さい。 | 配管・ダクトの撤去は、建築工事とし、機械設備工事では積算していないので、数量は提示できません。 |
| 609 | M-700～703、M800～801 | アスベスト数量について | アスベスト除去数量は、救急棟と健診センター以外の棟と考えて宜しいか、御指示下さい。救急棟と健診センターにも含まれる場合、各棟毎の数量を御指示ください。 | お見込みの通りです。 アスベスト除去数量は、救急棟と健診センター以外の棟です。 |
| 610 | M-800,801 | 健診センター機器基礎について | 健診センターヒートポンプパッケージ移設工事に伴う既設機器基礎撤去及び移設先機器基礎工事は全て建築工事と考えて宜しいでしょうか。 | 全て本工事とします。 |
| 611 | P-001、P-100 | 設備耐震について | 特記仕様書に記載がある設備耐震が機器表と相違があります。(貯湯槽、補給水タンク、油小出槽) 特記仕様書を正とし、耐震を2.0Gと考えて宜しいでしょうか。 | 機器表を正としてください。 |
| 612 | P-002 | 配管材料について | 蒸気管(送りの)の管材が圧力配管用炭素鋼管(白)になっていますが、(黒)に読み替えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------|--|--|
| 613 | P-100,157 | 緊急遮断弁について | 緊急遮断弁が機器表では100Ax2,200Ax2の2組記載がありますが、平面図では200Aのみと相違があります。一般系統・透析系統の2組を想定いたしますが、機器表を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 614 | P-100、P-157 | 緊急遮断弁について | 緊急遮断弁が機器表では100Ax2,200Ax2の2組記載がありますが、平面図では200Aのみと相違があります。一般系統・透析系統の2組と考慮、機器表を正と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 615 | P-100、P-157 | 緊急遮断弁について | 緊急遮断弁が機器表では100Ax2,200Ax2の2組記載がありますが、平面図では200Aのみと相違があります。一般系統・透析系統の2組と考慮、機器表を正と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 616 | P-101 | 参考メーカー・型番について | グリーストラップ環境改善装置GTK-1、GTK-2の参考メーカー、型番を教えてください。 | 株式会社インターオオサカ GTK-1 :グリーストラップ環境改善装置「シュタープM」、ポンプ80型 GTK-2 :グリーストラップ環境改善装置「シュタープM」、ポンプ80型 同等としてください。 |
| 617 | P-101 | 参考メーカー・型番について | グリーストラップ環境改善装置GTK-1、GTK-2の参考メーカー、型番を御指示下さい。 | 株式会社インターオオサカ GTK-1 :グリーストラップ環境改善装置「シュタープM」、ポンプ80型 GTK-2 :グリーストラップ環境改善装置「シュタープM」、ポンプ80型 同等としてください。 |
| 618 | P-106・A-221 | 無菌個室の衛生器具の工事区分について | 衛生器具表で無菌個室に洗面器・耐食鏡の記入がありますが、無菌個室ユニット詳細図内の工事区分表で手洗い器等は無菌病室ユニット工事(建築工事)に含まれています。耐食鏡は展開図上に図示が無いため不要とし、洗面器は無菌ユニット工事(建築工事)と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 洗面器は無菌ユニット工事(建築工事)です。耐食鏡は必要です。 |
| 619 | P-116 | 仮設市水引込工事について | 仮設市水引込の本管取出し～敷地境界付近までの配管が破線になっていますが、破線部分の引込、撤去工事は別途と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 620 | P-116 | 仮設市水引込工事について | 仮設市水引込の本管取出し～敷地境界付近までの配管が破線になっていますが、破線部分の引込、撤去工事は別途と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|---------------------|---|---|
| 621 | P-127~133,P-138~155 | 平面図記載の注記について | 図面表記は各器具立上げが床下配管を示していますが注記は天井配管と相違があります。注記を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 図番P-110~112、配管系統図も参照してください。 |
| 622 | P-127~P-133 P-138~P-155 | 平面図記載の注記について | 図面表記は各器具立上げが床下配管を示していますが注記は天井配管と相違があります。注記を正と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 図番P-110~112、配管系統図も参照してください。 |
| 623 | P-127~P-133 P-138~P-155 | 平面図記載の注記について | 図面表記は各器具立上げが床下配管を示していますが、注記は天井配管と相違があります。 注記を正と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 図番P-110~112、配管系統図も参照してください。 |
| 624 | P-172~174 | オイルタンク躯体について | 新設オイルタンクの躯体は設備に含むと考えて宜しいでしょうか。 | 建築工事とします。 |
| 625 | P-706,707 P-800,801 | 救急棟 機器・器具の撤去リストについて | 救急棟の撤去機器・器具リスト(P-706,707)と撤去機器リスト(P-800,801)に相違があります。 救急棟の撤去機器・器具リスト(P-706,707)を正と考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 626 | P-800,801 | RI排水環境調査について | RI排水の仮設切り回し時の切断等の際に、RI排水の環境調査費、RI排水およびフィルター等の撤去は本工事に含むものと考えて宜しいでしょうか。質疑回答後の撤去機器リスト(P-801)には「RI 管理区域解除」の記載が削除されています。 | お見込みの通りですが、図番P-801では「RI 管理区域解除」は本工事になっていません。 RI検査室汚染測定、排水槽清掃及びRI排気フィルター撤去、RI排水管及び機器測定及び撤去、放射線ガスモニタ測定及び撤去、は全て本工事です。 |
| 627 | P-800、P-801 | RI排水環境調査について | RI排水の仮設切り回し時の切断等の際に、RI排水の環境調査費用は設備に含むと考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 628 | P-801 | RI管理区域解除について | 核種は短半減期とし、検査室内の汚染はないものと考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------|---|-------------------------------------|
| 629 | P-801 | RI管理区域解除について | 核種は短半減期とし、検査室内の汚染はないものと想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 630 | P-801 | RI管理区域解除について | 核種は短半減期とし、RI排水管、RI排気ダクトの汚染はないものと考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 631 | P-801 | RI管理区域解除について | 核種は短半減期とし、RI排水管、RI排気ダクトの汚染はないものと想定いたしますが宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 632 | P-801 | RI管理区域解除について | 設置されている、排気フィルターの種類、数量を御指示下さい。 | プレフィルター×5枚、HEPAフィルター×5枚、活性炭フィルター×5枚 |
| 633 | P-801 | RI管理区域解除について | 設置されている、排気フィルターの種類、数量を御指示下さい。 | プレフィルター×5枚、HEPAフィルター×5枚、活性炭フィルター×5枚 |
| 634 | P-801 | RI管理区域解除について | 対象となる機器は法令対象となる流し、フード、机、貯蔵箱、ガンマカメラ等で、その他の機器は対象外と考えて宜しいですか。その他対象機器がある場合、品名、数量を御指示下さい。 | お見込みの通りです。 その他の対象機器はありません。 |
| 635 | P-801 | RI管理区域解除について | 対象となる機器は法令対象となる流し、フード、机、貯蔵箱、ガンマカメラ等で、その他の機器は対象外と想定いたしますが宜しいですか。その他対象機器がある場合、品名、数量を御指示下さい。 | お見込みの通りです。 その他の対象機器はありません。 |
| 636 | P-801 | RI管理区域解除について | 放射性ガスモニタ及びその他のモニタは内蔵線源がないと考えて宜しいですか。内蔵線源がある場合、核種、強度、形状が分かる資料を御提示願います。 | 内蔵線源はありません。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------|--|--|
| 637 | P-801 | RI管理区域解除について | 放射性ガスモニタ及びその他のモニタは内蔵線源がないと想定いたしますが宜しいですか。内蔵線源がある場合、核種、強度、形状が分かる資料を御提示願います。 | 内蔵線源はありません。 |
| 638 | P-801 | RI管理区域解除について | 廃止に伴って発生する放射性廃棄物は病院様へお引き渡しまで本工事と考えて宜しいですか。 (日本アイトブ協会への引取り費用は見積段階では算出できないため) | 発生する放射性廃棄物の処分も本工事とします。 |
| 639 | P-801 | 撤去機器について | ゴミ処理装置の詳細な仕様をご指示ください | 詳細な仕様が記載された資料がございません。現地にて撮影した参考写真からお見積りをお願いします。意匠別紙28-31を参照ください。 |
| 640 | P-801 | 撤去機器について | オゾン脱臭装置の詳細な仕様をご指示ください | 意匠別紙32を参照ください。 |
| 641 | P-801 | 撤去機器について | オゾン脱臭装置用のコンクリート基礎のサイズが3種類記載がありますが、どのサイズを正と考えれば宜しいですか。 また数量は1ヶと考えて宜しいでしょうか。 | べた基礎8,000×3,700×300×1基の上に、べた基礎3,300×2,400×450h×1基、下駄基礎3,300×400×450h×3本が載っています。 |
| 642 | P-900・605 | 仮設 屋外配管の種別について | 配管ピットから浄化槽棟まで、仮設屋外配管が(上)125,150,200 (下)200,100にて敷設する様になっていますが、ED(125),RI(150)以外について種別をご指示下さい。また、既設管を切断接続の際、必要な既設操作及び作業がありましたら、御指示下さい。 浄化槽側の受入はVU250・150・150の3系統となっています。 | その他は、汚水及び雑排水です。 浄化槽側配管系統はそれぞれ屋外で合流しているため、受入は3系統になっています。 現状支障のないように処置してください。 |
| 643 | P-900・605 | 仮設 屋外配管の種別について | 仮設屋外配管の浄化槽側は、上100・125・150・200下200・100及び600φとなっています。上100・125・150及び600φ以外の種別をご指示下さい。また、既設管を切断接続の際、必要な既設操作及び作業がありましたら、御指示下さい。 | 汚水及び雑排水です。 必要な既設操作及び作業は必要ありません。 |
| 644 | P-900・605 | 仮設 屋外配管の種別について | 上記の配管に対して、浄化槽側の受入配管はVU250(汚水)・150(ED)・150(RI)の3系統となっています。また、600φx2(排気)となっています。接続方法について御指示下さい。 | 浄化槽側の受入配管手前で、汚水・雑排水を合流し流入管に接続してください。 排気ダクトも、合流し、仮設排気ダクトに接続してください。(本設の排気ダクトも同様です。) |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|----------------|--|---|
| 645 | P-903 | インフラ迂回配管について | 迂回屋外配管施工時期と存置期間は建築工事着手前に撤去と考えるよろしいでしょうか。 | 新病院棟着工前に迂回を行い、迂回配管は将来使用しますので残置してください。 |
| 646 | P-903 | 迂回工事について | 配線工事の迂回工事後は元に復帰せず残置するものと考えて宜しいでしょうか。 | お見込みの通りです。 |
| 647 | P-903 | 迂回配管の種別について | 屋外迂回配管がPE150～HIVP65にて迂回をして既存配管に接続となっていますが、配管の種別についてご指示下さい。また、既設管を切断接続の際、必要な既設操作及び作業がありましたら、御指示下さい。 | 図番P-002、「配管凡例、使用材料表」の水道用耐震型高性能ポリエチレン管(電気融着工法)とする。 必要な既設操作及び作業は、切り替え前に、既設井水槽を、満水にし、切り替える。 切り替え後は、既設井水槽に強制送水し、配管の洗浄を行うこと。 |
| 648 | P-903 | 迂回配線の種別について | 屋外迂回配線CVV2□-3C(FEP30)を迂回して既存配線に接続となっていますが、配線の用途についてご指示下さい。また、配線を切断接続の際、必要な既設操作及び作業がありましたら、御指示下さい。 | 井戸ポンプの発停制御線です。 必要な既設操作及び作業は、切り替え後、既設井戸が正常に作動することを確認してください。 |
| 649 | P-903 | 迂回工事について | 図中にあるように配管、配線工事の迂回工事後は元に復帰せず残置するものと考えて宜しいでしょうか。 | 元に復帰せず残置し、将来使用します。 |
| 650 | S-02・04 | 構造体強度の補正値について | S-02図6章2.1表内に構造体強度の補正が全てのコンクリートに有と記入されていますが、補正値は全て3N/mm ² 解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。又、6N補正がある場合は、範囲を御指示下さい。 | S-03図6.3.2 コンクリートの調合に関する記載事項により、工事工期から構造体強度補正値を3または6として設定してください。 |
| 651 | S-02・04 | 鉄筋の継手・定着長さについて | S-04図1-4(表1-4-1)で鉄筋コンクリートFc-42の継手及び定着基準が見当たりません。Fc-36と同じ、日本建築学会JASS5(建築工事標準仕様書)内表10.4を適用の何れが宜しいでしょうか。御指示下さい。 | Fc36と同じとしてください。 |
| 652 | S-03・13・64・65 | 高力ボルトの仕様について | 構造関係特記仕様書(2)7. 2. 2他に於いて、高力ボルトはS10T、F10T、F8Tの指示がありますが、メッキ範囲以外(S10T、F10T)の使い分けが不明です。特記なき限り、S10Tを採用するとして宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|---------------|---|---|
| 653 | S-03・50・51 | 膨張材使用範囲について | S-03図6. 3.1混和材で地下外壁(土圧壁)に膨張材とありますが、S-50・51図記入のコンクリート全て膨張材混入と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 地下外壁(土圧壁)に見込むものとし、基礎・基礎梁には適用しないものとしてください。 |
| 654 | S-12 S-79・80 | 梁貫通補強について | 梁貫通孔数量図4～8階伏図のφ450～φ600について鉄骨構造標準図の詳細では納まらないと思われます。他の補強方法があればご指示下さい。 | 既製品による補強としてください。 |
| 655 | S-12・65・66 | スラブ補強要領について | 鉄骨構造標準図(4)に、合成スラブ補強配筋要領が見られますが、フラットデッキ・ニューフェローデッキ共に適用と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | フラットデッキ・ニューフェローデッキ共に適用しないものとしてください。 |
| 656 | S-23 A-19 | 耐圧盤について | 基礎伏図7-8、M-O間に S-24図 耐圧盤FS35 A-19図 ピット無し とありますが、S-24図を正と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 657 | S-23・24 A-19 | 湧水槽二重スラブについて | 基礎伏図7-8、K-M間に耐圧盤FS35とありますが、ピット上部のスラブについてリストをご指示下さい。 | S-24の通りとしてください。 |
| 658 | S-23・48・02 | 地中梁主筋定着板について | 地中梁主筋は定着板使用可能と記入されていますが、定着板は最終端部(外端)のみ定着板と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。又、その場合に1通・S～T間FGX1主筋はT通F4に定着(CFGX1側に主筋は引き通さない)と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 CFGX1については、通し配筋としてください。 |
| 659 | S-24・08 | 地中梁天端増打要領について | 釜場と接続する地中梁天端がMSL-100で図示されていますが、FS床版天端まで増打となりますが、配筋についてはS-08図7.1. (3)に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 660 | S-26 | 小梁剛接合部の破線について | 1階床伏図に於いて、C～D通り3～6通り間他の小梁剛接合部に破線書きで小さな長方形の図示があります。他の場所にも多数図示がありますが、何を示しているか不明です。御指示下さい。 | S-25図にある免震装置(RDT)の取付け基礎を示しています。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|---------------------|--|--|
| 661 | S-26 A-008 | 床下りの相違 | 1階相談室2の床下りに相違があります。 ・1階床伏図 — EL-150・FL-10 ・仕上表(1) — FL-150のみ 構造伏図を正と考えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 662 | S-28 A-011 | 床レベルの相違について | 3階<厨房>ゴミ庫の躯体レベルに相違があります。 ・3階床伏図 — FL-10 ・仕上表(4) — FL-300 FL-10を正と考えて宜しいですか。 | A-011図の仕上表を正としてください。 |
| 663 | S-28 A-046 | スタッフ階段の3階床スラブレベルの相違 | スタッフ階段の3階床スラブレベルに相違があります。 ・3階床伏図 — FL-150 ・スタッフ階段詳細図 — FL±0 FL-150を正と考えて宜しいですか。その場合、床の嵩上げ方法が不明です。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 S-65図の通りとします。 |
| 664 | S-28 A-12 | 3Fサーバー室について | 3F サーバールームについて、 S-28図 FL-400 A-12図 FL-300 とあります。FL-400を正と考えてよろしいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 665 | S-35 | 耐圧スラブの有無について | 基礎伏図で、特記を除き 耐圧スラブ下端レベルGL-4600と記入されていますが、基礎伏図内では耐圧スラブの記入が見当たりません、又、耐圧スラブ対(地中梁下端に取付く耐圧版)も見当たりません、GL-4600に耐圧スラブは無しと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 666 | S-47・23 | 地中梁主筋定着位置について | 基礎地中梁架構図が見当たりませんが、梁主筋はそれぞれのF符号基礎に定着と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。ただし、通し筋とできる場合は通し配筋としてください。 |
| 667 | S-47・S-105 | 杭メーカーについて | 杭仕様はHyper-MEGA工法と記載ありジャパンパイル製品ですが、他社製品への変更は、軽微変更にならない為出来ないでしょうか。 | 大臣認定を受けた構造の一部である杭仕様、工法の変更は、変更申請対象となり工事開始当初から変更申請に要する時間、杭発注・製作に要する時間が必要となるため、杭工事がストップすることになります。したがって他社製品への変更は認められません。 |
| 668 | S-49 | 杭施工時のずれ補強について | S-49図に杭施工時のずれについての基礎梁補強要領図が図示されていますが、積算上施工時のずれについて見込む必要はないと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。施工時のずれについて見込む必要がある場合は見込むか所数を杭ごとに御指示下さい。 | 施工時のずれは見込まないものとしてください。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|--------------------------|---|---|
| 669 | S-49 | 耐圧スラブFS35・FS35Aの定着長さについて | 免震層(GL-2900天端)床版のFS35・FS35Aリスト備考欄に定着長さはS-07図6-1-1の(イ)(ロ)とすると記入されています。(イ)(ロ)の下筋定着長さはL3で20dです。FS35・FS35A下筋はL2ではなくL3(20d)で可と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 670 | S-50・51 | 土間床版定着長さについて | S-50・51図に記入の床版(土間)下筋定着長さで確認ですが、上下筋共にL2定着長さを確保すると解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 671 | S-59 | 角形鋼管の材厚について | 鉄骨柱リストに於いて、P1・P2の角形鋼管に規格に無い断面の表示があります。下記と読み替えますが、宜しいですか。 ①1P1 ー □-250×250×8×16 ⇒ □-250×250×16 ②8P1 ー □-250×250×6×12 ⇒ □-250×250×12 ③1~6P2 ー □-250×250×6×12 ⇒ □-250×250×12 | ①: □-250x250x9(STKR400) ②③: □-250x250x6(STKR400) としてください。 |
| 672 | S-59 | 間柱柱脚納まりについて | 鉄骨柱リストに於いて、鉄骨間柱柱脚・柱頭納まり要領図のSec. A1より「A. BOLT 4-M20」の指示がありますが、ベースプレート同士の継手の為、アンカーボルトは不要と思われる。「HTB 4-M20」に読み替えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 673 | S-62・40 | 梁カバープレートの現場溶接について | 鉄骨大梁リスト(2)に於いて、GY1・GY6の備考にカバープレートの指示がありますが、端部及び中間継手部分の納まりが不明です。継手部分があと施工(現場溶接)になると思われませんが、あと施工の幅を御指示下さい。 | 構造別紙7を参照ください。 |
| 674 | S-65 | 梁継手部・柱廻りデッキ受けの仕様について | スラブリストに於いて、梁継手部・柱廻りデッキ受けの指示がありません。梁はフランジプレート継手の部分、柱は出隅部に、デッキの切欠きによる隙間が出来てしまう為必要となります。仕様を御指示下さい。 | S-66によります。 |
| 675 | S-66 | 鉄骨梁上かさ上げコンクリートについて | スラブリストに鉄骨梁とフラットデッキスラブに差がある場合のかさ上げ要領が図示されていますが、フェローデッキ範囲についても同様の補強を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |

| No. | 質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号) | 質問の要旨 | 質問の内容 | 回答 |
|-----|----------------------------|------------------|--|---|
| 676 | S-66 | デッキスラブ段差補強要領について | スラブリストにスラブ段差要領が図示されていますが、補強筋の書入れが見当りません。軸方向筋4-D13、せん断筋D10@200程度を見込んで宜しいでしょうか。 又、フェローデッキ範囲の段差補強についても上記と同様と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。フェローデッキ範囲の段差補強についても同様とさせていただきます。 |
| 677 | S-68 | 屋上柱柱脚納まりについて | 屋上鉄骨部材リストに於いて、柱脚詳細図のSec. B1・C1より「アンカーボルト 4-M20」の指示がありますが、ベースプレート同士の継手の為、アンカーボルトは不要と思われます。「HTB 4-M20」に読み替えて宜しいですか。 | お見込みの通りです。 |
| 678 | S-74・73・26 | 階段間柱受け梁の有無について | 階段詳細図(2)の階段2に於いて、5通り柱kpの柱脚部は、F部詳細図のアンカーボルト納めの指示ですが、1階床伏図より受け梁の指示がありません。スラブ上に直接アンカーボルト固定は可能と想定いたしますが宜しいですか。 | S-26 1階伏図において、④-⑤間xB-C間のSB40A(2本とも)を、kp柱脚位置に小梁が当たるように1m程度北側に移動してください。 |
| 679 | S-74・73・26 | 階段間柱受け梁の有無について | 上記に於いて、スラブ上に直接アンカーボルト固定が不可の場合、RC基礎の追加、または鉄骨梁の追加等を御指示下さい。 | 上記の通りとさせていただきます。 |
| 680 | S-213 | 基礎上端筋の鉄筋径の相違について | 基礎リストに於いて、JF11の上端筋に相違があります。 ・断面図 — 8-D13タテヨコ共 ・伏図 — 8-D16タテヨコ共 8-D13タテヨコ共を正と考えて宜しいですか。 | 伏図の8-D16を正とします。 |
| 681 | S-213 | 浄化槽棟の基礎について | 浄化槽棟の基礎JF11の上端筋の径について、平面図ではD16ですが、断面図ではD13と異なります。断面図D13を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | お見込みの通りです。 |
| 682 | S-301・304・64 | 梁上スタッドボルトの有無について | [仮設渡り廊下]改修工事特記仕様書(1)に於いて、3-9. 鋼材に頭付きスタッドの指示がありますが、リストより梁上スタッドボルトの指示がありません。本館の鉄骨小梁リストに記載の「スタッドコネクター取合要領」に倣うものと想定いたしますが宜しいですか。 | スタッドは不要とします。 |
| 683 | | 鉄筋圧接について | 梁天端増し打ちコンクリートの主筋の継手はガス圧接と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 | 重ね継手としてよろしいです。 |